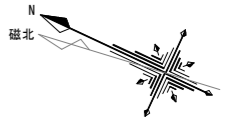


令和4年度 地すべり対策事業 八幡地区 地下水排除等工事

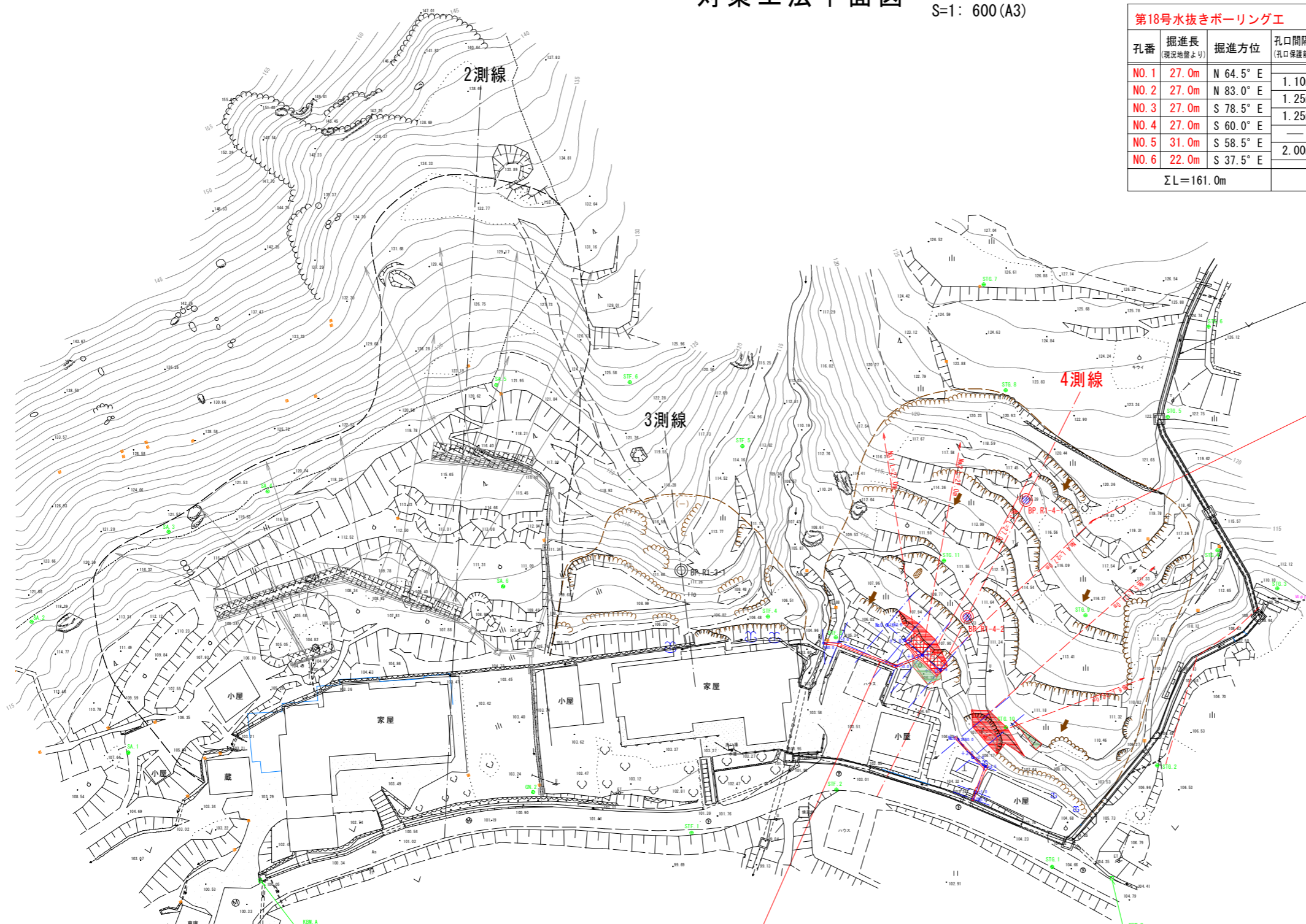
4測線

対策工法平面図

S=1: 300 (A1)
S=1: 600 (A3)



第18号水抜きボーリング工					
孔番	掘進長 (現況地盤より)	掘進方位	孔口間隔 (孔口保護前面)	勾配	孔口標高
NO.1	27.0m	N 64.5° E	1.10m	+3°	106.7m (地盤高)
NO.2	27.0m	N 83.0° E	1.25m		
NO.3	27.0m	S 78.5° E	1.25m		
NO.4	27.0m	S 60.0° E	—		
NO.5	31.0m	S 58.5° E	2.00m		
NO.6	22.0m	S 37.5° E	—		
ΣL=161.0m					



第2号排水路工

第18号水抜きボーリング工
L=22.0~31.0m×6孔
ΣL=161.0m
θ=+3°
孔口保護工
第18-1号
フトン籠工
500×1200
ΣL=18.0m
第18-2号
孔口保護板 2箇所

第18号流末処理工
第18-1号
UF200 L=12.7m
高密度ホリソイル管φ250 L=4.9m
集水樹工 二次製品300型相当 3箇所
第18-2号
UF200 L=8.1m
高密度ホリソイル管φ250 L=1.2m
集水樹工 二次製品300型相当 2箇所

凡例	
踏査結果	<ul style="list-style-type: none"> 滑動ブロック 滑落段差、崩壊 押し出し 地すべり方向 湧水
調査事項	<ul style="list-style-type: none"> 解析測線 調査ボーリング (パイプ量計・地下水位観測・地下水検出)

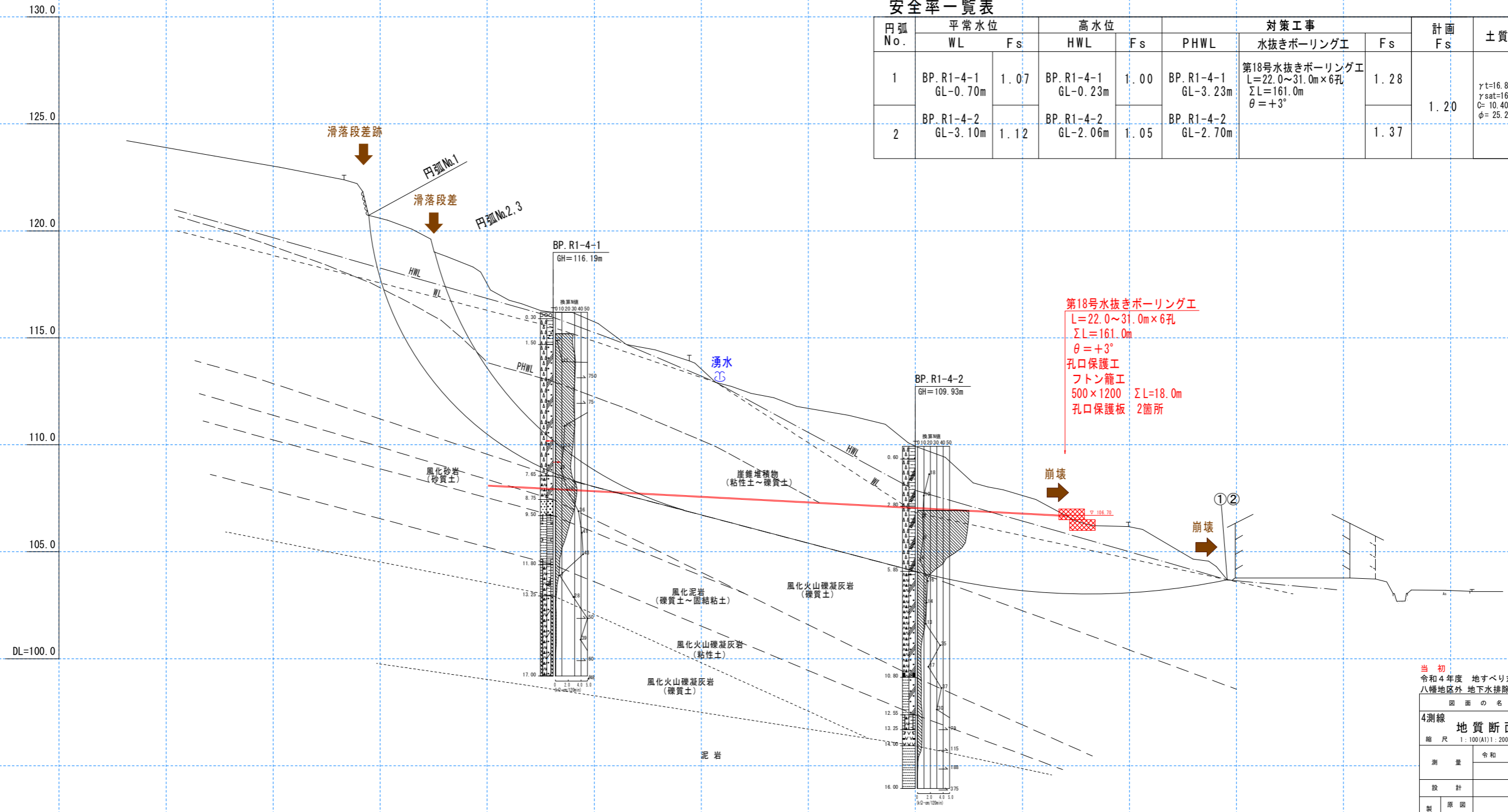
対策工凡例	
水抜きボーリング工	
孔口保護工(フトン籠工)	
植生マット	
水路工(第2号排水路工)	
水路工(流末処理工)	

当初
令和4年度 地すべり対策事業
八幡地区外 地下水排除等工事

図面の名称		図面番号
3・4測線 対策工法平面図		1/7
縮尺 1: 300 (A1) 1: 600 (A3)		
測量	令和 年 月 日終了	
設計		
製図	原図	
製図	複写	

令和4年度 地すべり対策事業 八幡地区 地下水排除等工事

4測線
地質断面図 S=1:100



安全率一覧表

円弧 No.	平常水位		高水位		PHWL	対策工事	計画Fs	土質定数
	WL	Fs	HWL	Fs				
1	BP.R1-4-1 GL-0.70m	1.07	BP.R1-4-1 GL-0.23m	1.00	BP.R1-4-1 GL-3.23m	第18号水抜きボーリング工 L=22.0~31.0m×6孔 ΣL=161.0m θ=+3°	1.20	γt=16.87 kN/m ³ γsat=16.98 kN/m ³ C=10.40 kN/m ² φ=25.27°
2	BP.R1-4-2 GL-3.10m	1.12	BP.R1-4-2 GL-2.06m	1.05	BP.R1-4-2 GL-2.70m			

第18号水抜きボーリング工
L=22.0~31.0m×6孔
ΣL=161.0m
θ=+3°
孔口保護工
フトン籠工
500×1200 ΣL=18.0m
孔口保護板 2箇所

当初
令和4年度 地すべり対策事業
八幡地区外 地下水排除等工事

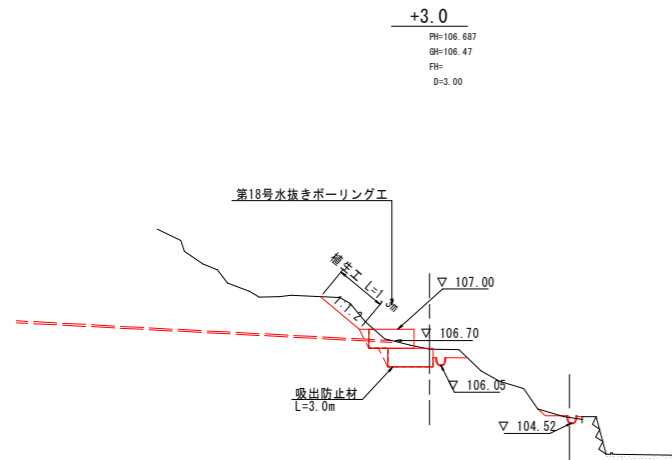
図面の名称	図面番号
4測線 地質断面図	2/7
縮尺 1:100(A1) 1:200(A3)	
測量	令和 年 月 日終了
設計	
製図	
原図	
図	
複写	

第18-1号孔口保護工 横断面図

S=1:100(A1)
S=1:200(A3)

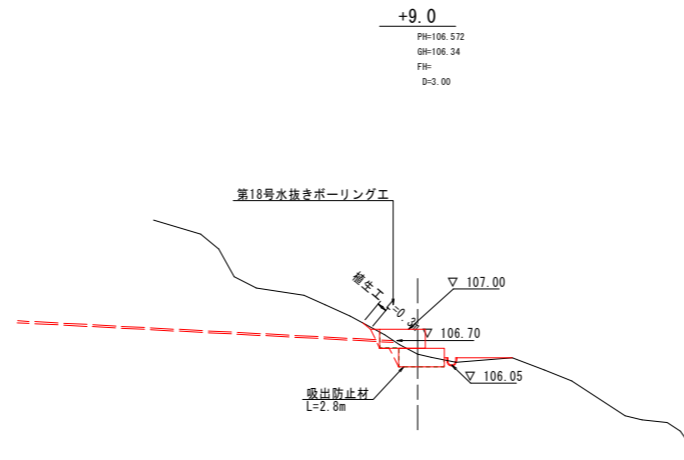
第18-1号孔口保護工 正面図

S=1:50(A1)
S=1:100(A3)



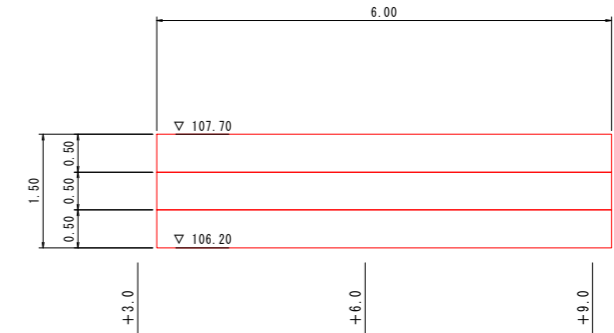
掘削 1.3
床掘 0.3
埋戻(カゴ) 0.1

DL=100.00



掘削 0.4
床掘 0.2
埋戻(カゴ) 0.1

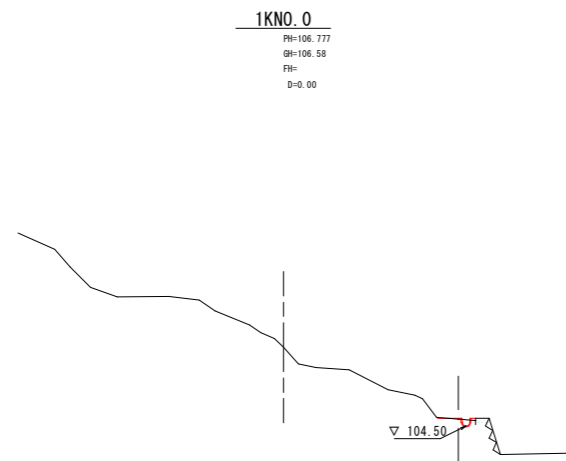
DL=100.00



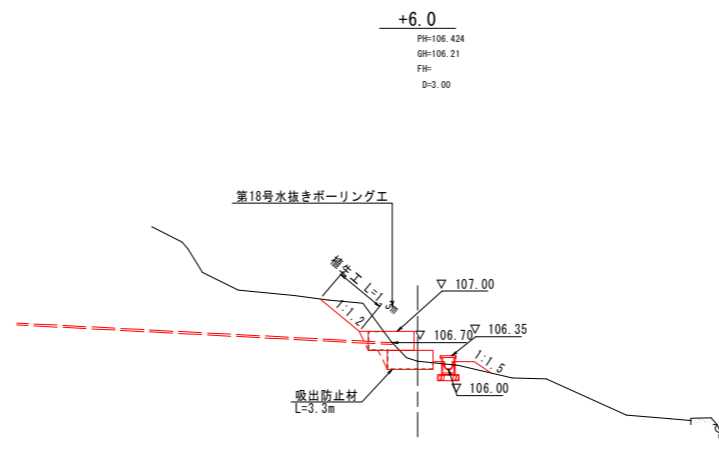
数量表 1箇所当り

名称	規格	単位	数量
フトンカゴ	1200-500 鉄線8# 網目13cm	m	18.0
吸出防止材		m ²	18.2

※吸出防止材はフトンカゴが土砂と接する面に設置すること。



DL=100.00



掘削 1.3
床掘 0.2
埋戻(カゴ) 0.1

DL=100.00

当初
令和4年度 地すべり対策事業
八幡地区外 地下水排除等工事

図面の名称		図面番号
4測線 第18-1号孔口保護工 横断面・正面図		3/7
縮尺 図示		
測量	令和 年 月 日終了	
設計		
製 図	原図	
	複写	

第18-1号流末処理工 水路縦断面図

S=1:100 (A1)
S=1:200 (A3)

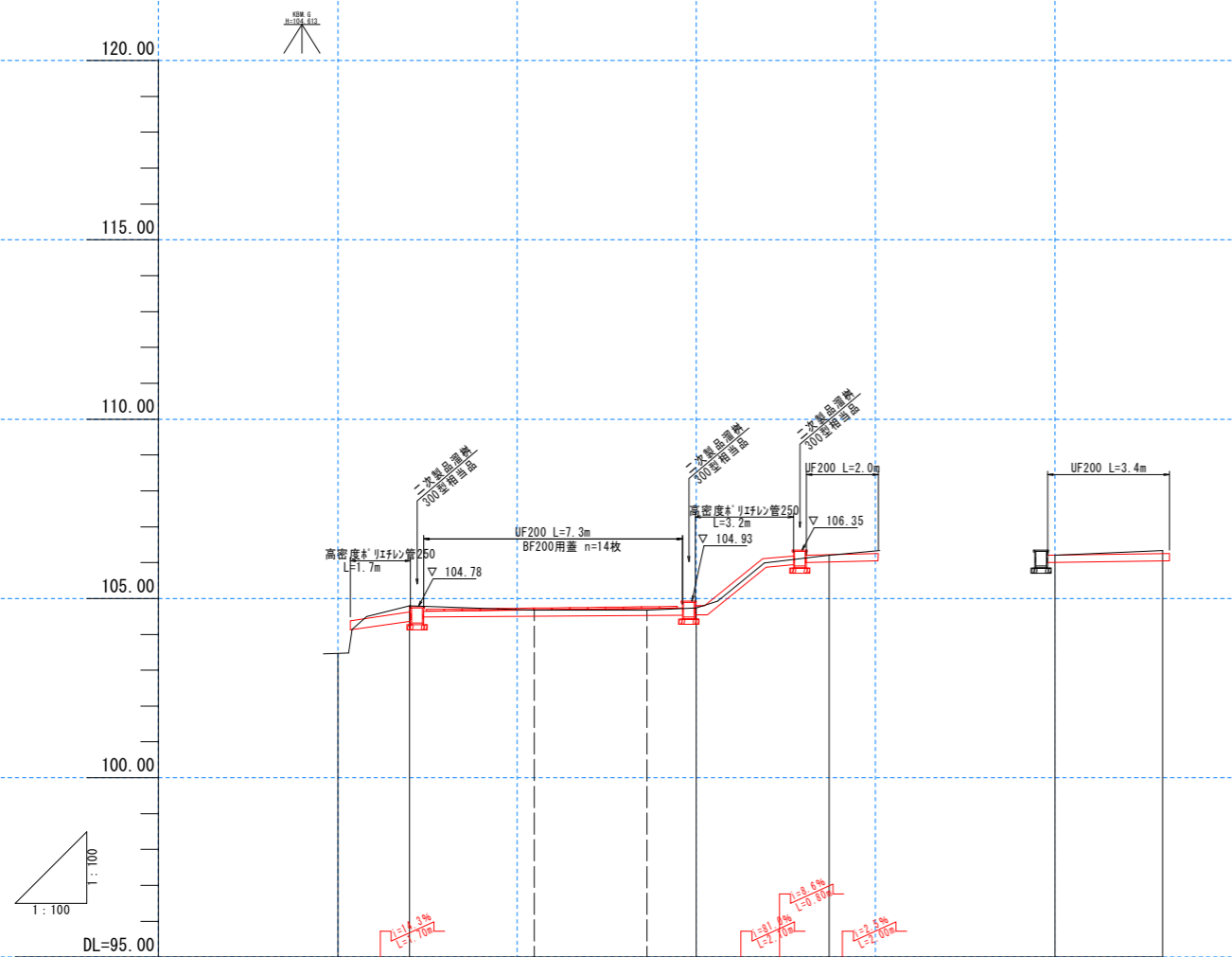
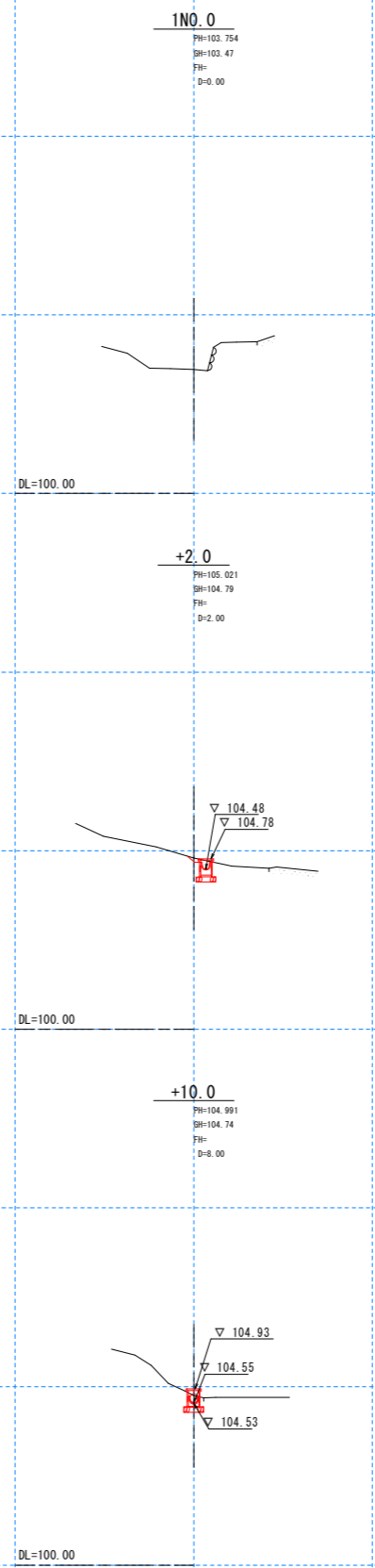


圖	勾配														
記	水路底高	104.13	104.37	104.48	104.50	104.52	104.53	104.55	105.87	105.94	106.00	106.05	106.05	106.00	106.05
	水路底高														
	地盤高	103.47	104.79		104.74		106.21		106.47		106.21		106.34		
	追加距離	0.00	2.00		0.00		13.70		3.00		3.70		3.00		
	単距離	0.00	2.00		8.00		3.70		3.00		3.70		3.00		
	測点名	1N0.0	+2.0		+10.0		+6.0		+3.0		+6.0		+9.0		

第18-1号流末処理工 横断面図

S=1:100 (A1)
S=1:200 (A3)



当初
令和4年度 地すべり対策事業
八幡地区外 地下水排除等工事

図面の名称		図面番号
4測線 第18-1号流末処理工 水路縦断面図・横断面図		4 / 7
縮尺 1:100(A1) : 200(A3)		
測量	令和 年 月 日終了	
設計		
製図	原図	
	複写	

第18-2号流末処理 水路縦断面図

S=1:100(A1)
S=1:200(A3)

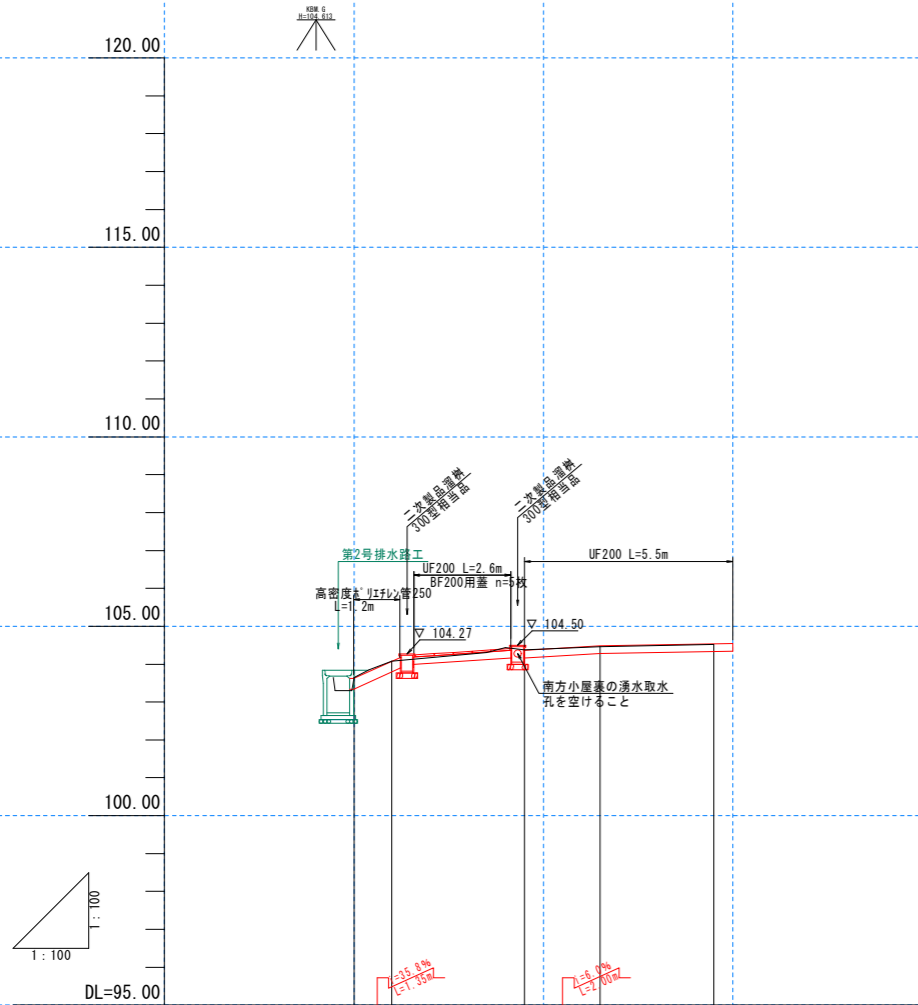
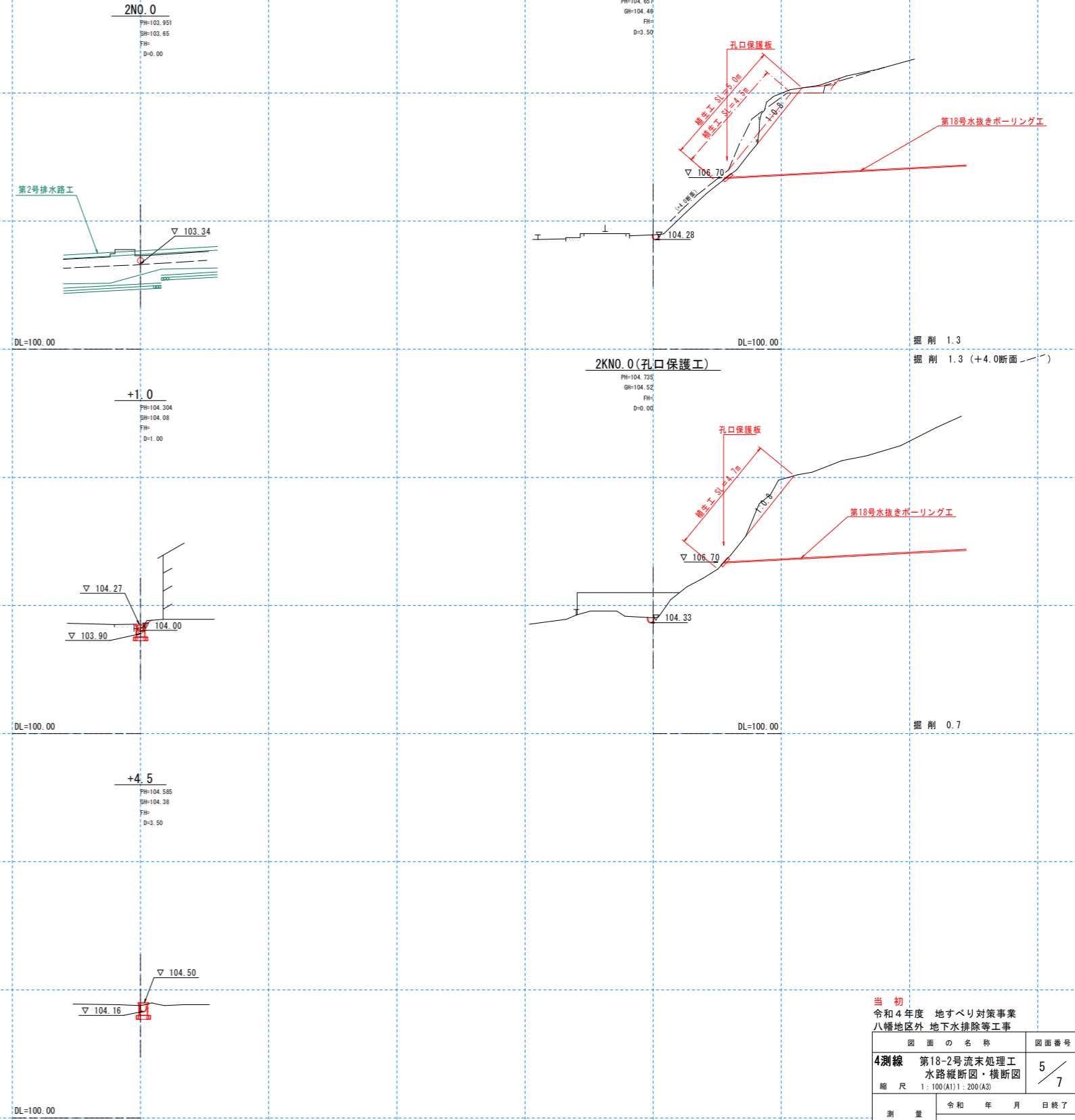


圖	勾配				
水	路	底	高	103.34	104.33
				103.90	104.00
水路底高				103.34	104.33
地盤高				103.95	104.52
追加距離				0.00	9.50
単距離				0.00	3.00
測点名				2N0.0	2KN0.0

第18-2号流末処理 横断面図

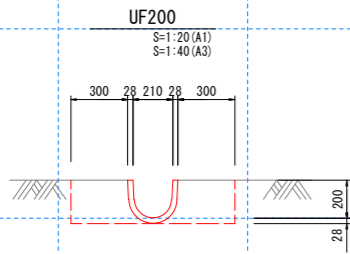
S=1:100(A1)
S=1:200(A3)



当初
令和4年度 地すべり対策事業
八幡地区外 地下水排除等工事

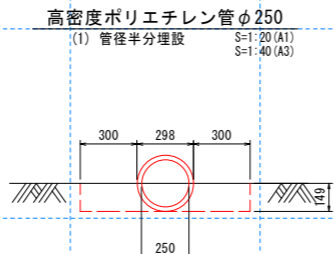
図面の名称		図面番号
4測線 第18-2号流末処理 水路縦断面図・横断面図		5 / 7
縮尺 1:100(A1) : 200(A3)		
測量	令和 年 月 日終了	
設計		
製 図	原図	
	複写	

18号流末処理工 水路工構造図



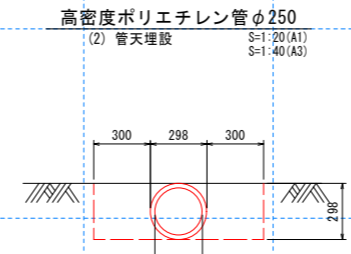
数量表 10m当たり

名称	規格	単位	数量
床掘	土砂	m ²	2.0
埋戻		m ²	1.5
U字フリューム	UF200	m	10.0



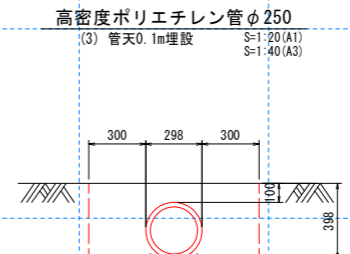
数量表 10m当たり

名称	規格	単位	数量
床掘	土砂	m ²	1.3
埋戻		m ²	1.0
高密度ポリエチレン管	φ250	m	10.0



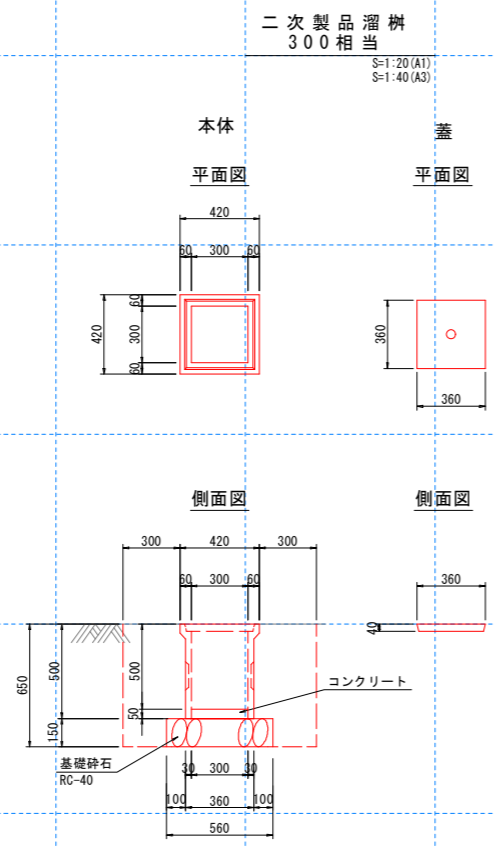
数量表 10m当たり

名称	規格	単位	数量
床掘	土砂	m ²	2.7
埋戻		m ²	2.0
高密度ポリエチレン管	φ250	m	10.0



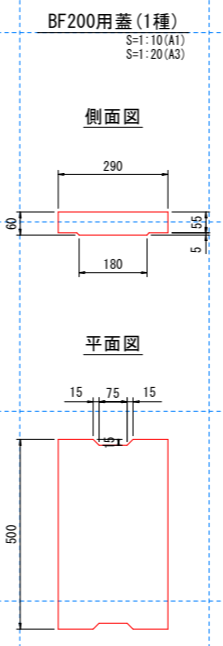
数量表 10m当たり

名称	規格	単位	数量
床掘	土砂	m ²	3.6
埋戻		m ²	2.9
高密度ポリエチレン管	φ250	m	10.0



数量表 1箇所当たり

名称	規格	単位	数量
床掘	土砂	m ²	0.67
埋戻		m ²	0.45
二次製品溜樹	300型相当	基	1
コンクリート	σ _{ck} =18N/mm ²	m ³	0.005
基礎砕石	RC-40, t=150	m ²	0.31



当初
令和4年度 地すべり対策事業
八幡地区外 地下水排除等工事

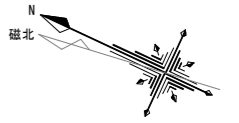
図面の名称		図面番号
4測線 第18号流末処理工 水路工 構造図		6 / 7
縮尺: 図示		
測量	令和 年 月 日終了	
設計		
製 図	原図	
	複写	

令和4年度 地すべり対策事業 八幡地区 地下水排除等工事

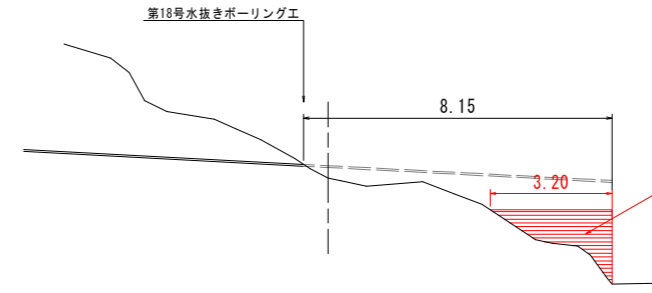
4測線

仮設平面図(参考)

S=1: 300 (A1)
S=1: 600 (A3)

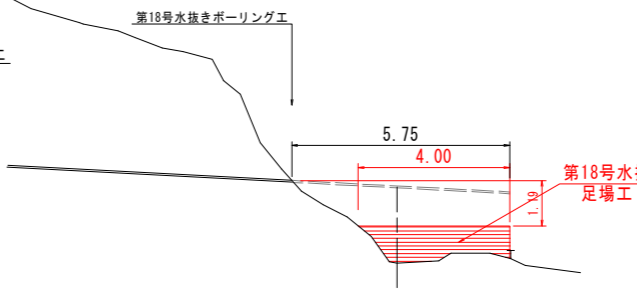


人家の駐車スペースであり、事前の調整が必要である。
足場付近に電柱・基地有り接触しないよう注意が必要
法切時における下方の基地・小屋の保護掘削土を受けるため法尻に仮設防護1型を設置



水抜きボーリング工No.1~4

第18号水抜きボーリング工 (No.1~4)
足場工 A= 2.74 m²



水抜きボーリング工No.5~6

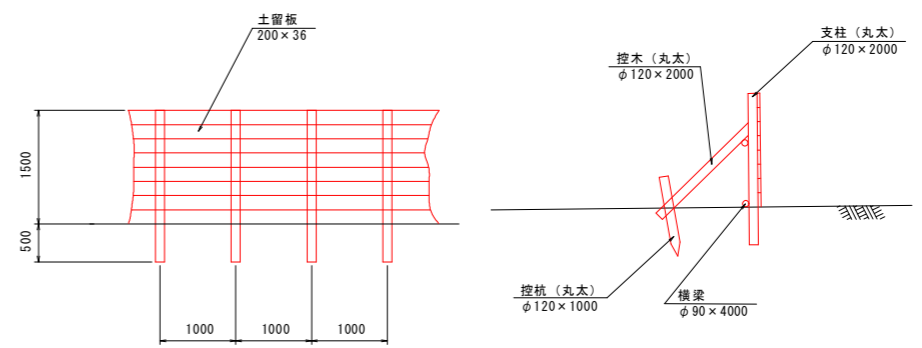
第18号水抜きボーリング工 (No.5, 6)
足場工 A= 3.00 m²

水抜きボーリング工足場工

S=1: 100 (A1)
S=1: 200 (A3)

正面図

側面図



仮設防護柵 1型

S=1: 50 (A1)
S=1: 100 (A3)

凡例

踏査結果	○	滑動ブロック
	⤴	滑落段差、崩壊
	⤵	押し出し
	➔	地すべり方向
	⊕	湧水
調査事項	—	解析測線
	⊙	調査ボーリング (パイプ量計・地下水位観測・ 地下水検層)

対策工凡例

⤴	水抜きボーリング工
⊗	孔口保護工(フロン籠工)
■	植生マット
—	水路工(第2号排水路工)
—	水路工(流末処理工)

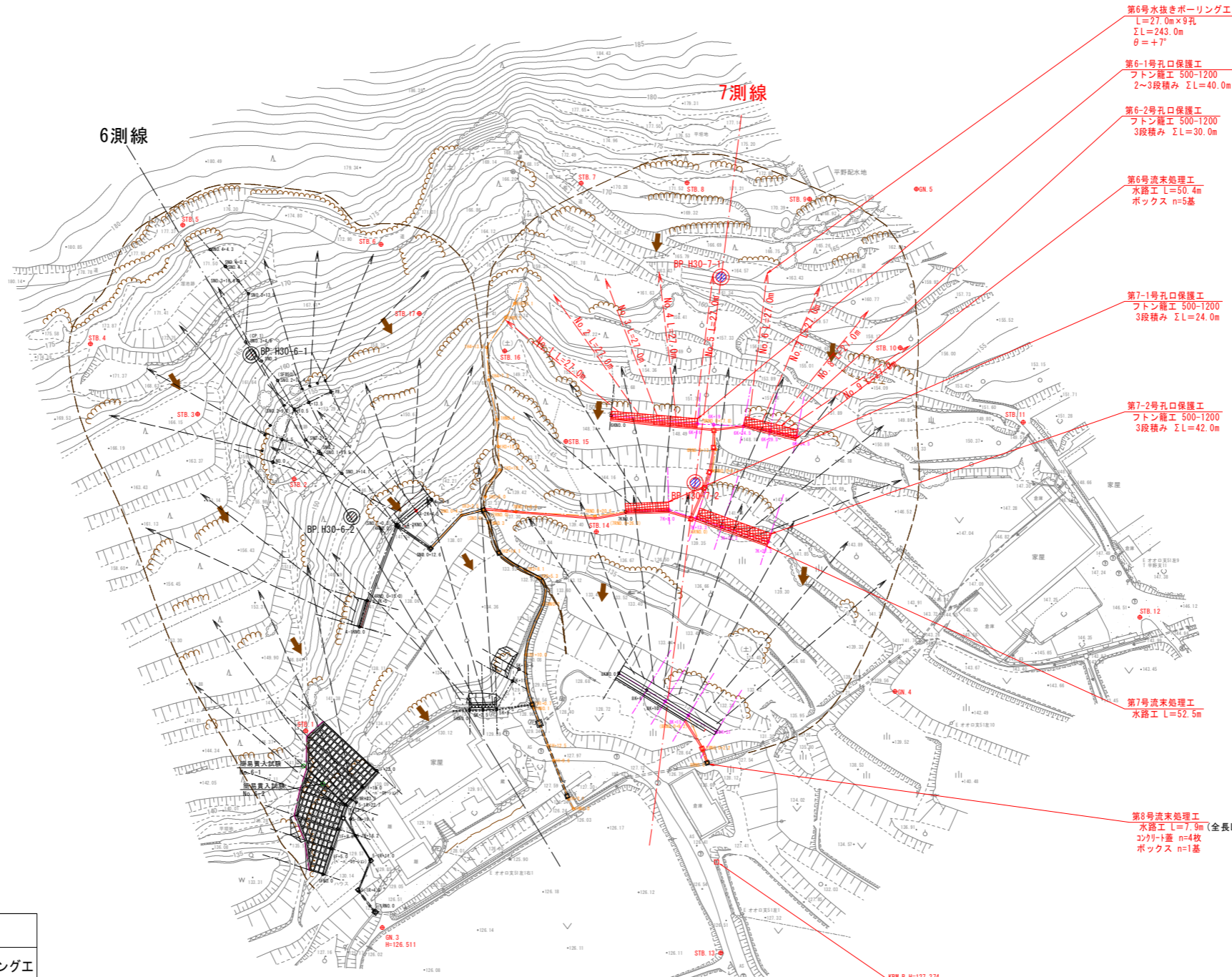
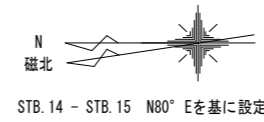
当初
令和4年度 地すべり対策事業
八幡地区外 地下水排除等工事

図面の名称	図面番号
4測線 仮設平面図(参考)	7/7
縮尺 1: 300 (A1) 1: 600 (A3)	7
測量	令和 年 月 日 終了
設計	
製図	原図
図	複写

令和4年度 地すべり対策事業 八幡地区外 地下水排除等工事

対策工法平面図
6・7ブロック

S=1: 500(A1)
S=1:1000(A3)



第6号水抜きボーリング工
L=27.0m×9孔
ΣL=243.0m
θ = +7°

第6-1号孔口保護工
フトン籠工 500-1200
2~3段積み ΣL=40.0m

第6-2号孔口保護工
フトン籠工 500-1200
3段積み ΣL=30.0m

第6号流末処理工
水路工 L=50.4m
ボックス n=5基

第7-1号孔口保護工
フトン籠工 500-1200
3段積み ΣL=24.0m

第7-2号孔口保護工
フトン籠工 500-1200
3段積み ΣL=42.0m

第7号流末処理工
水路工 L=52.5m

第8号流末処理工
水路工 L=7.9m (全長L=22.9m)
コンクリート蓋 n=4枚
ボックス n=1基

第6号水抜きボーリング工

孔番	掘進長 (現況地盤より)	掘進方位	孔口間隔	勾配	孔口標高
NO. 1	27.0m	N 47.5° E	3.5m	+7°	149.4m (地盤高)
NO. 2	27.0m	N 63.0° E			
NO. 3	27.0m	N 78.0° E			
NO. 4	27.0m	S 88.0° E			
NO. 5	27.0m	S 74.5° E			
NO. 6	27.0m	S 74.5° E			
NO. 7	27.0m	S 58.5° E			
NO. 8	27.0m	S 42.0° E			
NO. 9	27.0m	S 25.5° E			
ΣL=243.0m (※孔口から2m間はストレーナ加工を設けない)					

第7号水抜きボーリング工

孔番	掘進長 (現況地盤より)	掘進方位	孔口間隔	勾配	孔口標高
NO. 1	26.0m	N 49.5° E	2.0m	+3°	140.4m (地盤高)
NO. 2	26.0m	N 68.0° E			
NO. 3	26.0m	N 86.0° E			
NO. 4	26.0m	S 76.5° E			
NO. 5	28.0m	S 74.5° E			
NO. 6	30.0m	S 58.5° E			
NO. 7	32.0m	S 44.0° E			
NO. 8	33.0m	S 29.5° E			
NO. 9	28.0m	S 12.5° E			
ΣL=255.0m (※孔口から2m間はストレーナ加工を設けない)					

踏査結果 凡例

- 滑動ブロック
- 地すべり方向
- 滑落段差
- 崩壊
- 押し出し
- クラック
- 湧水

調査事項

- 解析測線
- 調査ボーリング
(パイプ歪計・地下水位観測・地下水検層)
- 簡易貫入試験

対策工凡例

	水抜きボーリング工
	吹付法枠工
	孔口保護工(フトン籠工)
	孔口保護工(ブロック積み擁壁)
	植生マット
	植生シート
	水路工

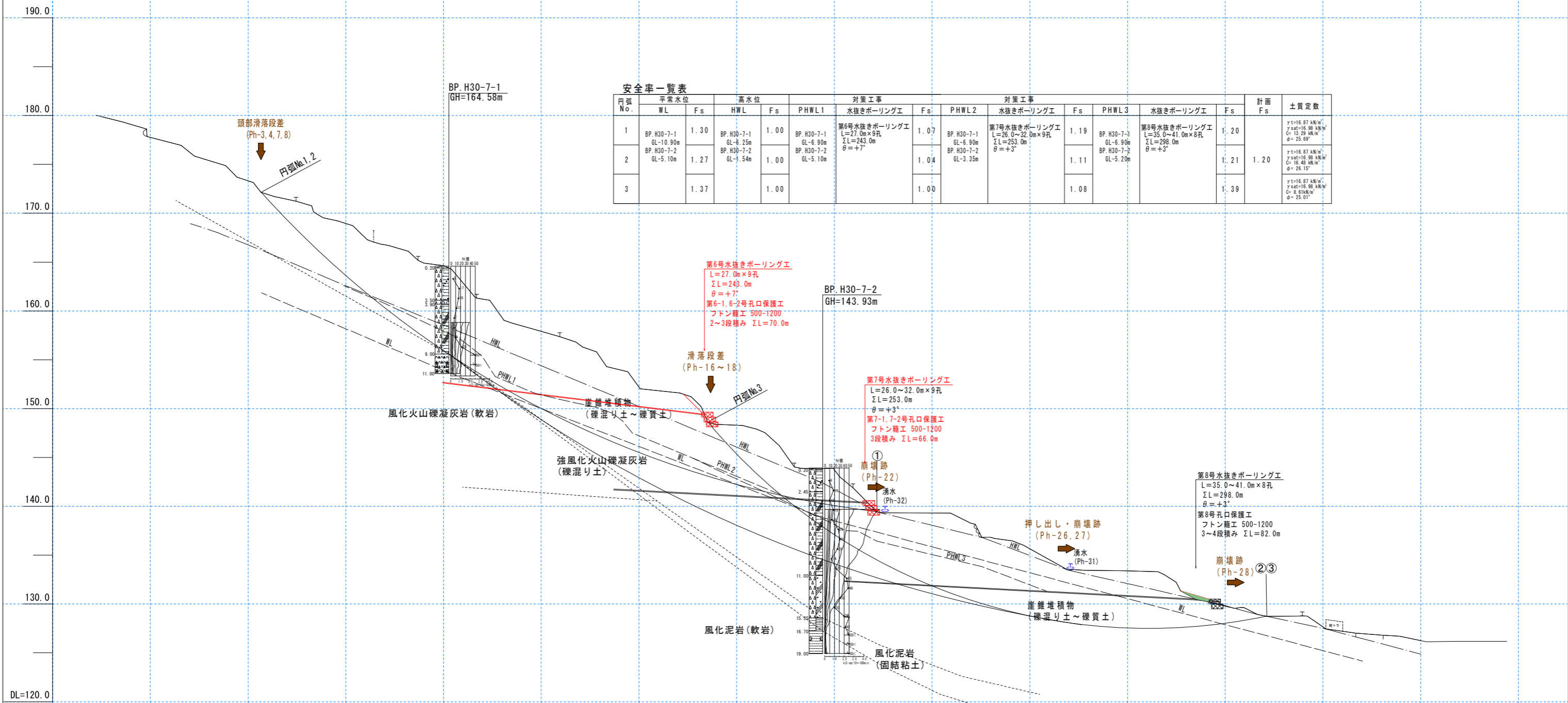
当初
令和4年度 地すべり対策事業
八幡地区外 地下水排除等工事

図面の名称		図面番号
6,7ブロック 対策工法平面図		1/12
縮尺: 1:500(A1) 1:1000(A3)		
測量	平成 年 月 日終了	
設計		
製図	原図	
図	複写	

令和4年度 地すべり対策事業 八幡地区 地下水排除等工事

7 測線

地質断面図 S=1:200(A1)
1:400(A3)



安全率一覧表

円弧 No.	平常水位		高水位		対策工事			対策工事			計画 F _s	土質定数		
	WL	F _s	HWL	F _s	PHWL1	水抜きボーリング工	F _s	PHWL2	水抜きボーリング工	F _s			PHWL3	水抜きボーリング工
1	BP.H30-7-1 GL-10.90m BP.H30-7-2 GL-5.10m	1.30	BP.H30-7-1 GL-6.25m BP.H30-7-2 GL-1.54m	1.00	BP.H30-7-1 GL-6.90m BP.H30-7-2 GL-5.10m	第6号水抜きボーリング工 L=27.0m×9孔 ΣL=243.0m θ=+7°	1.07	BP.H30-7-1 GL-6.90m BP.H30-7-2 GL-3.35m	第7号水抜きボーリング工 L=26.0~32.0m×9孔 ΣL=253.0m θ=+3°	1.19	BP.H30-7-1 GL-6.90m BP.H30-7-2 GL-5.20m	第8号水抜きボーリング工 L=35.0~41.0m×8孔 ΣL=298.0m θ=+3°	1.20	γt=16.87 kN/m ³ γsat=16.88 kN/m ³ C=13.29 kN/m ² φ=25.69°
2		1.27		1.00			1.04			1.11			1.21	γt=16.87 kN/m ³ γsat=16.88 kN/m ³ C=16.49 kN/m ² φ=26.15°
3		1.37		1.00			1.00			1.08			1.39	γt=16.87 kN/m ³ γsat=16.88 kN/m ³ C=8.51 kN/m ² φ=25.01°

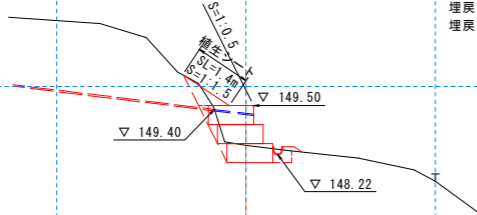
当初
令和4年度 地すべり対策事業
八幡地区外 地下水排除等工事

図面の名称	図面番号
7ブロック 地質断面図	2 / 12
縮尺 1:200(A1) 1:400(A3)	
測量	令和 年 月 日終了
設計	
製図	
原図	
図	複写

6KNO. 0+16

PH=148.623
GH=148.45
FH=
D=16,000

孔口保護工
フトンカゴ工
掘削 0.6
床堀 0.6
盛土 0.3
埋戻 0.1
埋戻(カゴ) 0.2

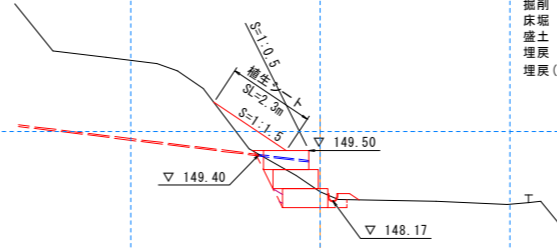


DL=145.00

6KNO. 0+29.5

PH=148.596
GH=148.41
FH=
D=5,000

孔口保護工
フトンカゴ工
掘削 0.9
床堀 0.3
盛土 0.6
埋戻 0.1
埋戻(カゴ) 0.2

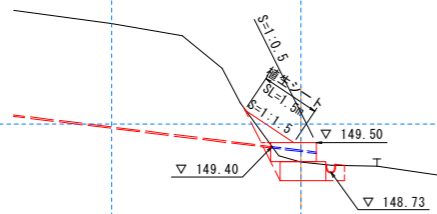


DL=145.00

6KNO. 0

PH=149.124
GH=148.99
FH=
D=8,500

孔口保護工
フトンカゴ工
掘削 0.3
床堀 0.7
盛土 0.4
埋戻 0.1
埋戻(カゴ) 0.1

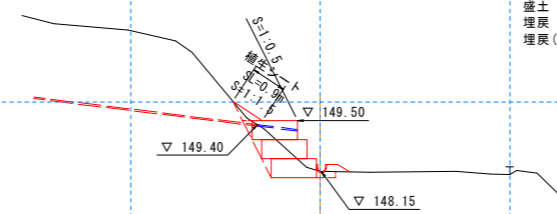


DL=145.00

6KNO. 0+24.5

PH=148.327
GH=148.16
FH=
D=8,500

孔口保護工
フトンカゴ工
掘削 1.0
床堀 0.3
盛土 0.2
埋戻 0.1
埋戻(カゴ) 0.2

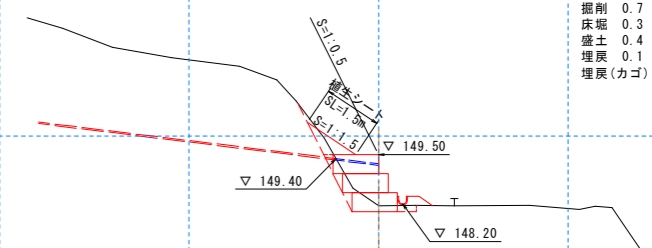


DL=145.00

6KNO. 0+34.5

PH=148.299
GH=148.15
FH=
D=5,000

孔口保護工
フトンカゴ工
掘削 0.7
床堀 0.3
盛土 0.4
埋戻 0.1
埋戻(カゴ) 0.2



DL=145.00

当初
令和4年度 地すべり対策事業
八幡地区外 地下水排除等工事

図面の名称		図面番号
7ブロック 6-1号, 6-2号孔口保護工横断面図		3 / 12
縮尺 : 1 : 100 (A1) 1 : 200 (A3)		
測量	令和	年月 日終了
設計		
製図	原図	
	模写	

7KNO. 0+8

PH=139.543
GH=129.39
FH:
D=8.000

孔口保護工
フトンカゴ工
掘削 1.0
床版 0.4
盛土 0.1
埋戻 (カゴ) 0.2

7KNO. 0+18.2

PH=140.888
GH=140.73
FH:
D=4.900

孔口保護工
フトンカゴ工
掘削 4.4
床版 0.4
盛土 0.4
埋戻 (カゴ) 0.3

7KNO. 0

PH=139.560
GH=129.37
FH:
D=8.000

孔口保護工
フトンカゴ工
掘削 0.6
床版 0.3
盛土 0.0
埋戻 (カゴ) 0.2

7KNO. 0+13.3

PH=139.508
GH=129.35
FH:
D=5.000

孔口保護工
フトンカゴ工
掘削 0.8
床版 0.3
盛土 0.1
埋戻 (カゴ) 0.3

7KNO. 0+27.2

PH=139.548
GH=129.39
FH:
D=9.000

孔口保護工
フトンカゴ工
掘削 1.0
床版 0.3
盛土 0.4
埋戻 (カゴ) 0.3

DL=135.00

DL=135.00

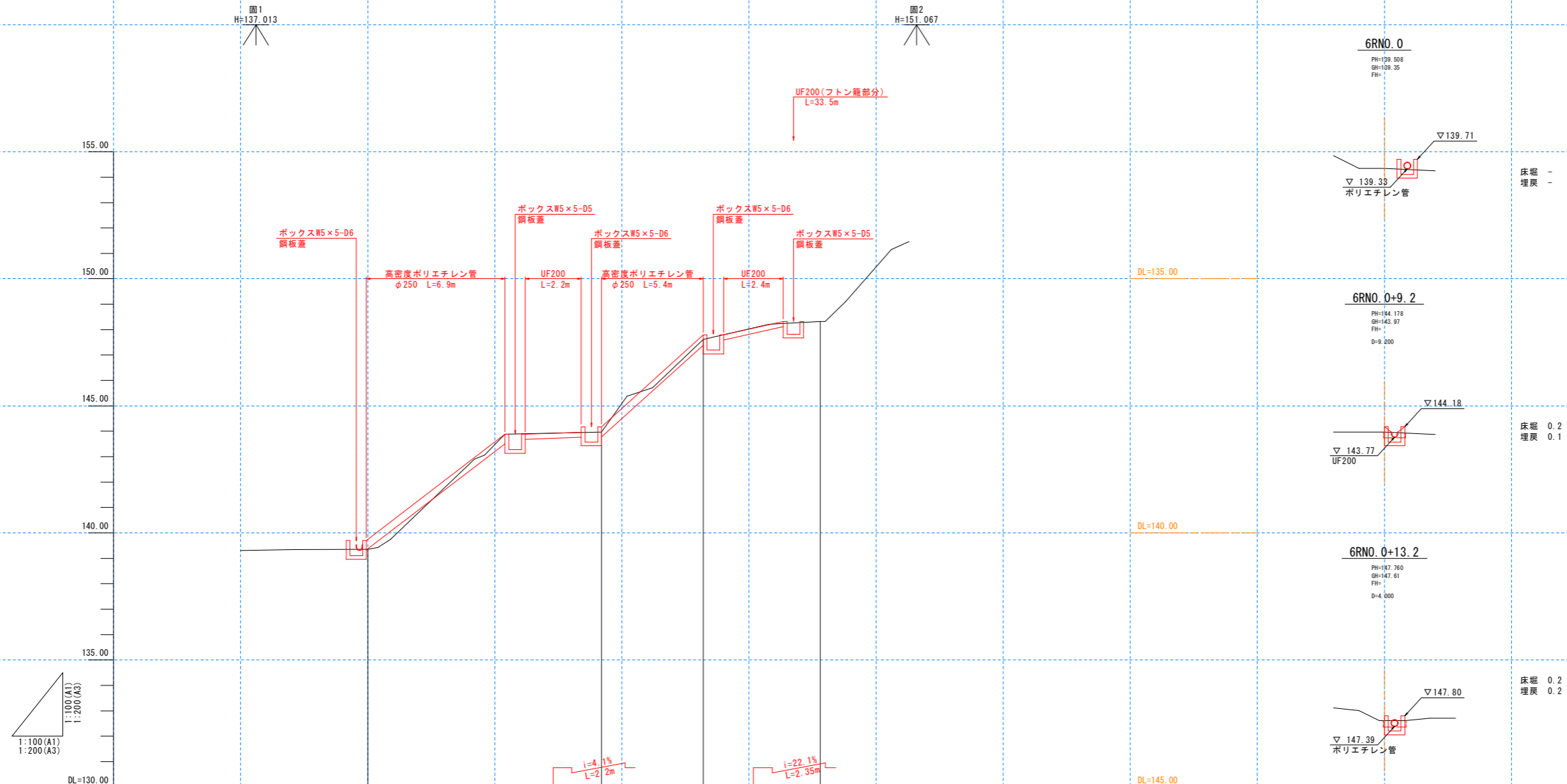
DL=135.00

DL=135.00

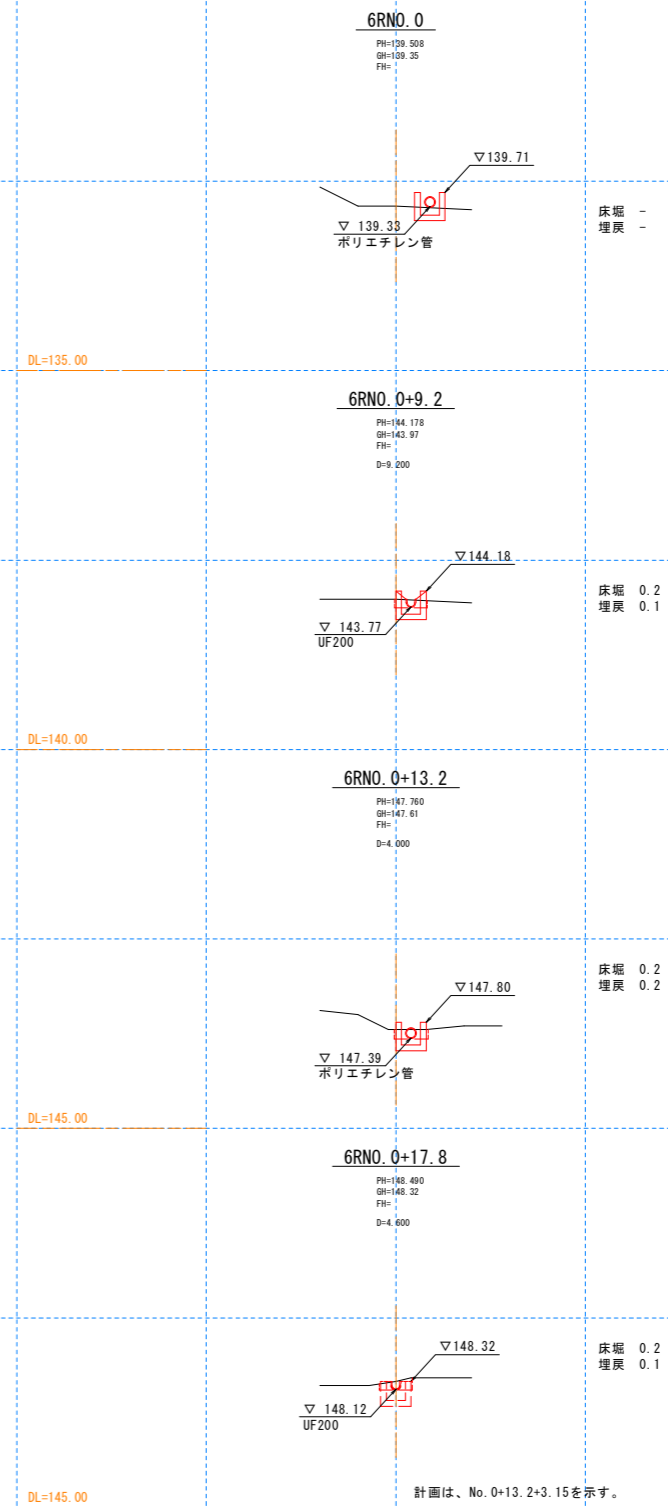
DL=135.00

当初
令和4年度 地すべり対策事業
八幡地区外 地下水排除等工事

図面の名称		図面番号
7ブロック 7-1号, 7-2号孔口保護工横断面図		4 / 12
縮尺 : 1 : 100 (A1) 1 : 200 (A3)		
測量	令和	年月 日終了
設計		
製 図	原図	
	複写	



計	勾配		$i=76.7\%$ $L=5.45m$	$i=90.3\%$ $L=4.0m$		
	盛土					
画	切土					
	水路底高	139.32	143.51 143.68	143.77 143.76	147.39 147.60	148.12
水路底高		139.32				
地盤高		139.35		143.97	147.61	148.32
追加距離		0.000		9.200	13.200	17.800
単距離		0.000		9.200	4.000	4.600
測点		6RNO.0		6RNO.0+9.2	6RNO.0+13.2	6RNO.0+17.8

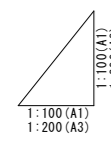
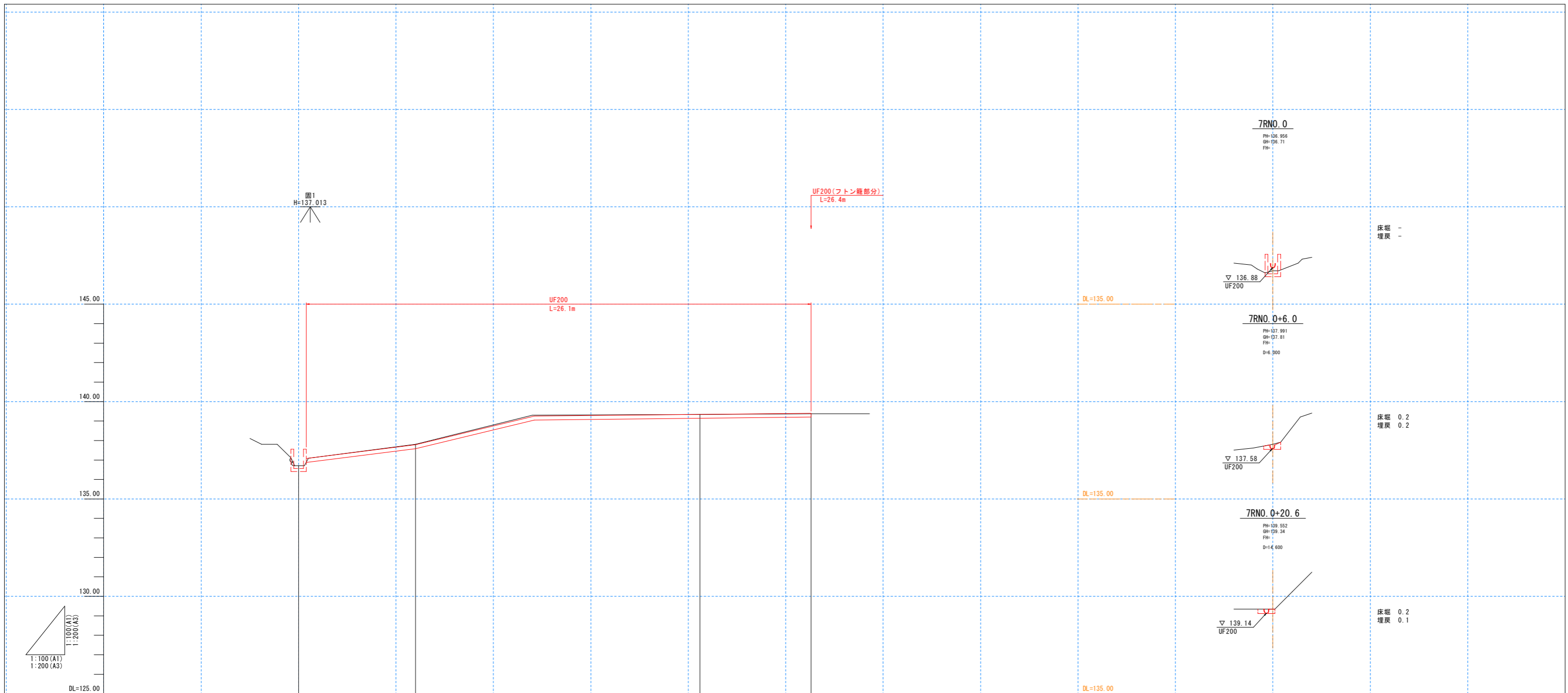


計画は、No. 0+13.2+3.15を示す。

当初

令和4年度 地すべり対策事業
八幡地区外 地下水排除等工事

図面の名称	図面番号
7ブロック 6号流末処理工縦横断面図 縮尺：1:100(A1) 1:200(A3)	5 / 12
測量	令和 年 月 日終了
設計	
製原 図模 写	



計	勾配				
	盛土				
画	切土				
	水路底高				
水路底高		136.88	137.58	139.05	139.14
地盤高		136.71	137.81	139.34	139.37
追加距離		0.000	6.000	20.600	26.300
単距離		0.000	6.000	14.600	5.700
測点		7RNO-0+0.4	7RNO-0+6.0	7RNO-0+20.6	7RNO-0+26.3

DL=135.00

7RNO-0

PH=136.956
GH=136.71
FH=

▽136.88
UF200

7RNO-0+6.0

PH=137.991
GH=137.81
FH=

D=6.300

▽137.58
UF200

7RNO-0+20.6

PH=139.552
GH=139.34
FH=

D=14.600

▽139.14
UF200

7RNO-0+26.3

PH=139.560
GH=139.37
FH=

D=6.700

▽139.20
UF200

床高 -
埋戻 -

床高 0.2
埋戻 0.2

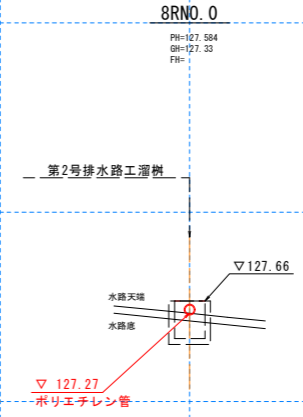
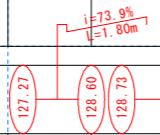
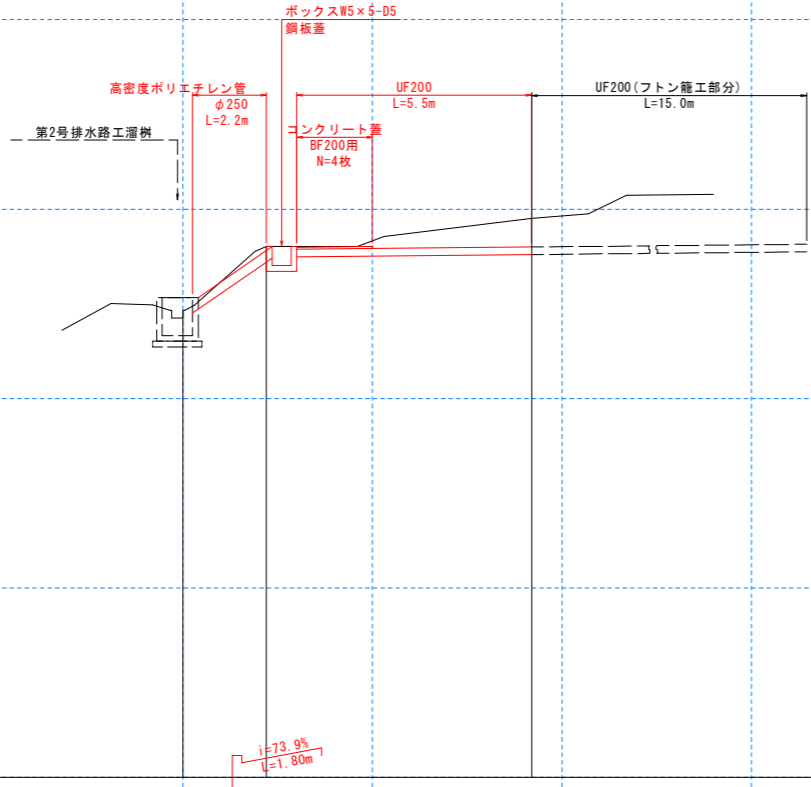
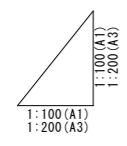
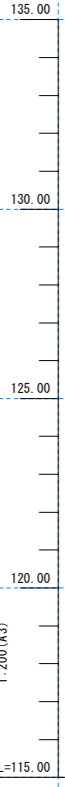
床高 0.2
埋戻 0.1

床高 0.2
埋戻 0.1

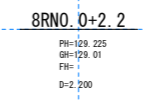
当初
令和4年度 地すべり対策事業
八幡地区外 地下水排除等工事

図面の名称	図面番号
7ブロック 第7号流末処理工縦断面図	6 / 12
縮尺: 1:100 (A1) 1:200 (A3)	
測量	令和 年 月 日終了
設計	
製原	
図模	

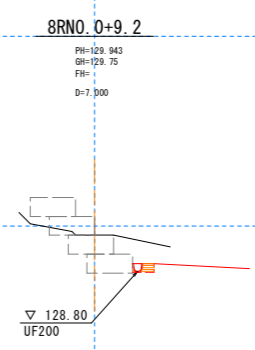
KBM B
H=127.374



床掘 -
埋戻 -



床掘 0.4
埋戻 0.3



床掘 0.1
埋戻 0.1

計	勾配			
	盛土			
画	切土			
	水路底高	127.30	128.64 128.74	128.80
水路底高				
地盤高		127.93	129.01	129.75
追加距離		0.000	2.200	9.200
単距離		0.000	2.200	7.000
測点		8RNO.0	8RNO.0+2.2	8RNO.0+9.2

当初
令和4年度 地すべり対策事業
八幡地区外 地下水排除等工事

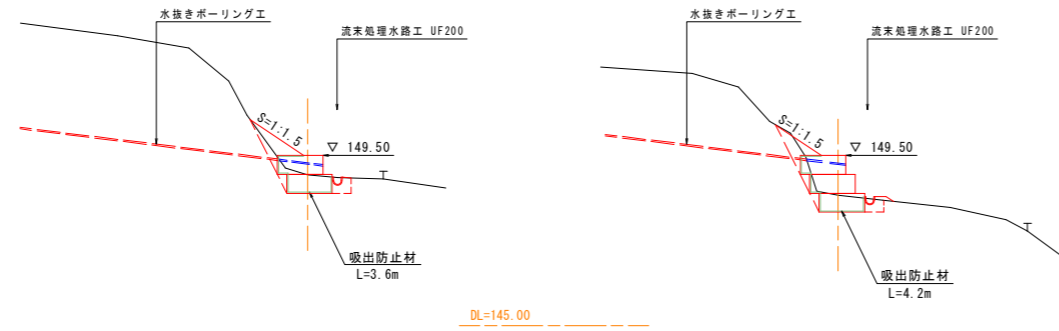
図面の名称	図面番号
7ブロック 第8号流末処理工縦断面図	7 / 12
縮尺: 1:100 (A1) 1:200 (A3)	
測量	令和 年 月 日終了
設計	
製原	
図模	

孔口保護工構造図(1/2) フトンカゴ工

第6-1号孔口保護工

標準断面図

S=1:100 (A1)
S=1:200 (A3)



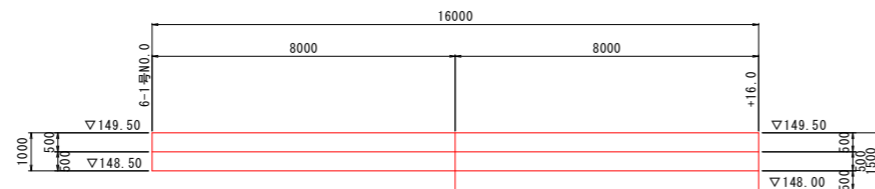
数量表 1箇所当り

名称	規格	単位	数量
フトン籠	1200-500 鉄線8#, 網目13cm	m	40.0
吸出防止材		m ²	62.4

※吸出防止材はフトン籠が土砂と接する面に設置すること。

正面図

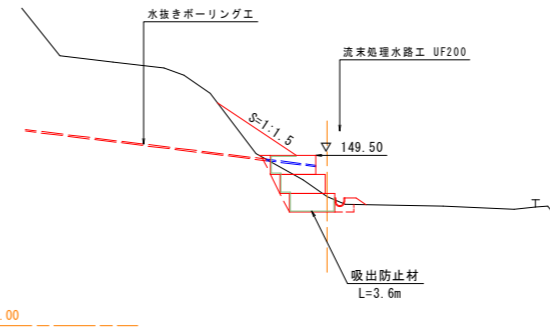
S=1:100 (A1)
S=1:200 (A3)



第6-2号孔口保護工

標準断面図

S=1:100 (A1)
S=1:200 (A3)



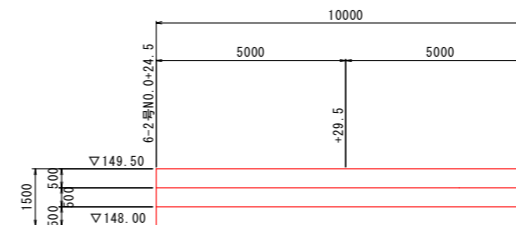
数量表 1箇所当り

名称	規格	単位	数量
フトン籠	1200-500 鉄線8#, 網目13cm	m	30.0
吸出防止材		m ²	36.0

※吸出防止材はフトン籠が土砂と接する面に設置すること。

正面図

S=1:100 (A1)
S=1:200 (A3)



当初
令和4年度 地すべり対策事業
八幡地区外 地下水排除等工事

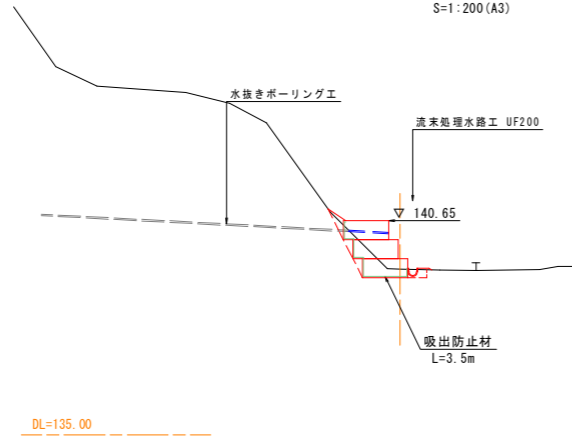
図面の名称		図面番号
7ブロック 孔口保護工構造図(フトンカゴ工) (1)		8 / 12
縮尺 : 1 : 100 (A1) 1 : 200 (A3)		
測量	令和 年 月 日	終了
設計		
製図	原図	
	複写	

孔口保護工構造図(2/2) フトンカゴ工

第7-1号孔口保護工

標準断面図

S=1:100 (A1)
S=1:200 (A3)



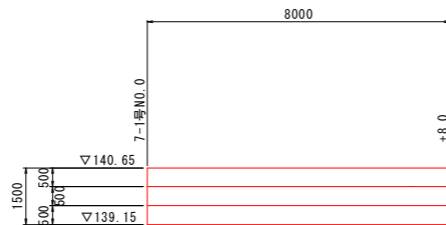
数量表 1箇所当り

名称	規格	単位	数量
フトン籠	1200-500 鉄線8#, 網目13cm	m	24.0
吸出防止材		m ²	28.0

※吸出防止材はフトン籠が土砂と接する面に設置すること。

正面図

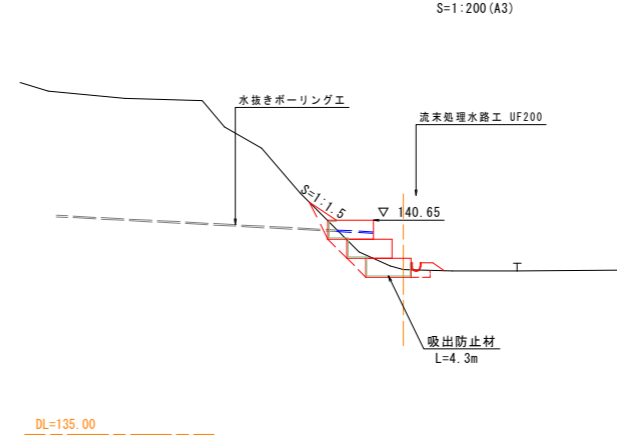
S=1:100 (A1)
S=1:200 (A3)



第7-2号孔口保護工

標準断面図

S=1:100 (A1)
S=1:200 (A3)



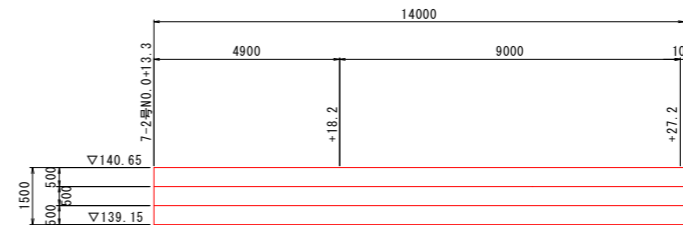
数量表 1箇所当り

名称	規格	単位	数量
フトン籠	1200-500 鉄線8#, 網目13cm	m	42.0
吸出防止材		m ²	60.2

※吸出防止材はフトン籠が土砂と接する面に設置すること。

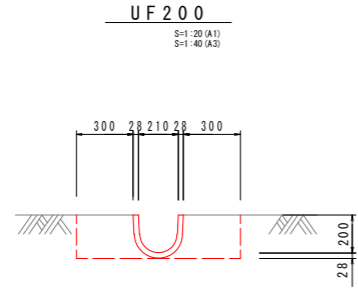
正面図

S=1:100 (A1)
S=1:200 (A3)



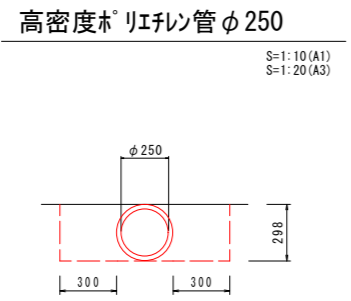
当初
令和4年度 地すべり対策事業
八幡地区外 地下水排除等工事

図面の名称		図面番号
7ブロック 孔口保護工構造図(フトンカゴ工)(2)		9 / 12
縮尺: 1:100 (A1) 1:200 (A3)		
測量	令和 年 月 日終了	
設計		
製図	原図	
	複写	



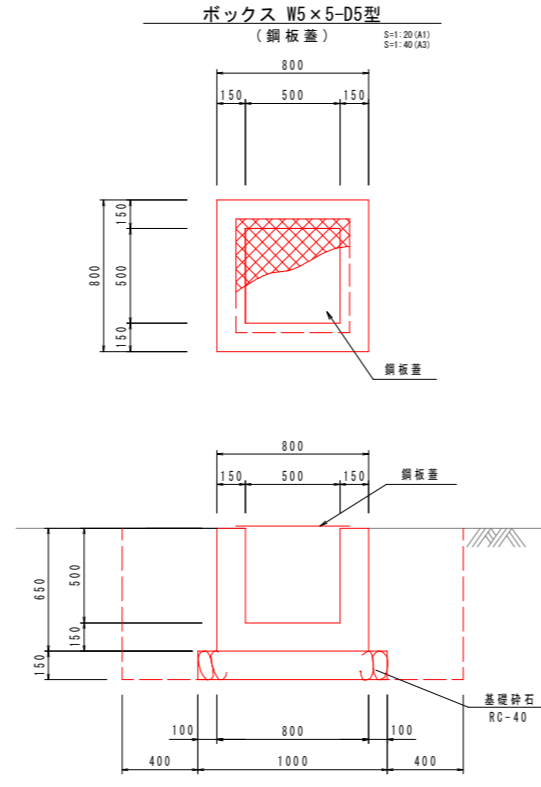
数量表 10m当たり

名称	規格	単位	数量
床掘	土砂	m ²	2.0
埋戻		m ²	1.5
U字フリューム	200	m	10.0



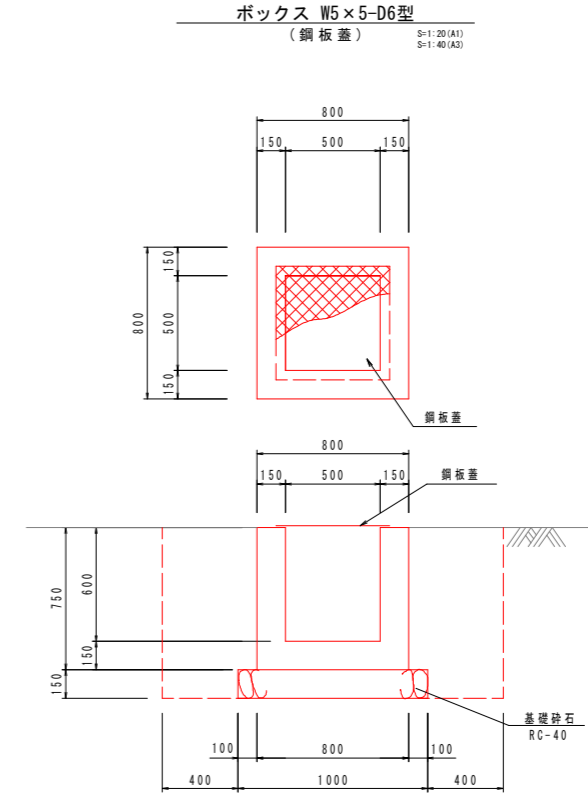
数量表 10m当たり

名称	規格	単位	数量
高密度ポリエチレン管	φ250	m	10.0



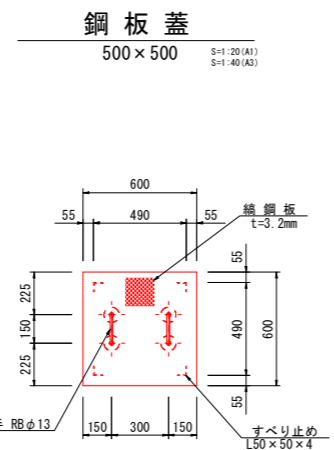
数量表 1箇所当たり

名称	規格	単位	数量
床掘	土砂	m ²	2.6
埋戻		m ²	2.0
コンクリート	σck=18N/mm ²	m ²	0.291
型枠		m ²	3.38
基礎砕石	RC-40, t=150	m ²	1.00
鋼板蓋	500×500用	枚	1



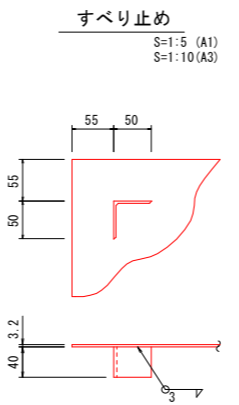
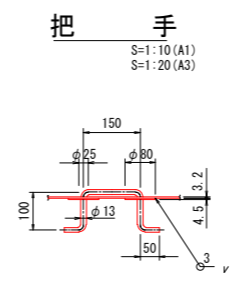
数量表 1箇所当たり

名称	規格	単位	数量
床掘	土砂	m ²	2.9
埋戻		m ²	2.3
コンクリート	σck=18N/mm ²	m ²	0.330
型枠		m ²	3.90
基礎砕石	RC-40, t=150	m ²	1.00
鋼板蓋	500×500用	枚	1



数量表

名称	寸法	規格	単位質量	数量	質量(kg)
鋼板	ch R 600×3.2×600	SS41	26.79kg/m ²	1	9.6
すべり止め	L50×50×4×40	〃	3.06kg/m	4	0.5
把手	RB φ13×450	〃	1.04kg/m	2	0.9
補強板	R φ81×4.5	〃	35.33kg/m ²	4	0.7
合計					11.7



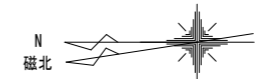
注) 鋼蓋(把手、すべり止め等含む)のさび止め塗装は、シアンミド鉛さび止めペイント(JIS K 5625)2回塗りとする。

当初
令和4年度 地すべり対策事業
八幡地区外 地下水排除等工事

図面の名称	図面番号
7ブロック 流末水路工構造図 縮尺:図示	10/12
測量	令和 年 月 日終了
設計	
製図	原図
校閲	複写

仮設計画平面図 6・7ブロック

S=1: 500 (A1)
S=1:1000 (A3)



STB. 14 - STB. 15 N80° Eを基に設定

Y=51000

Y=50950

Y=50900

Y=50850

Y=50800

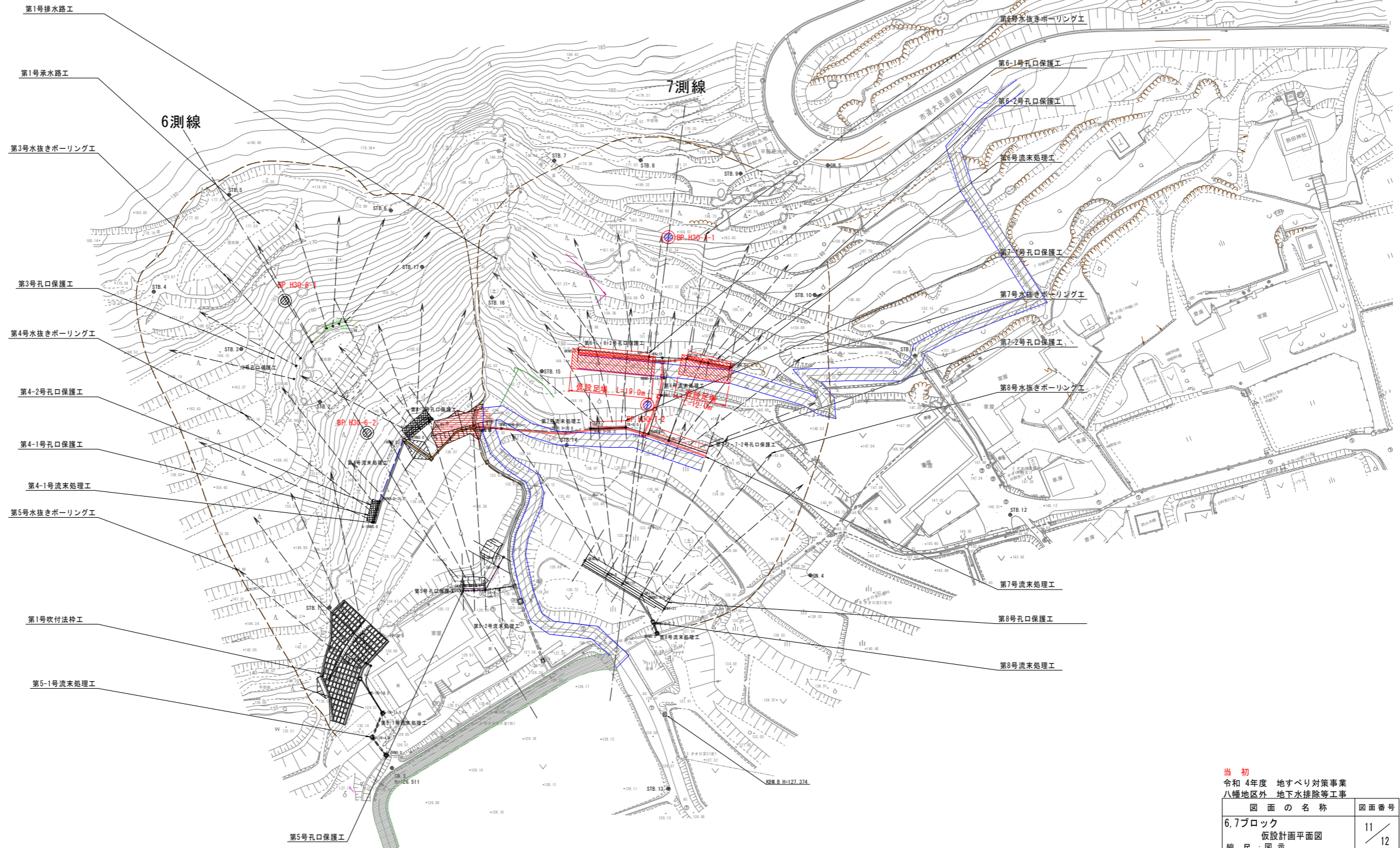
Y=51000

Y=50950

Y=50900

Y=50850

Y=50800



対策工凡例	
	水抜きボーリング工
	吹付法枠工
	孔口保護工(フトン籠工)
	孔口保護工(ブロック積み擁壁)
	植生マット
	植生シート
	水路工

当初 令和4年度 地すべり対策事業 八幡地区外 地下水排除等工事	
図面の名称	図面番号
6,7ブロック 仮設計画平面図	11 / 12
総尺: 図示	
測量	平成 年 月 日終了
設計	
製原図	
図複写	

令和4年度 地すべり対策事業 八幡地区外 地下水排除等工事

8・9測線

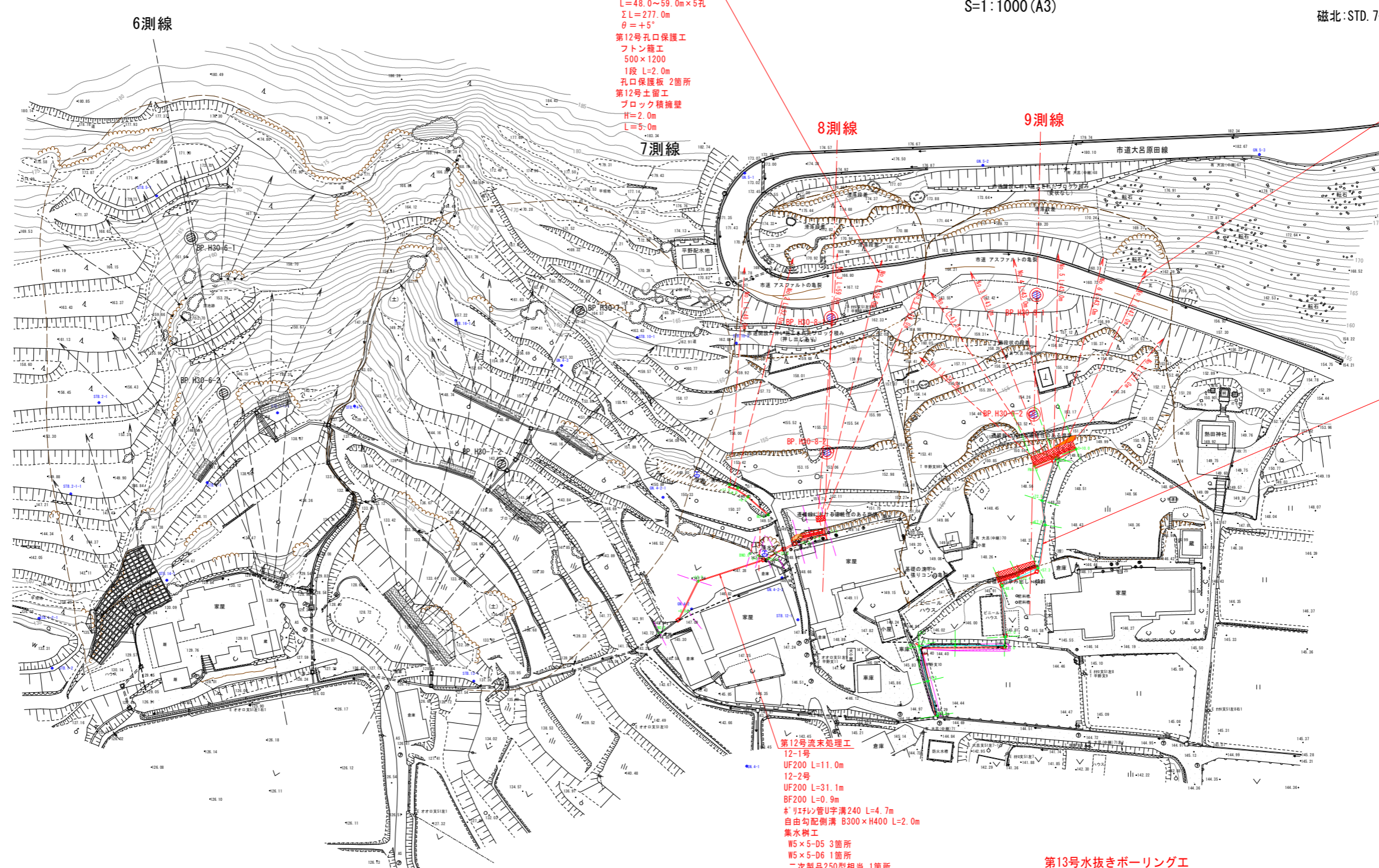
対策工法平面図

S=1: 500(A1)

S=1: 1000(A3)



磁北: STD. 7-GN. 5 N19.5° Wを基に設定



<9ブロック>
 第13号水抜きボーリング工
 L=31.0~43.0m×8孔
 ΣL=322.0m
 θ=+3°
 孔口保護工
 フトン籠工
 500×1200
 3~4段・ΣL=36.0m

第13号流末処理工
 UF200 L=30.3m
 UF250 L=33.4m
 明暗渠工 L=14.8m
 高密度ポリエチレン管φ250 L=2.0m
 集水樹工
 W5×5-D5 3箇所
 W5×5-D6 1箇所
 フトン籠工 500-1200
 3~5段積み ΣL=38.0m

第12号流末処理工
 12-1号
 UF200 L=11.0m
 12-2号
 UF200 L=31.1m
 BF200 L=0.9m
 ポリエチレン管U字溝240 L=4.7m
 自由勾配側溝 B300×H400 L=2.0m
 集水樹工
 W5×5-D5 3箇所
 W5×5-D6 1箇所
 二次製品250型相当 1箇所

第12号水抜きボーリング工

孔番	掘進長 (現況地盤より)	掘進方位	孔口間隔 (孔口保護前面)	勾配	孔口標高
NO.1	48.0m	N 82.5° E	1.0m	+5°	151.1m (孔口高)
NO.2	52.0m	S 87.0° E			
NO.3	59.0m	N 82.5° E	0.5m		
NO.4	59.0m	S 88.0° E			
NO.5	59.0m	S 79.0° E	0.5m		
ΣL=277.0m					

第13号水抜きボーリング工

孔番	掘進長 (現況地盤より)	掘進方位	孔口間隔 (孔口保護前面)	勾配	孔口標高
NO.1	33.0m	N 30.0° E	1.0m	+3°	150.0m (孔口高)
NO.2	43.0m	N 45.0° E			
NO.3	43.0m	N 56.5° E			
NO.4	43.0m	N 68.0° E			
NO.5	43.0m	N 80.0° E			
NO.6	43.0m	S 88.5° E			
NO.7	43.0m	S 76.5° E			
NO.8	31.0m	S 60.0° E			
ΣL=322.0m					

凡例

踏査結果

- 滑動ブロック
- 滑落段差、崩壊
- 押し出し
- 湧水

調査事項

- 解析測線
- 調査ボーリング
(パイプ量計・地下水位観測・地下水検層)

対策工凡例

- 水抜きボーリング工
- 孔口保護工(フトン籠工)
- 土留工(ブロック積擁壁工)
- 植生マット
- 植生シート
- 水路工

当初
 令和4年度 地すべり対策事業
 八幡地区外 地下水排除等工事

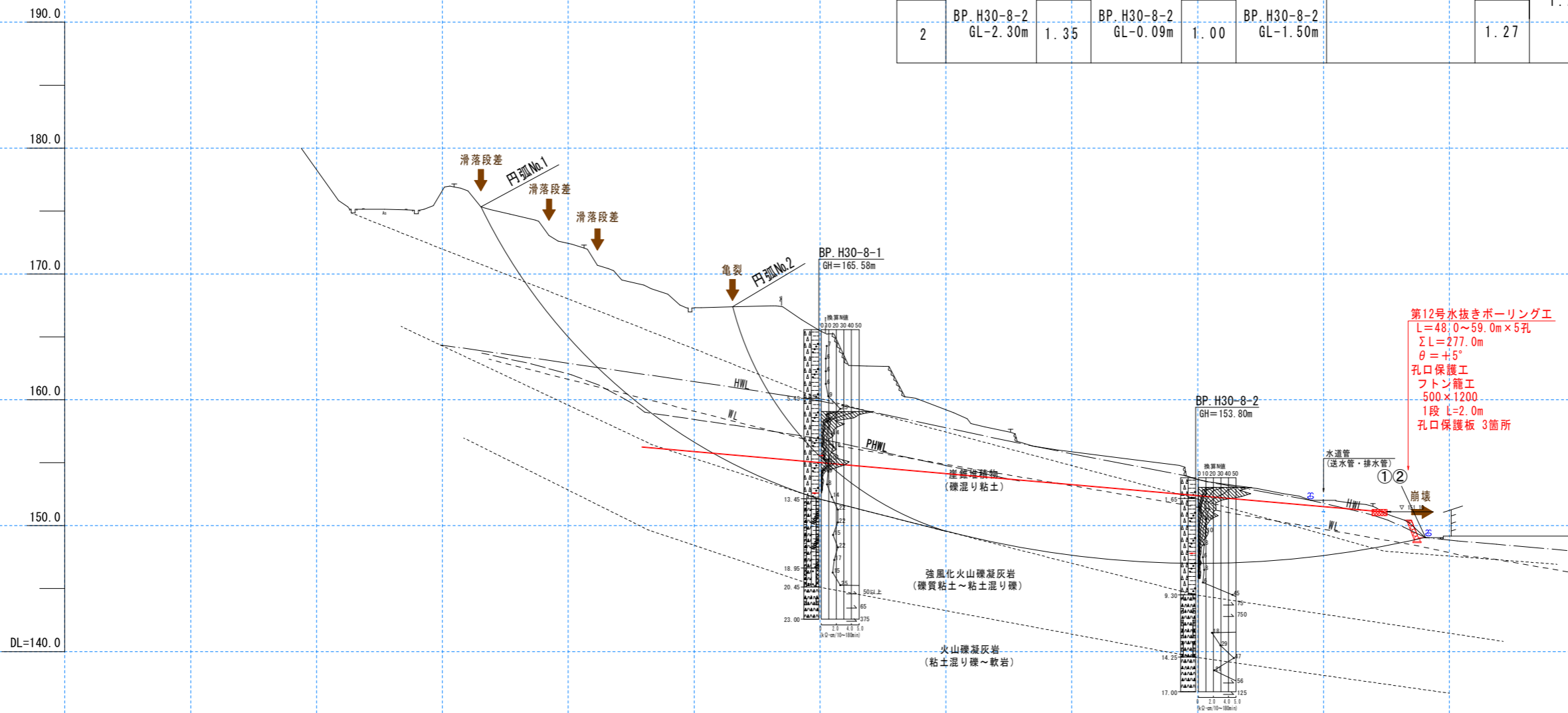
図面の名称	図面番号
8・9測線 対策工法平面図	1/13
縮尺	1:500(A1) : 1,000(A3)
測量	令和 年 月 日終了
設計	
製図	
原図	
複写	

令和4年度 地すべり対策事業 八幡地区外 地下水排除等工事

8測線
地質断面図 S=1:200

安全率一覧表

円弧 No.	平常水位		高水位		PHWL	対策工事		計画 F _s	土質定数
	WL	F _s	HWL	F _s		水抜きボーリング工	F _s		
1	BP. H30-8-1 GL-9.00m	1.25	BP. H30-8-1 GL-5.66m	1.00	BP. H30-8-1 GL-8.66m	第12号水抜きボーリング工 L=48.0~59.0m×5孔 ΣL=277.0m θ=+5°	1.22	1.20	γ _t =16.87 kN/m ³ γ _{sat} =16.98 kN/m ³ C=5.77 kN/m ² φ=24.59°
2	BP. H30-8-2 GL-2.30m	1.35	BP. H30-8-2 GL-0.09m	1.00	BP. H30-8-2 GL-1.50m		1.27		



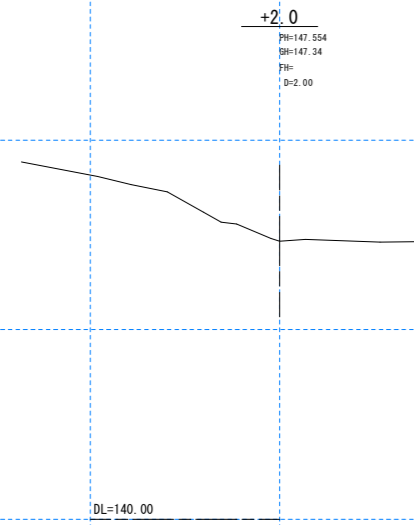
当初
令和4年度 地すべり対策事業
八幡地区外 地下水排除等工事

図面の名称	図面番号
8測線 地質断面図	2 / 13
縮尺 1:200(A1) : 400(A3)	
測量	令和 年 月 日終了
設計	
製図	
図	

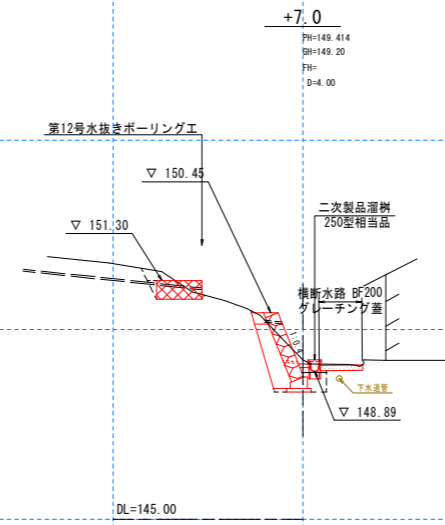
第12号孔口保護工・土留工横断面図

第12号孔口保護工(フトン籠工)
土留工(ブロック積み擁壁)

第12号孔口保護工構造図



+2.0
PH=147.554
BH=147.34
FH=
D=2.00

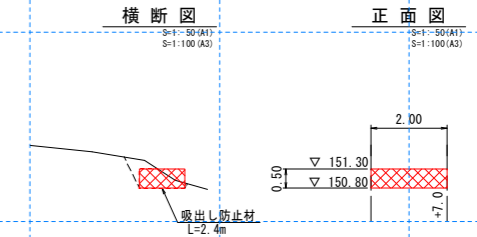


+7.0
PH=149.414
BH=149.20
FH=
D=4.00

フトン籠工
掘削 = 0.7
埋戻 = 0.1

ブロック積み擁壁
掘削 = 0.8
床掘 = 0.9
埋戻 = 0.4
盛土 = 0.0
表込 = 0.7

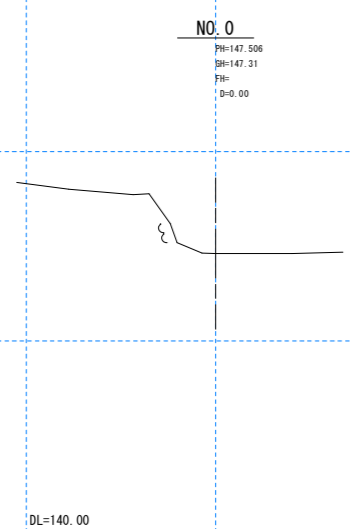
※ブロック積は +6.0mまで



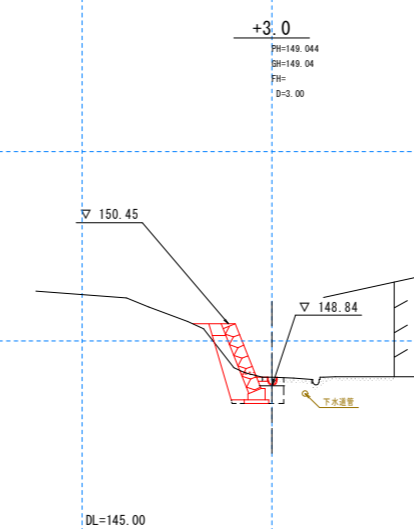
数量表 1箇所当り

名称	規格	単位	数量
フトンカゴ	1200・500 鉄線径 縦目13cm	m	2.0
吸出防止材		m ²	4.8

※吸出防止材はフトンカゴが土砂と接する面に設置すること。

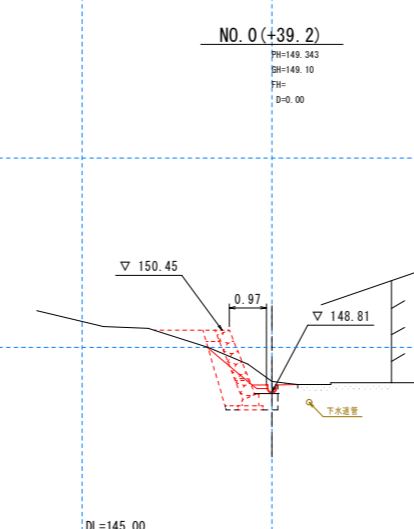


NO. 0
PH=147.506
BH=147.31
FH=
D=0.00



+3.0
PH=149.044
BH=149.04
FH=
D=3.00

ブロック積み擁壁
掘削 = 0.3
床掘 = 0.9
埋戻 = 0.4
盛土 = 0.1
表込 = 0.7



NO. 0 (+39.2)
PH=149.343
BH=149.10
FH=
D=0.00

ブロック積み擁壁
掘削 = 0.9
床掘 = 0.8
埋戻 = 0.3
盛土 = 0.3
表込 = 0.7

※ブロック積は +1.0mより

当初
令和4年度 地すべり対策事業
八幡地区外 地下水排除等工事

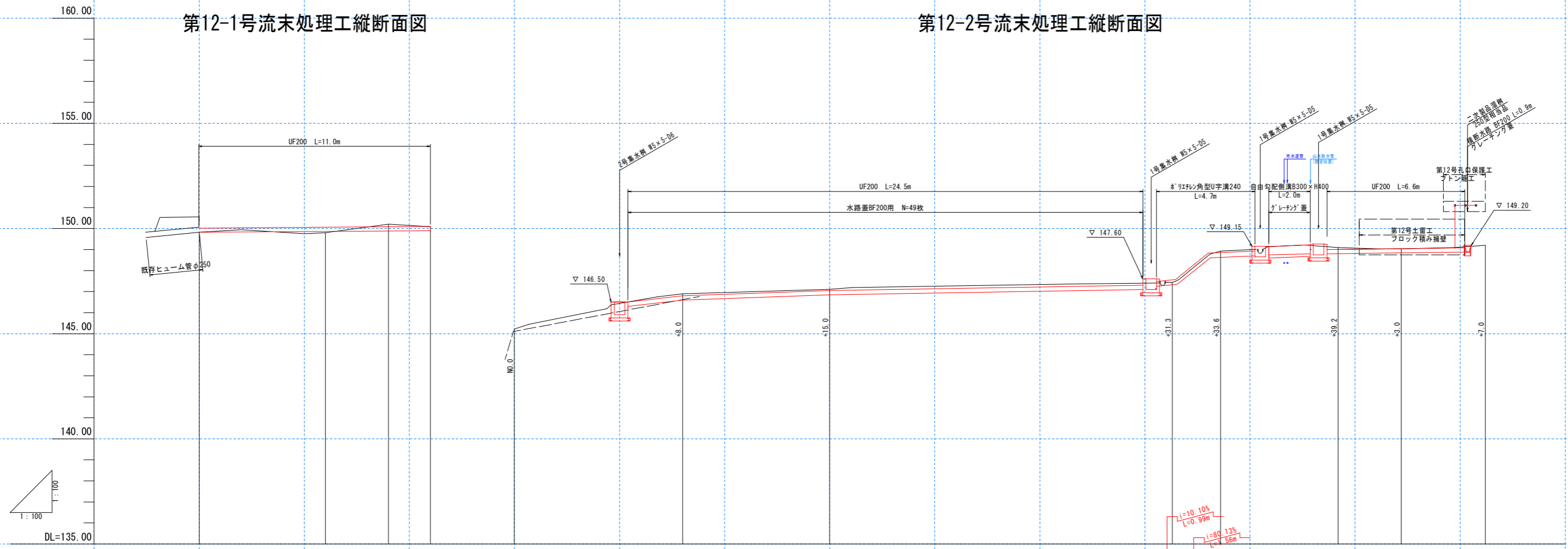
図面の名称		図面番号
8ブロック 第12号孔口保護工・土留工横断面図		3 / 13
縮尺 : 1 : 100 (A1) 1 : 200 (A3)		
測量	令和	年月 日終了
設計		
製 図	原図	
	複写	

GN.4
H=142.583

STB.11
H=150.867

第12-1号流末処理工縦断面図

第12-2号流末処理工縦断面図

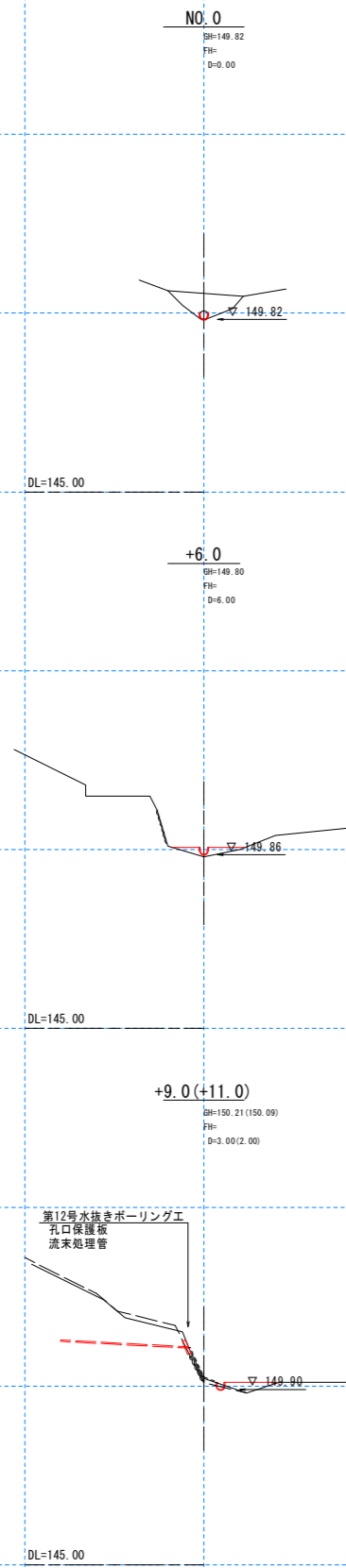


画	勾配															
点	水路底高	149.82	149.86	149.88	149.90	146.30	146.60	146.85	147.25	147.35	148.60	148.70	148.80	148.81	148.84	148.89
	水路底高	145.22-145.11														
	地盤高	149.82	149.80	150.21	150.09	145.22	146.90	147.11	147.43	148.93	149.10	149.04	149.20	149.10	149.04	149.20
	追加距離	0.00	6.00	9.00	11.00	0.00	8.00	15.00	31.30	33.60	39.20	42.20	46.20	46.20	46.20	
	単距離	0.00	4.00	3.00	2.00	0.00	8.00	7.00	16.30	2.30	5.60	3.00	4.00	4.00	4.00	
	測点名	NO.0	+6.0	+9.0	+11.0	NO.0	+8.0	+15.0	+31.3	+33.6	+39.2 (NO.0)	+3.0	+7.0	+7.0	+7.0	

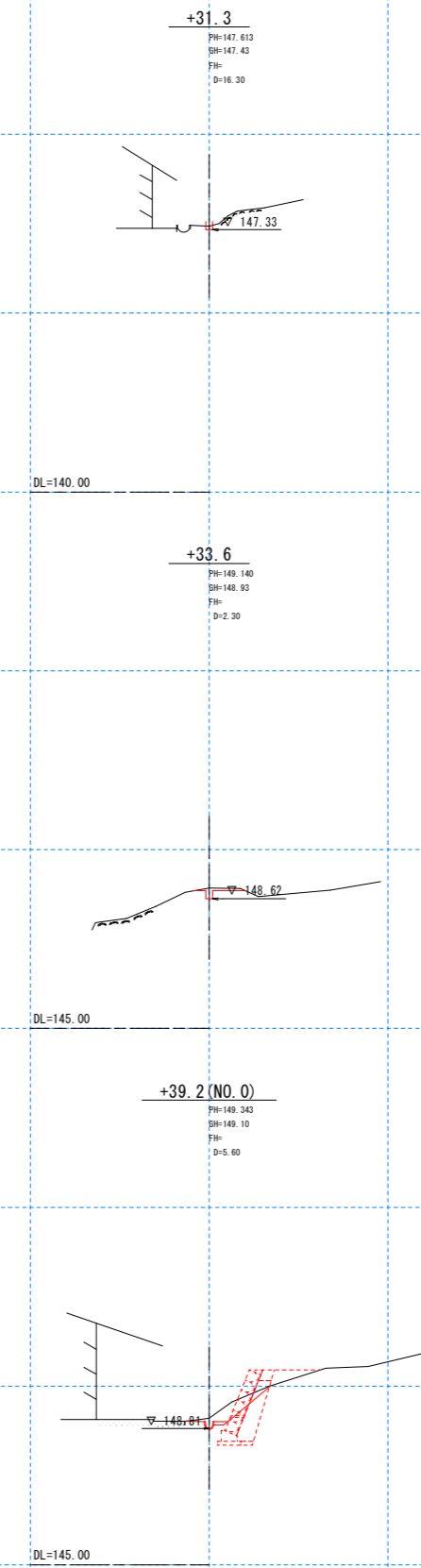
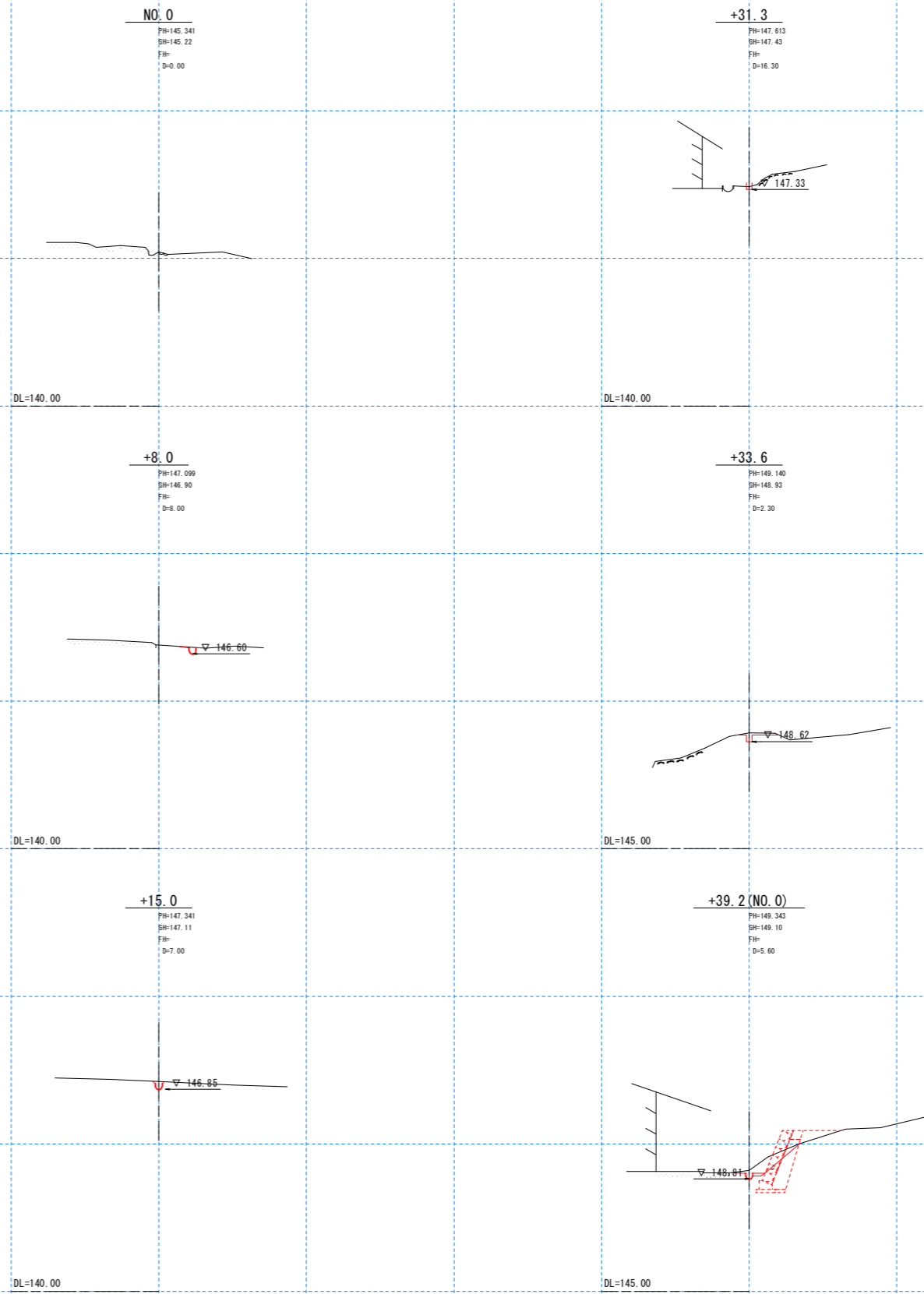
当初
令和4年度 地すべり対策事業
八幡地区外 地下水排除等工事

図面の名称	図面番号
8ブロック 第12号流末処理工縦断面図	4 / 13
縮尺 : 1:100(A1) 1:200(A3)	
測量	令和 年 月 日終了
設計	
製原	
図模	

第12-1号流末処理工横断面図



第12-2号流末処理工横断面図



当初
令和4年度 地すべり対策事業
八幡地区外 地下水排除等工事

図面の名称		図面番号
8ブロック 第12号流末処理工横断面図		5 / 13
縮尺 : 1 : 100 (A1) 1 : 200 (A3)		
測量	令和	年月 日終了
設計		
製 図	原図	
	複写	

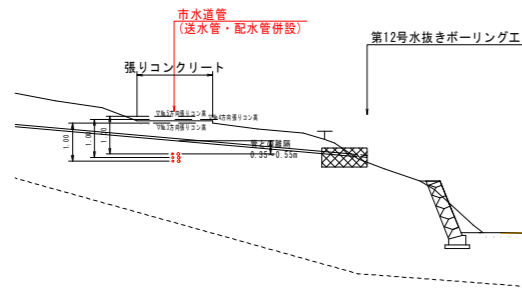
令和4年度 地すべり対策事業 八幡地区外 地下水排除等工事

8測線
仮設平面図

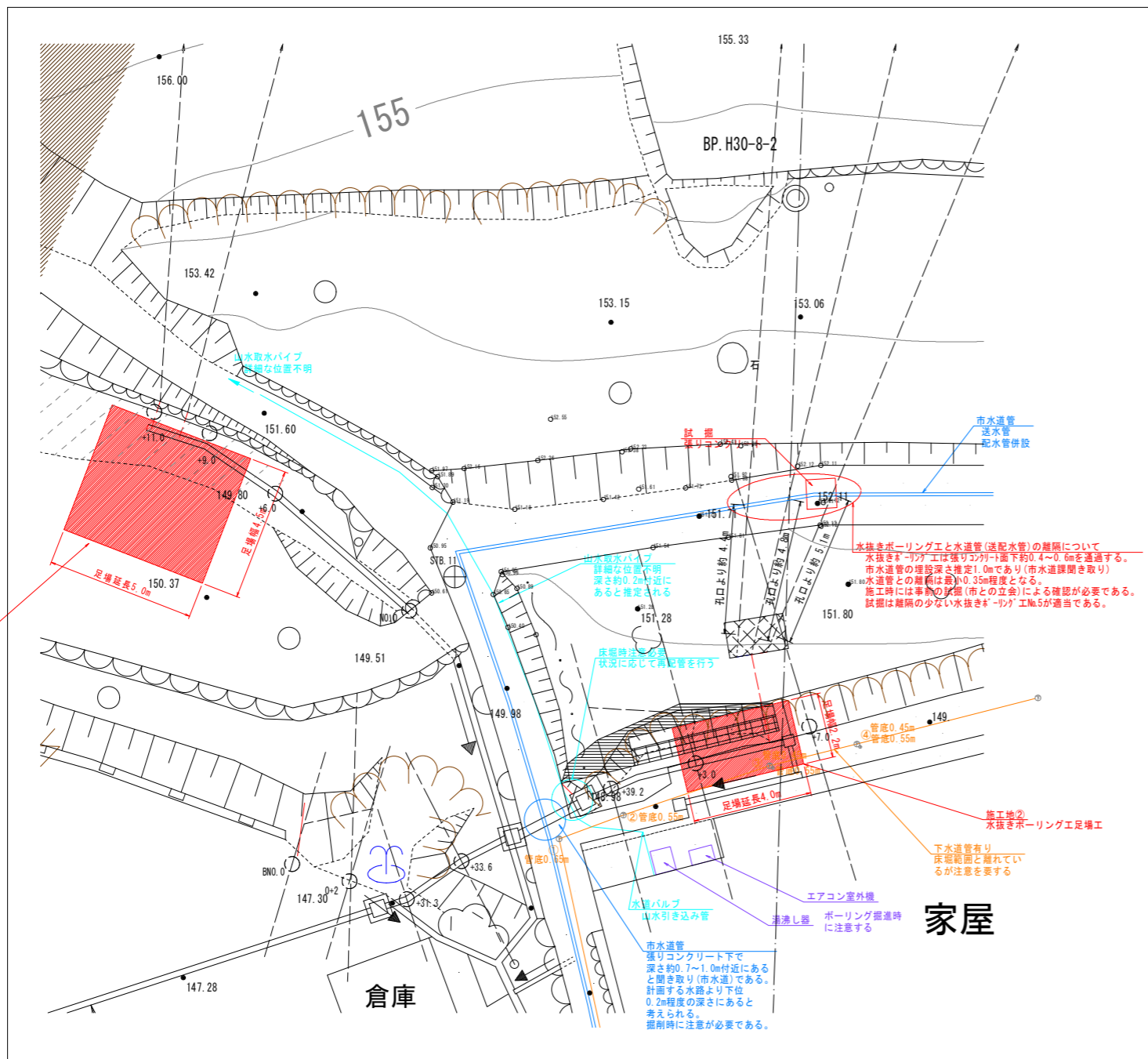


磁北:STD. 7-GN. 5 N19.5° Wを基に設定

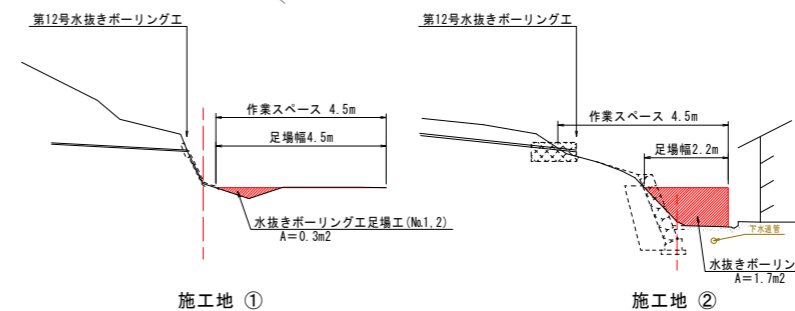
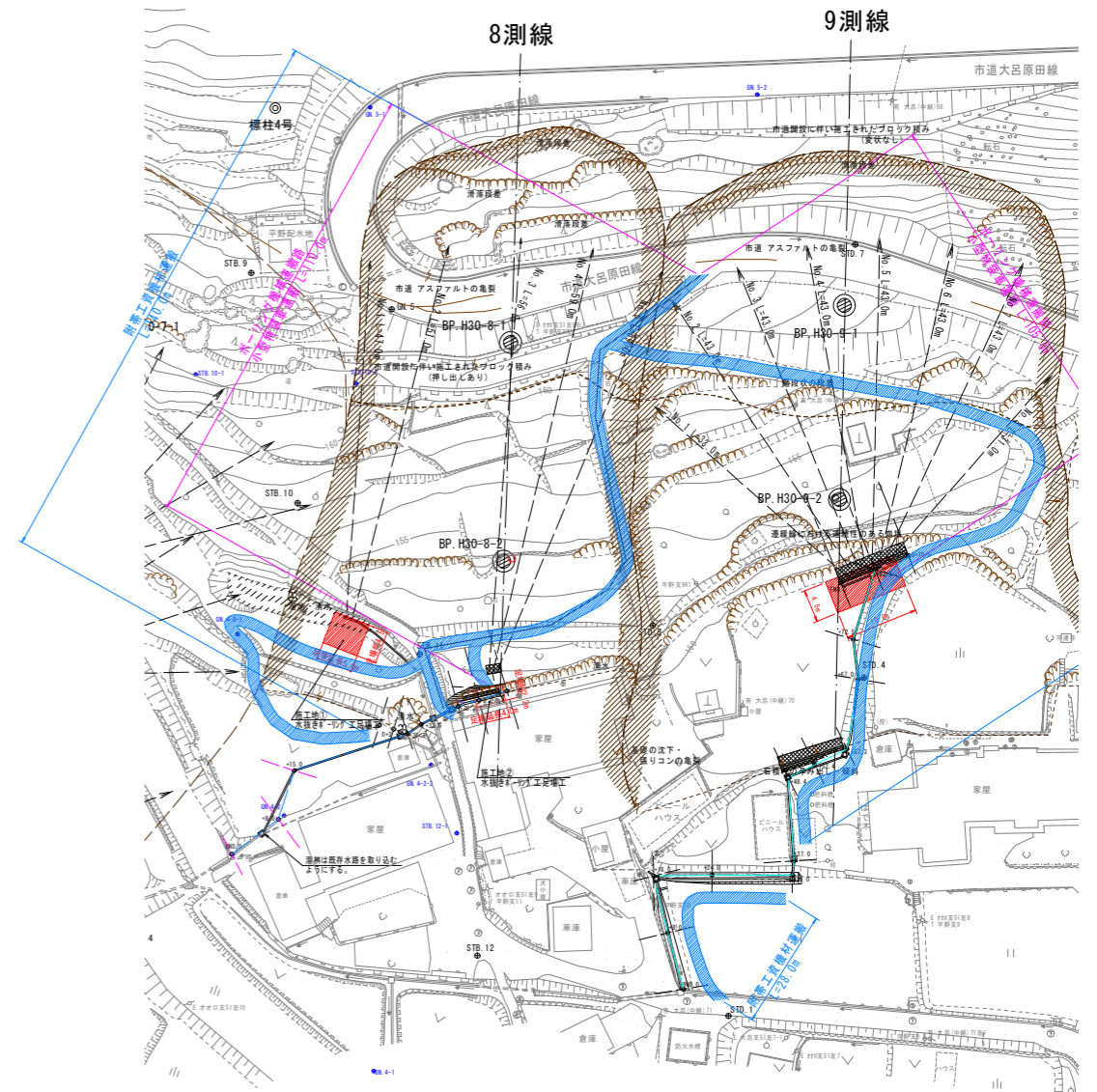
S=1: 500 (A1)
S=1: 1000 (A3)



市水道管(送水管・配水管)付近拡大断面図 S=1: 100 (A1)
S=1: 200 (A3)



水抜きボーリング工施工地拡大図 S=1: 100 (A1)
S=1: 200 (A3)



水抜きボーリング工施工足幅 S=1: 100 (A1)
S=1: 200 (A3)

当初 令和4年度 地すべり対策事業 八幡地区外 地下水排除等工事	
図面の名称	図面番号
8ブロック 仮設平面図(参考)	7 / 13
縮尺: 図示	
測量	令和 年 月 日終了
設計	
製原	
図模	

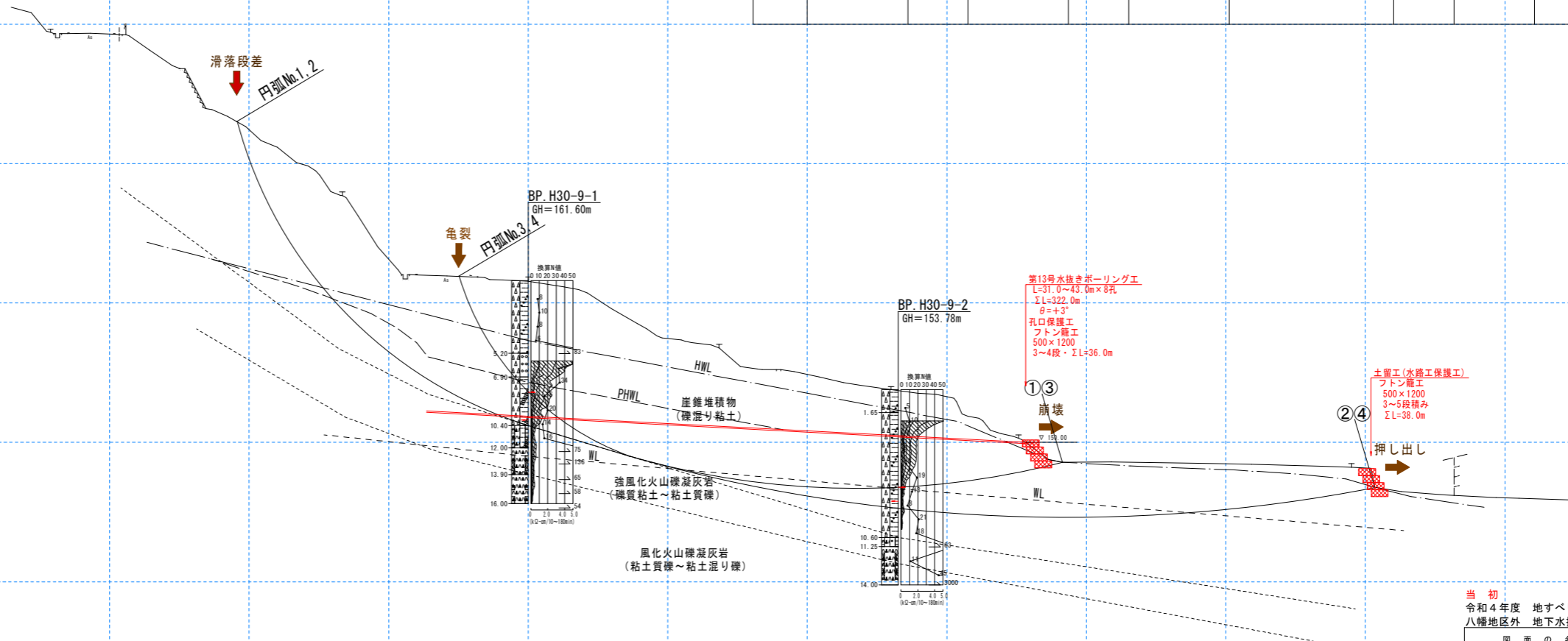
令和4年度 地すべり対策事業 八幡地区外 地下水排除等工事

9測線
地質断面図 S=1:200

安全率一覧表

円弧 No.	平常水位		高水位		PHWL	対策工事		計画 Fs	土質定数
	WL	Fs	HWL	Fs		水抜きボーリング工	Fs		
1		1.60		1.00		第13号水抜きボーリング工 L=31.0~43.0m×8孔 ΣL=322.0m θ=+3°	1.25	γt=16.87 kN/m ³ γsat=16.98 kN/m ³ C= 4.96 kN/m ² φ= 24.46°	
2	BP. H30-9-1 GL-12.60m	1.64	BP. H30-9-1 GL-4.31m	1.00	BP. H30-9-1 GL-7.31m		1.22		γt=16.87 kN/m ³ γsat=16.98 kN/m ³ C= 3.28 kN/m ² φ= 24.06°
3	BP. H30-9-2 GL-7.10m	1.83	BP. H30-9-2 GL-1.48m	1.00	BP. H30-9-2 GL-3.30m		1.36	γt=16.87 kN/m ³ γsat=16.98 kN/m ³ C= 1.52 kN/m ² φ= 23.80°	
4		1.94		1.07			1.36		

190.0
180.0
170.0
160.0
150.0
DL=140.0



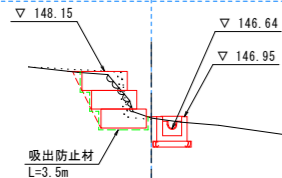
当初
令和4年度 地すべり対策事業
八幡地区外 地下水排除等工事

図面の名称	図面番号
9測線 地質断面図	8 / 13
縮尺 1:200(A1) 1:400(A3)	
測量	令和 年 月 日終了
設計	
製図	
原図	
図	
複写	

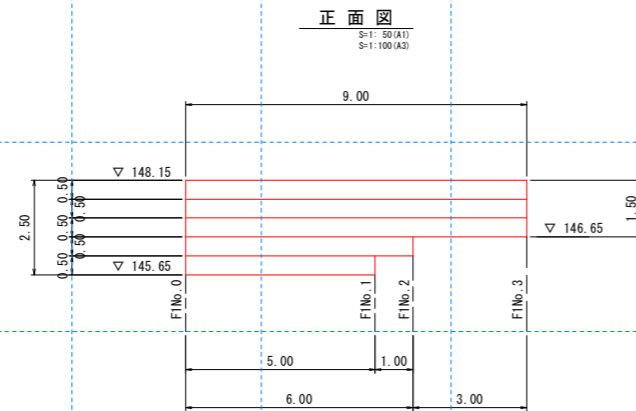
第13号孔口保護工・流末処理保護工 横断面図

流末処理保護工

(F1NO. 3)
+8.9(+57.3)
PH=147.182
BH=146.92
FH=
D=4.90



流末処理保護工
フトンカゴ工
掘削 1.4
床掘 0.2
盛土
埋戻(カゴ) 0.2



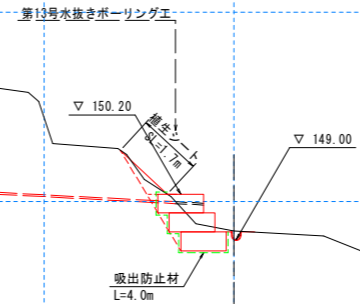
数量表 1箇所当たり

名称	規格	単位	数量
フトンカゴ	1200-500 鉄線8#, 網目13cm	m	38.0
吸出防止材		m ²	39.8

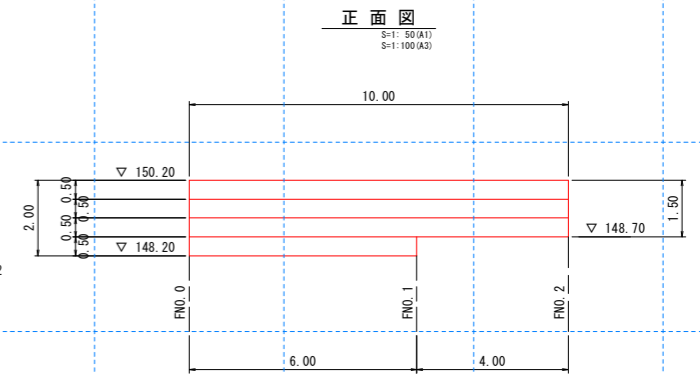
※吸出防止材はフトンカゴが土砂と接する面に設置すること。

孔口保護工

(FNO. 2)
+10.0
PH=149.536
BH=149.23
FH=
D=5.00
D=4.40



孔口保護工
フトンカゴ工
掘削 1.1
床掘 0.7
盛土 0.3
埋戻(カゴ) 0.2

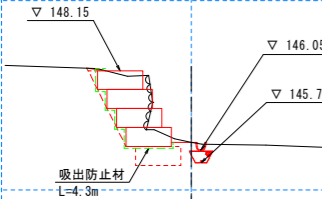


数量表 1箇所当たり

名称	規格	単位	数量
フトンカゴ	1200-500 鉄線8#, 網目13cm	m	36.0
吸出防止材		m ²	43.6

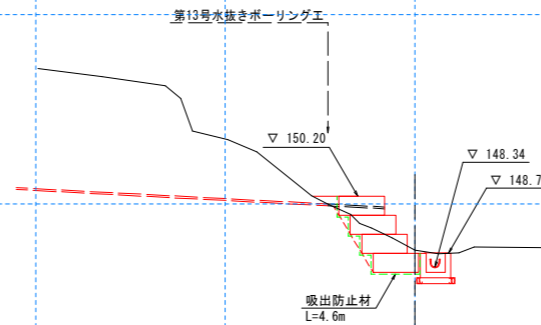
※吸出防止材はフトンカゴが土砂と接する面に設置すること。

(F1NO. 1, F1NO. 2)
+4.0(+52.4)
PH=146.476
BH=146.26
FH=
D=4.00



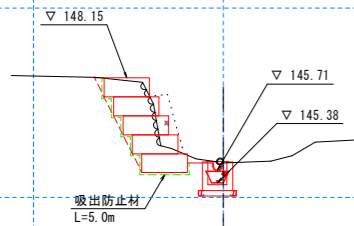
流末処理保護工
フトンカゴ工
掘削 2.3
床掘 0.1
盛土 0.0
埋戻(カゴ) 0.3

(FNO. 1)
+5.0(+82.5)
PH=149.003
BH=148.78
FH=
D=5.00
D=4.00



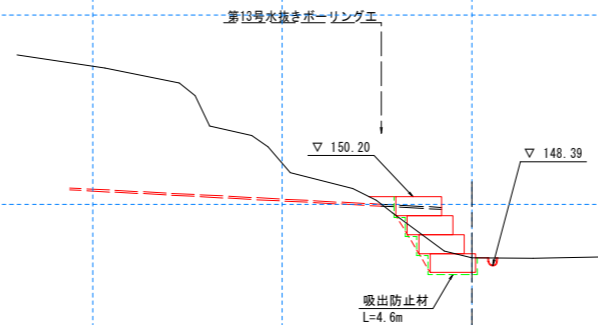
孔口保護工
フトンカゴ工
掘削 1.3
床掘 0.4
盛土 0.1
埋戻(カゴ) 0.3

(F1NO. 0)
NO. 0(+48.4)
PH=146.179
BH=145.91
FH=
D=0.00



流末処理保護工
フトンカゴ工
掘削 2.5
床掘 0.3
盛土 0.0
埋戻(カゴ) 0.3

FNO. 0
PH=148.819
BH=148.59
FH=
D=0.00



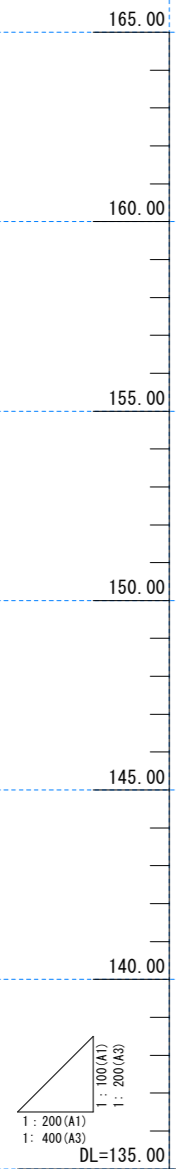
孔口保護工
フトンカゴ工
掘削 0.5
床掘 0.5
盛土 0.1
埋戻(カゴ) 0.3

当初
令和4年度・地すべり対策事業
八幡地区外 地下水排除等工事

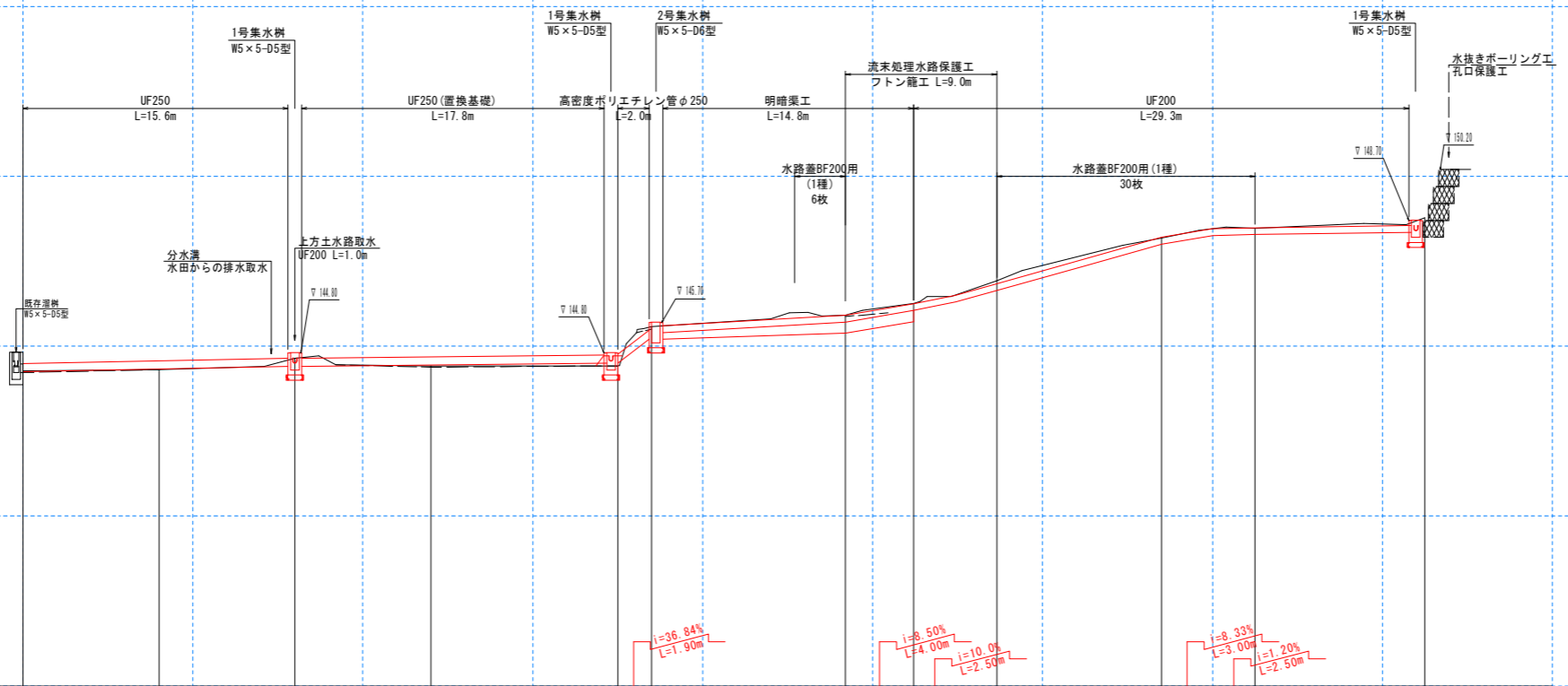
図面の名称		図面番号
9ブロック 第13号孔口保護工・流末処理保護工 横断面図		9 / 13
縮尺 : 1 : 100(A1) 1 : 200(A3)		
測量	令和 年 月 日終了	
設計		
製図	原図	
図	模写	

KBM D
H=145.246

STD. 5
H=152.357



DL=135.00
1: 100(A1)
1: 200(A3)
1: 400(A3)



面 計	勾配		Elevation and Distance Data												
	水路底高	管底高	0+00	0+8.00	0+16.00	0+24.00	0+35.00	0+37.00	0+48.40	0+52.40	0+57.30	0+67.00	0+72.50	0+82.50	
水路底高	144.25	144.33	144.22	144.31	144.40	144.44	144.50	145.10	145.71	146.05	146.64	148.00	148.28	148.35	
管底高	144.25	144.31	144.22	144.38	144.42	144.38	144.42	145.50	145.71	146.26	146.92	148.18	148.47	148.78	
地盤高	144.27	144.31	144.64	144.42	144.57	144.91	145.26	146.26	146.92	148.18	148.47	148.78	148.78	148.78	
追加距離	0.00	8.00	16.00	24.00	35.00	37.00	48.40	52.40	57.30	67.00	72.50	82.50	82.50	82.50	
単距離	0.00	8.00	8.00	8.00	11.00	2.00	11.40	4.00	4.90	9.70	5.50	10.00	10.00	10.00	
測点名	0+00	0+8.0	0+16.0	0+24.0	0+35.0	0+37.0	0+48.4	0+52.4	0+57.3	0+67.0	0+72.5	0+82.5	0+82.5	0+82.5	

当初
令和4年度 地すべり対策事業
八幡地区外 地下水排除等工事

図面の名称: 9ブロック 第13号流末処理工縦断面図
図面番号: 10/13

縮尺: 図示

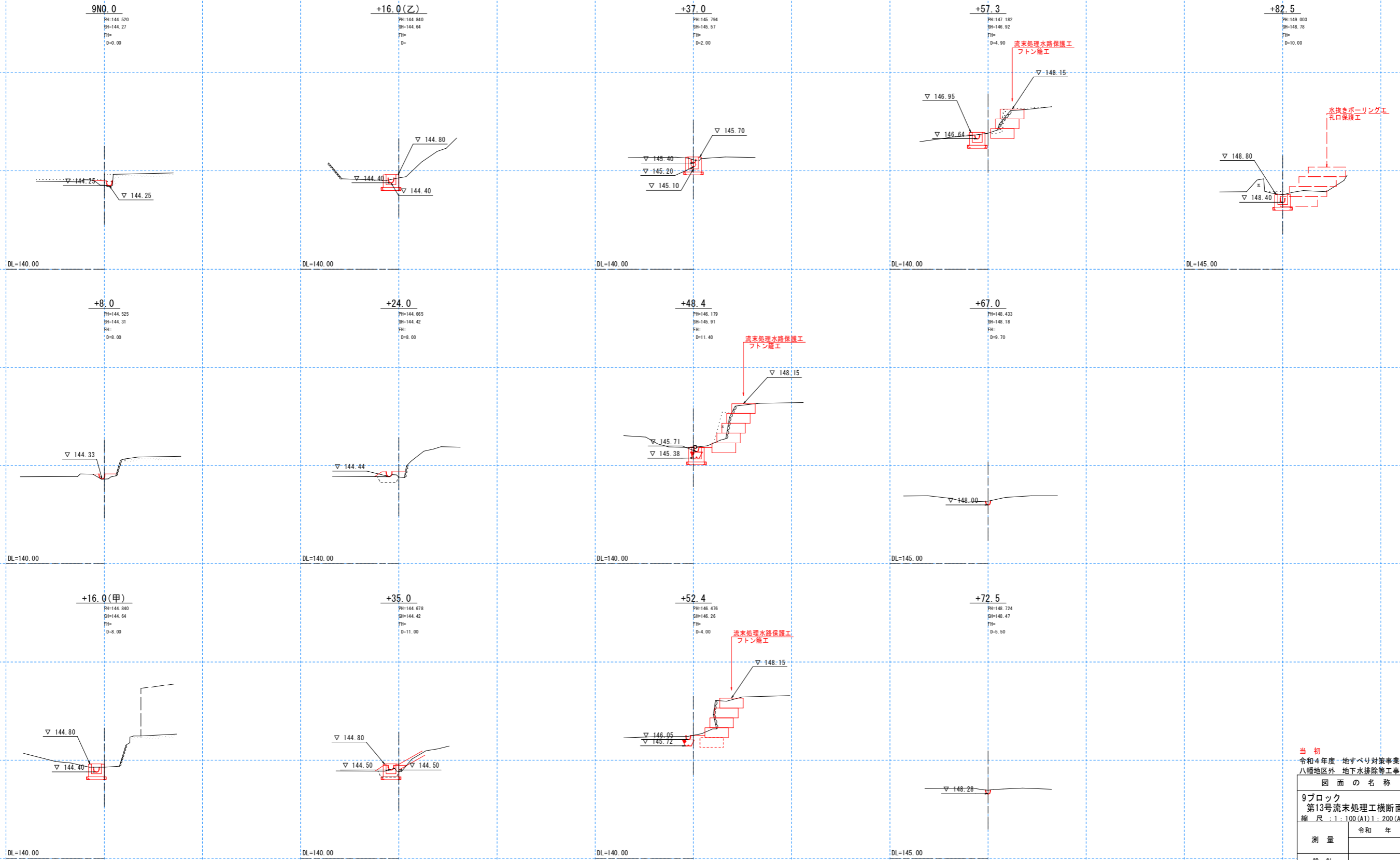
測量: 令和 年 月 日 終了

設計: _____

製原: _____

図模: _____

第13号流末処理工横断面図



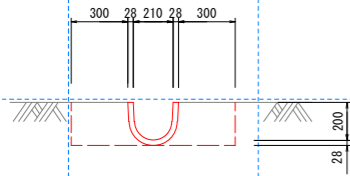
当初
令和4年度・地すべり対策事業
八幡地区外 地下水排除等工事

図面の名称		図面番号
9ブロック 第13号流末処理工横断面図		11 / 13
縮尺 : 1 : 100(A1) 1 : 200(A3)		
測量	令和	年月 日終了
設計		
製図	原図	
図	模写	

流末処理工構造図

UF200

S=1:20(A1)
S=1:40(A3)

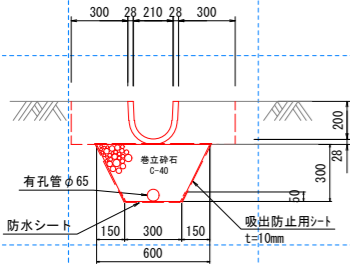


数量表 10m当たり

名称	規格	単位	数量
床掘	土砂	m ³	2.0
埋戻		m ³	1.5
U字フリューム	UF200	m	10.0

明暗渠 UF200

S=1:20(A1)
S=1:40(A3)

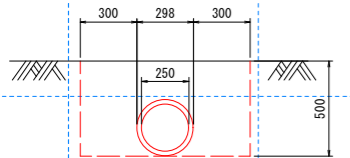


数量表 10m当たり

名称	規格	単位	数量
床掘	土砂	m ³	3.3
埋戻		m ³	1.5
U字フリューム	UF200	m	10.0
暗渠	有孔管φ65	m	10.0
巻立砕石	C-40	m ³	1.3
吸出防止用シート		m ²	12.7
防水シート		m ²	4.1

高密度ポリエチレン管φ250

S=1:20(A1)
S=1:40(A3)

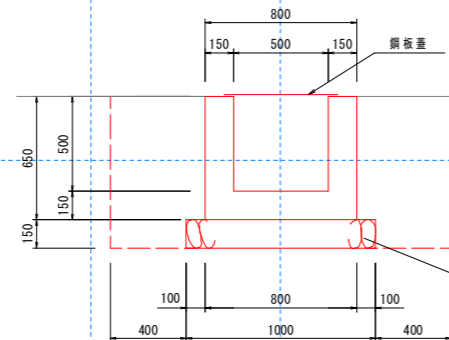
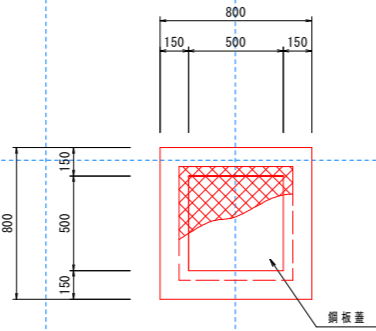


数量表 10m当たり

名称	規格	単位	数量
床掘	土砂	m ³	4.5
埋戻		m ³	3.8
高密度ポリエチレン管	φ250	m	10.0

W5×5-D5型 (鋼板蓋)

S=1:20(A1)
S=1:40(A3)

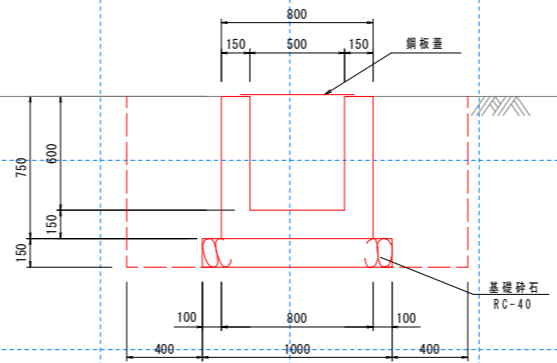
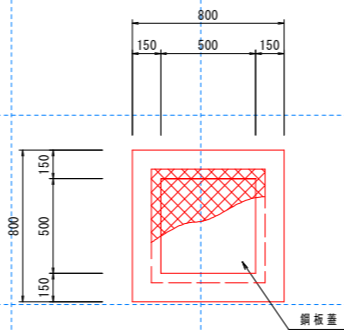


数量表 1箇所当たり

名称	規格	単位	数量
床掘	土砂	m ³	2.6
埋戻		m ³	2.0
コンクリート	σck=18N/mm ²	m ³	0.291
型枠		m ²	3.38
基礎砕石	RC-40, t=150	m ²	1.00
鋼板蓋	500×500用	枚	1

W5×5-D6型 (鋼板蓋)

S=1:20(A1)
S=1:40(A3)

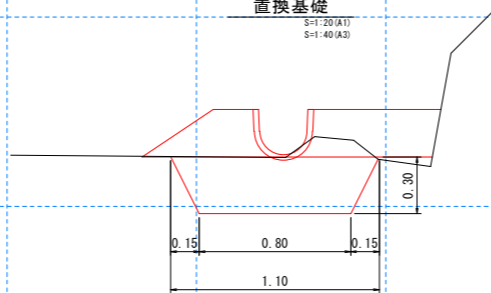


数量表 1箇所当たり

名称	規格	単位	数量
床掘	土砂	m ³	2.9
埋戻		m ³	2.3
コンクリート	σck=18N/mm ²	m ³	0.330
型枠		m ²	3.90
基礎砕石	RC-40, t=150	m ²	1.00
鋼板蓋	500×500用	枚	1

置換基礎

S=1:20(A1)
S=1:40(A3)

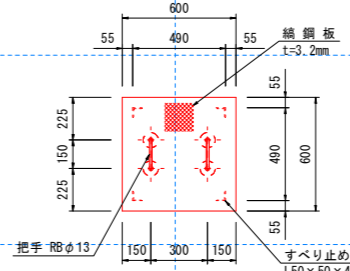


数量表 10m当たり

名称	規格	単位	数量
床掘	土砂	m ³	3.3
埋戻	土砂	m ³	2.7
置換基礎	良質土	m ³	2.8

鋼板蓋 500×500

S=1:20(A1)
S=1:40(A3)

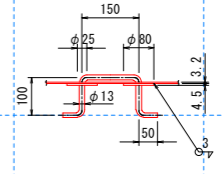


数量表

名称	寸法	規格	単位質量	数量	質量(kg)
編鋼板	φ600×3.2×600	SS41	26.79kg/m ²	1	9.6
すべり止め	L50×50×4×40		3.06kg/m	4	0.5
把手	Rφ13×450		1.04kg/m	2	0.9
補強板	φ81×4.5		35.33kg/m ²	4	0.7
合計					11.7

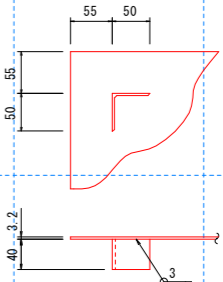
把手

S=1:10(A1)
S=1:20(A3)



すべり止め

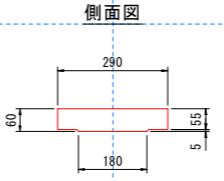
S=1:5(A1)
S=1:10(A3)



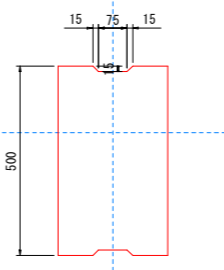
注) 鋼蓋(把手、すべり止め等含む)のさび止め塗装は、シアンミド鉛さび止めペイント(JIS K 5625)2回塗りとする。

BF200用蓋(1種)

S=1:10(A1)
S=1:20(A3)



平面図



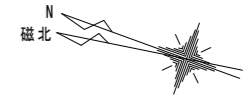
当初
令和4年度 地すべり対策事業
八幡地区外 地下水排除等工事

図面の名称	図面番号
9ブロック 第13号流末処理工構造図 縮尺:図示	12/13
測量	令和 年 月 日終了
設計	
製図	原図
図	複写

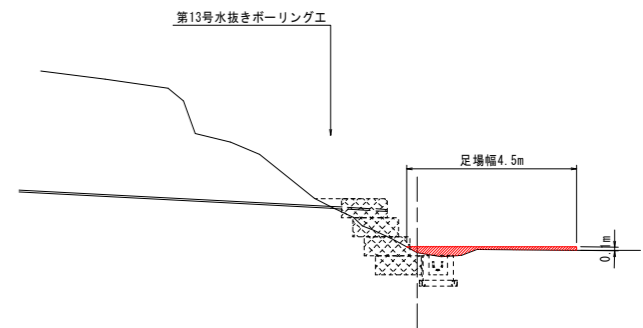
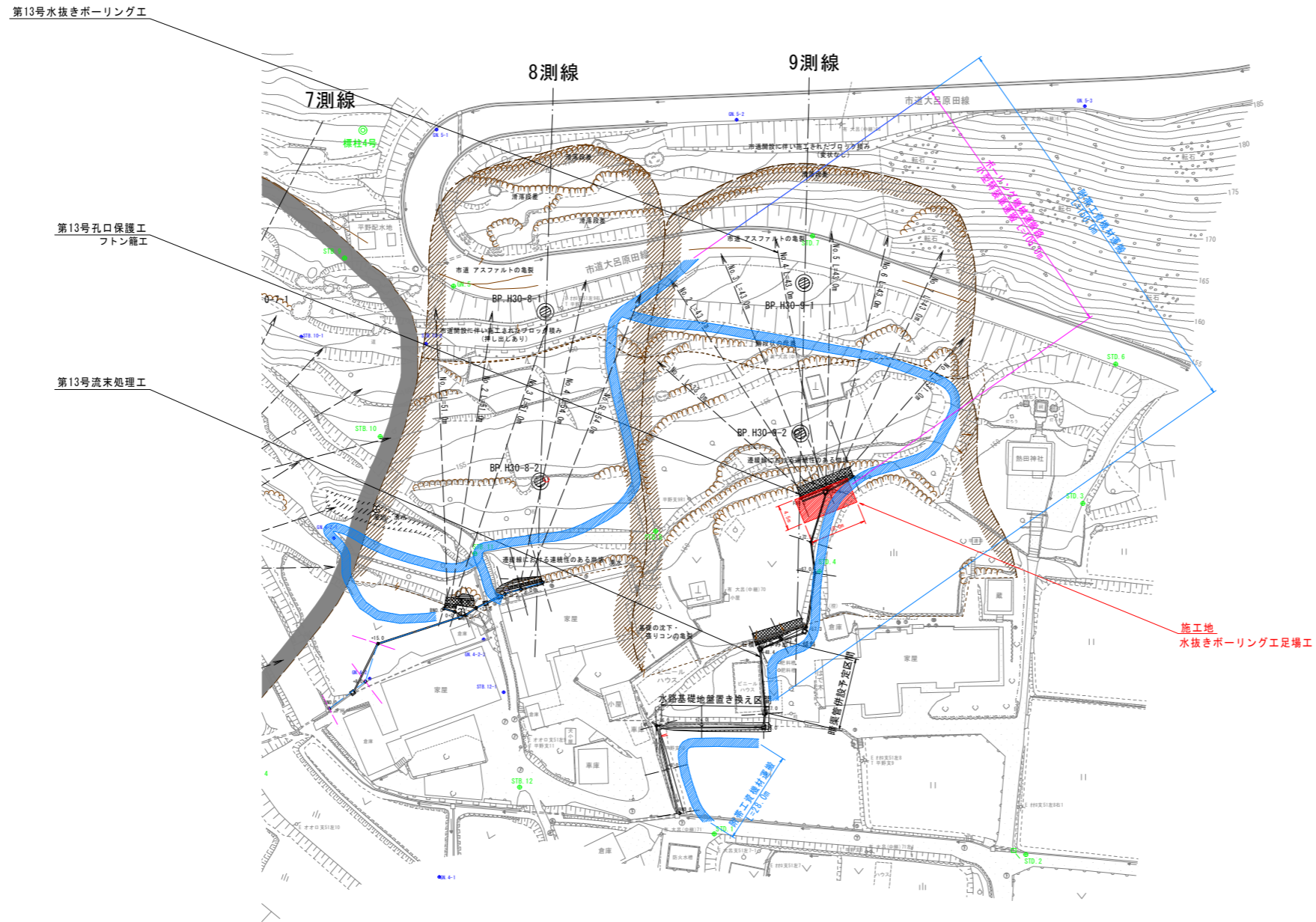
令和4年度 地すべり対策事業 八幡地区外 地下水排除等工事

9測線
仮設平面図

S=1: 500 (A1)
S=1:1000 (A3)



磁北:STD. 7-GN. 5 N19.5° Wを基に設定

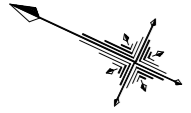


水抜きボーリング工施工足幅 S=1: 100 (A1)
S=1: 200 (A3)

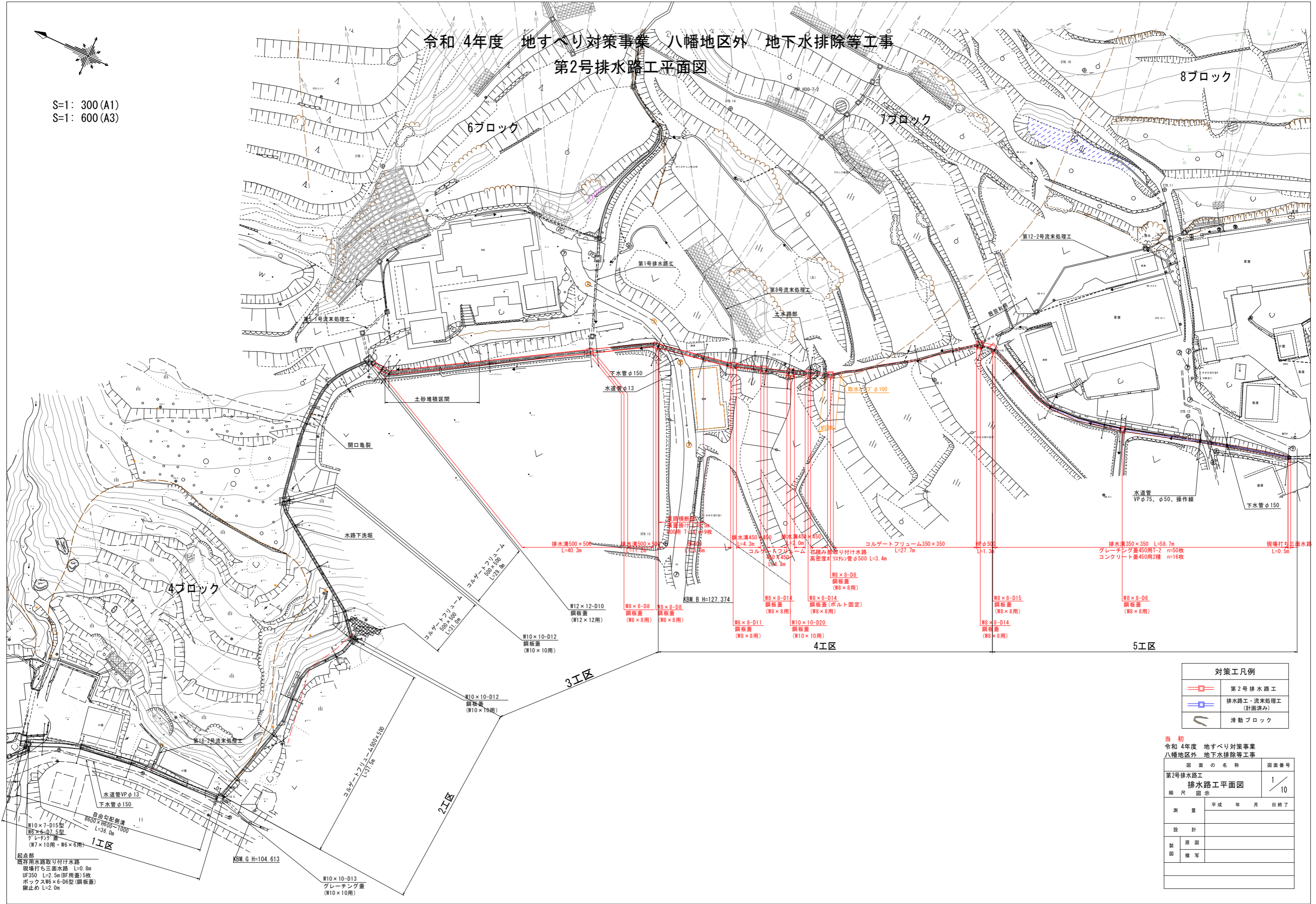
当初
令和4年度 地すべり対策事業
八幡地区外 地下水排除等工事

図面の名称		図面番号
9ブロック 仮設平面図(参考)		13 / 13
縮尺: 図示		
測量	令和 年 月 日終了	
設計		
製 図	原 図	
	複 写	

令和4年度 地すべり対策事業 八幡地区外 地下水排除等工事
第2号排水路工平面図



S=1: 300 (A1)
S=1: 600 (A3)



対策工凡例	
	第2号排水路工
	排水路工・流末処理工 (計画済み)
	滑動ブロック

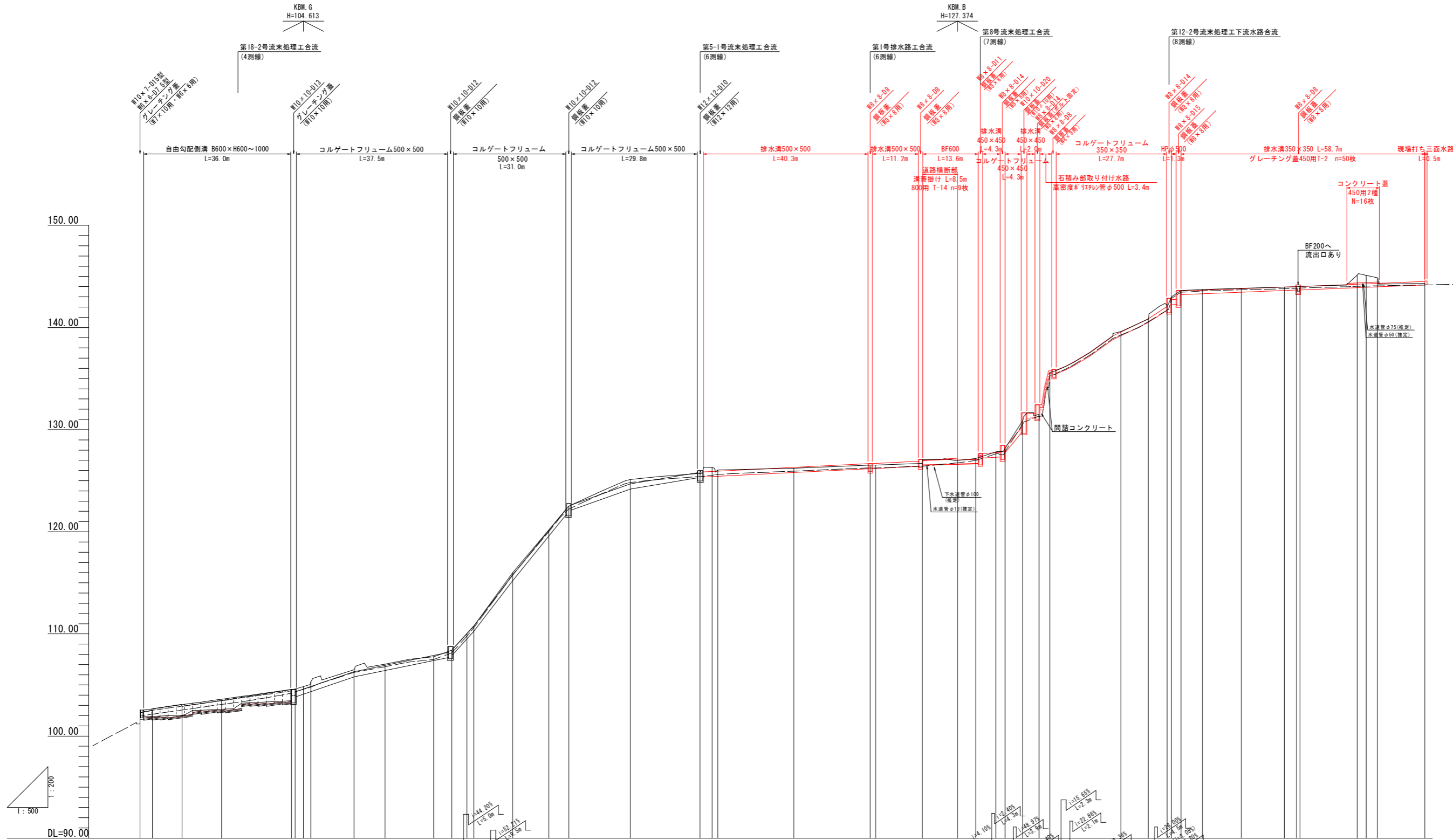
当初
令和4年度 地すべり対策事業
八幡地区外 地下水排除等工事

図面の名称	図面番号
第2号排水路工 排水路工平面図	1 / 10
縮尺 図示	
測量	平成 年 月 日 終了
設計	
製原図	
図複写	

起点部
既存用水路取り付け水路
現場打ち三面水路 L=0.8m
UF350 L=2.5m (BF用蓋) 5枚
ボックスW6×6-D6型 (鋼板蓋)
鎖止め L=2.0m

KBM. G H=104.613

W10×10-D13
グレーチング蓋
(W10×10用)



測点	勾配	水路底高	地盤高	追加距離	単距離	測点名
NO.0	0.00	101.95	102.32	0.00	0.00	NO.0
+3.1	3.10	102.50	102.50	3.10	3.10	+3.1
+10.3	7.20	102.54	102.90	10.30	7.20	+10.3
NO.1	9.70	103.11	103.47	20.00	9.70	NO.1
+17.1	17.10	104.20	104.55	37.10	17.10	+17.1
+18.0	0.90	104.34	104.60	38.00	0.90	+18.0
NO.2	2.00	104.58	104.84	40.00	2.00	NO.2
+1.8	1.80	104.80	105.30	41.80	1.80	+1.8
+12.4	10.60	106.23	106.49	52.40	10.60	+12.4
NO.3	7.60	106.79	107.05	60.00	7.60	NO.3
+11.9	11.90	107.39	107.76	71.90	11.90	+11.9
+16.3	4.40	108.14	108.40	76.30	4.40	+16.3
NO.4	3.70	109.79	110.04	80.00	3.70	NO.4
+1.7	1.70	110.24	110.74	81.70	1.70	+1.7
+11.2	9.50	115.79	115.99	91.20	9.50	+11.2
NO.5	8.80	119.55	120.17	100.00	8.80	NO.5
+4.9	4.90	121.55	122.23	104.90	4.90	+4.9
NO.6	15.10	124.83	125.11	120.00	15.10	NO.6
+17.0	17.00	125.41	125.71	137.00	17.00	+17.0
NO.7	3.00	125.53	126.29	140.00	3.00	NO.7
+1.4	1.40	125.65	126.05	141.40	1.40	+1.4
NO.8	18.60	125.94	126.22	160.00	18.60	NO.8
+18.7	18.70	126.24	126.52	178.70	18.70	+18.7
NO.9	1.30	126.24	126.24	180.00	1.30	NO.9
+11.4	11.40	126.42	126.70	191.40	11.40	+11.4
NO.10	8.60	126.65	126.99	200.00	8.60	NO.10
+4.5	4.50	126.70	127.18	204.50	4.50	+4.5
+9.4	4.90	127.29	127.62	209.40	4.90	+9.4
+11.7	2.30	127.87	128.19	211.70	2.30	+11.7
+16.0	4.30	130.56	130.88	216.00	4.30	+16.0
NO.11	4.00	131.28	131.28	220.00	4.00	NO.11
+2.6	2.60	135.32	135.42	222.60	2.60	+2.6
NO.12	17.40	139.27	139.60	240.00	17.40	NO.12
+6.7	6.70	140.57	140.82	246.70	6.70	+6.7
+11.3	4.60	141.70	142.00	251.30	4.60	+11.3
+12.4	1.10	142.85	143.01	252.40	1.10	+12.4
+1.7	2.30	143.45	143.62	254.70	2.30	+1.7
NO.13	5.30	143.58	143.73	260.00	5.30	NO.13
+9.5	9.50	143.70	143.85	269.50	9.50	+9.5
NO.14	10.50	143.80	143.95	280.00	10.50	NO.14
+3.8	3.00	143.87	143.87	283.00	3.00	+3.8
+17.8	14.00	144.02	145.13	297.80	14.00	+17.8
NO.15	2.20	144.05	145.10	300.00	2.20	NO.15
+2.8	2.80	144.08	144.86	302.80	2.80	+2.8
+14.4	11.60	144.16	144.31	314.40	11.60	+14.4

※ () 内数値は平面距離より算出

当初
令和4年度 地すべり対策事業
八幡地区外 地下水排除等工事

図面の名称: 第2号排水路工 縦断面図
図面番号: 2/10

縮尺: 縦断面図 1:100
横断面図 1:20

測量: 平成 年 月 日 終了

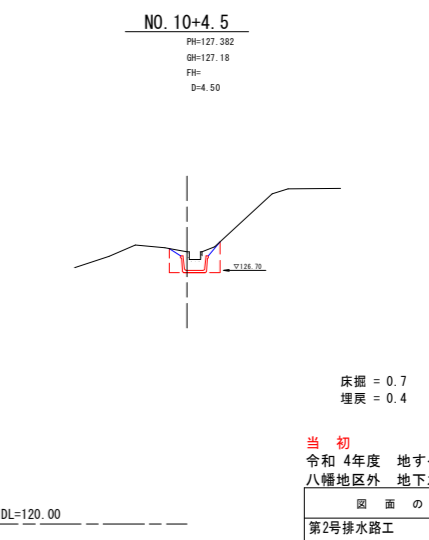
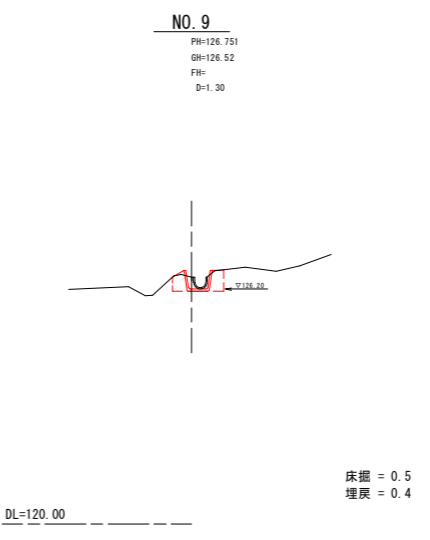
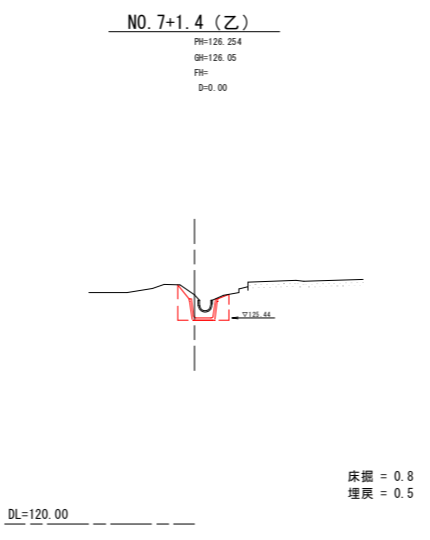
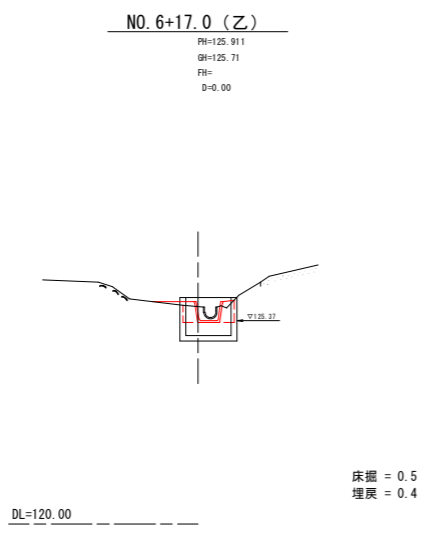
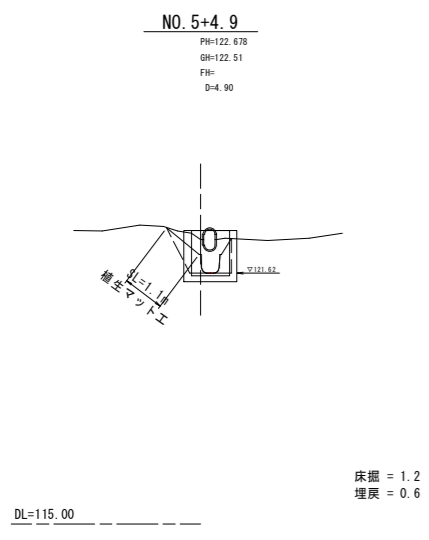
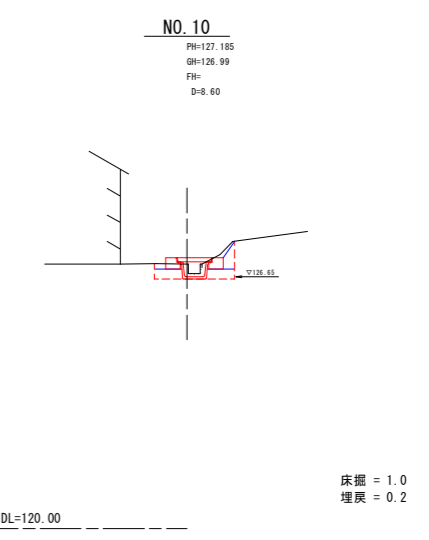
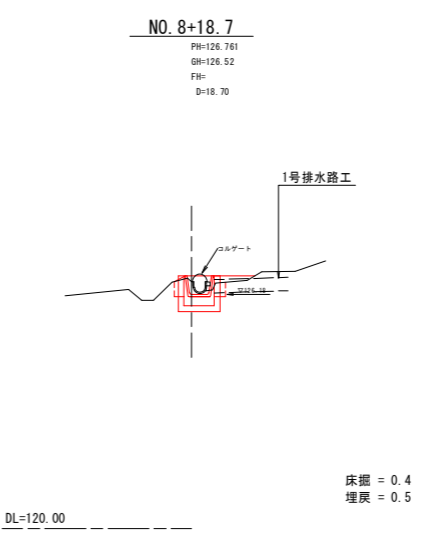
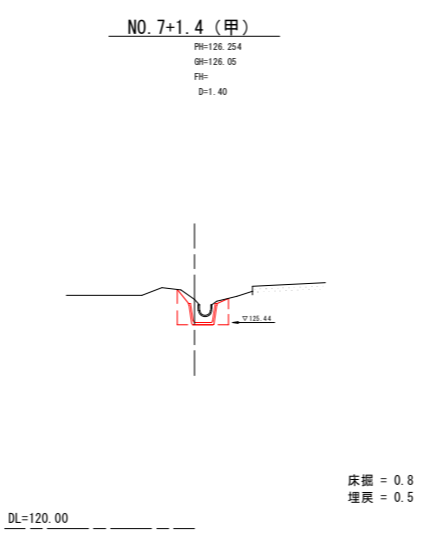
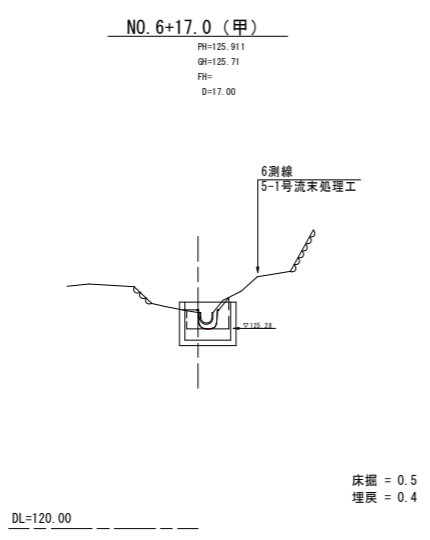
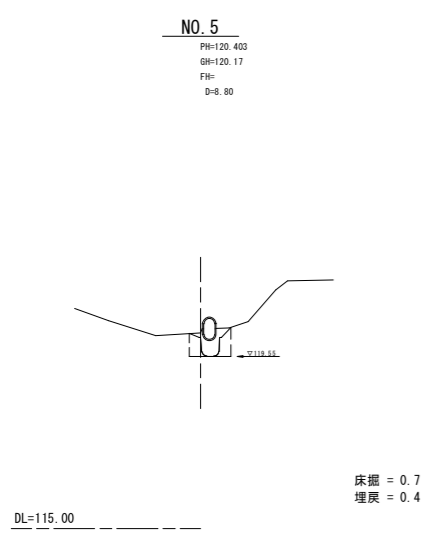
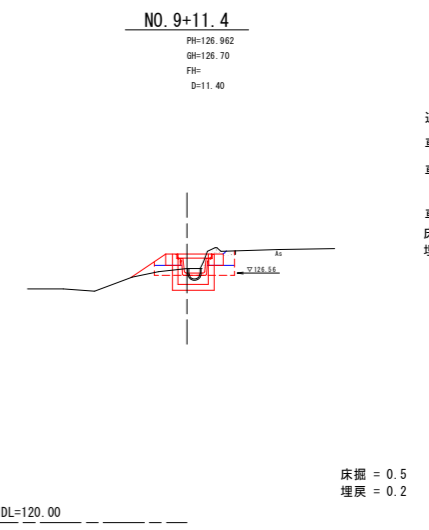
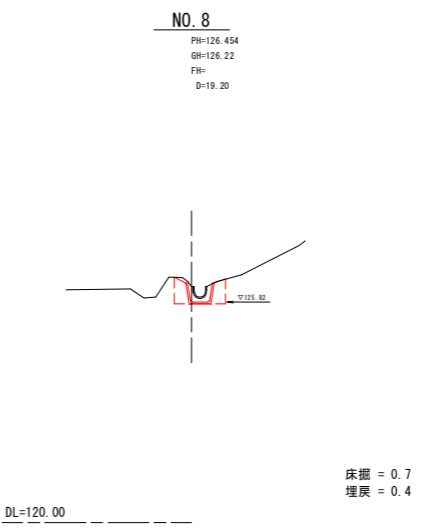
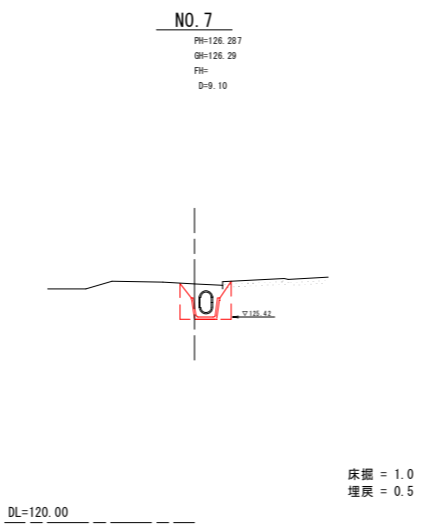
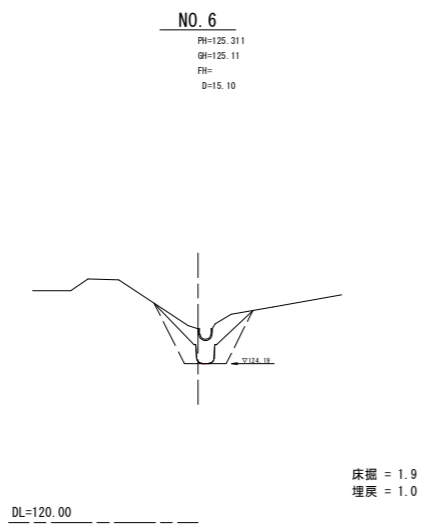
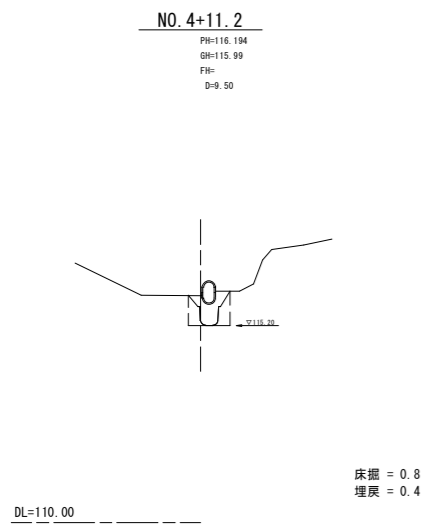
設計: _____

原図: _____

校対: _____

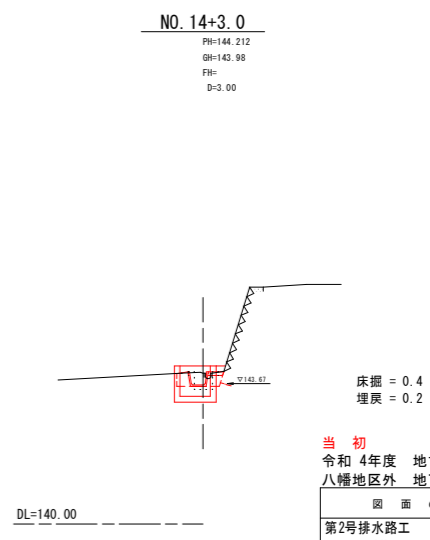
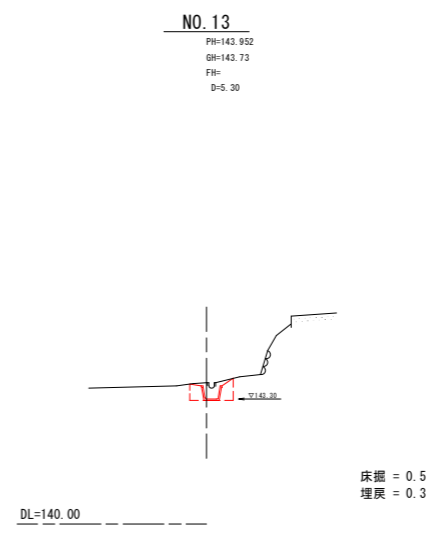
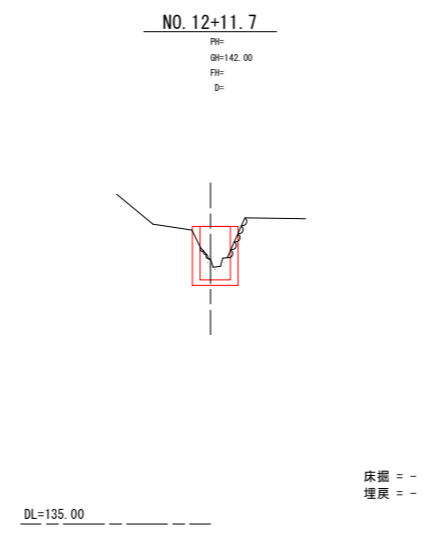
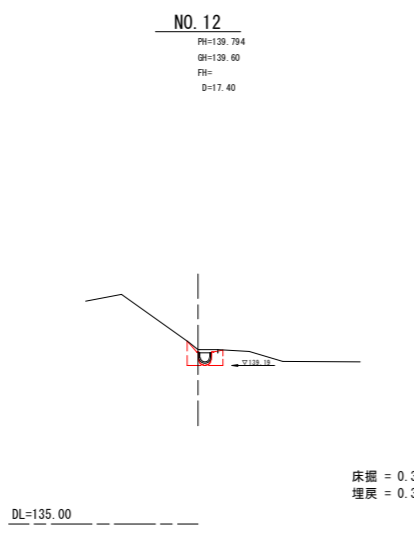
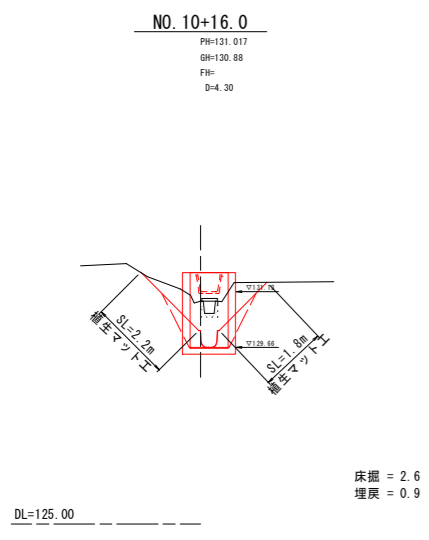
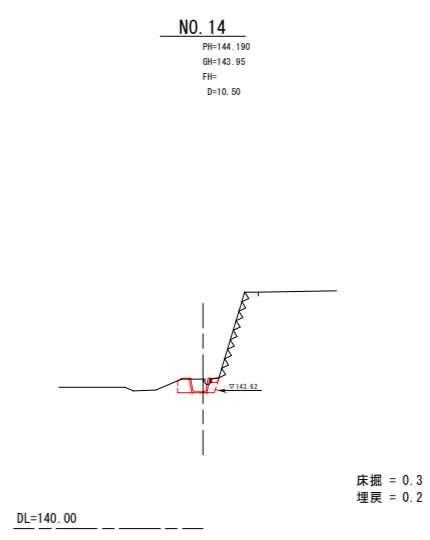
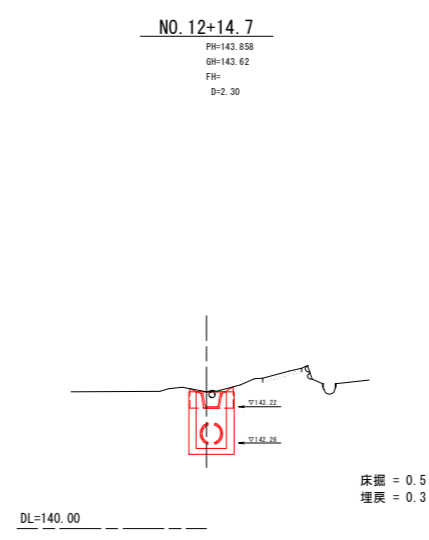
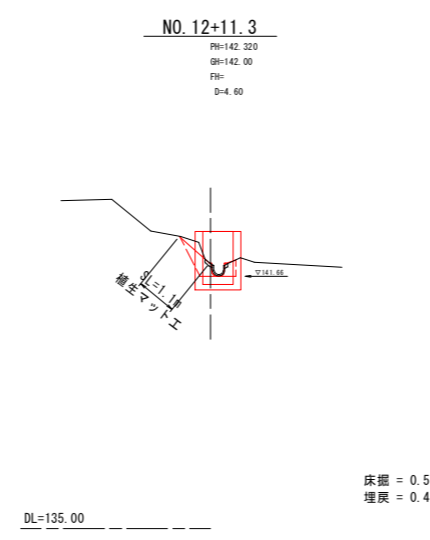
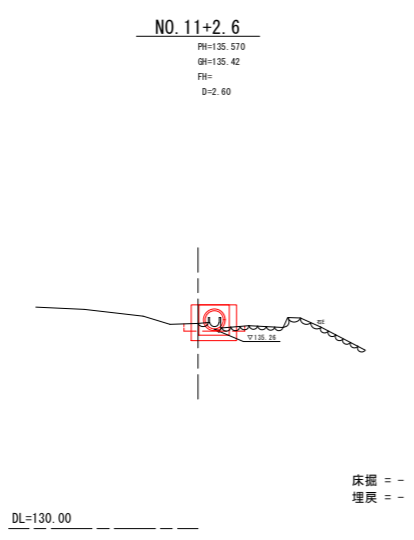
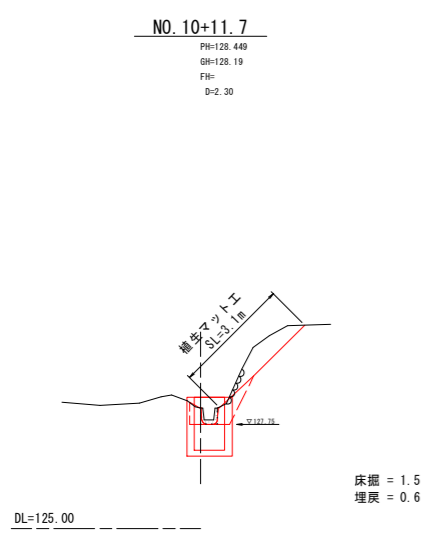
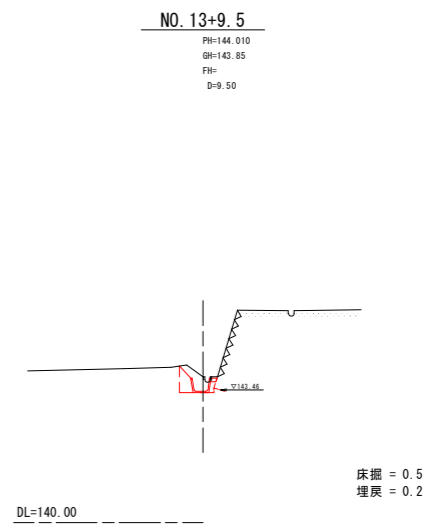
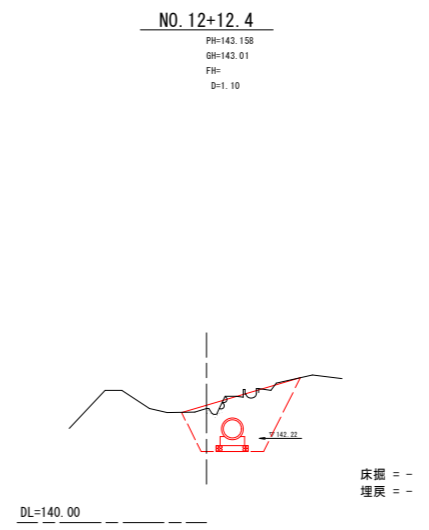
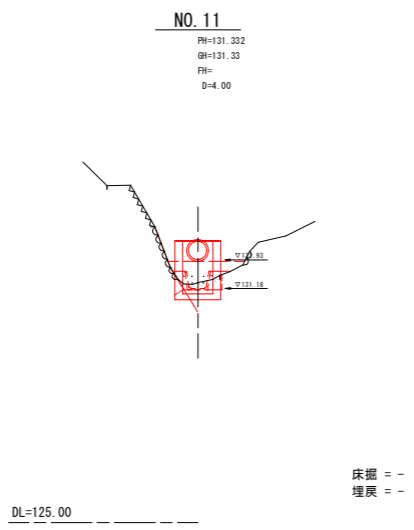
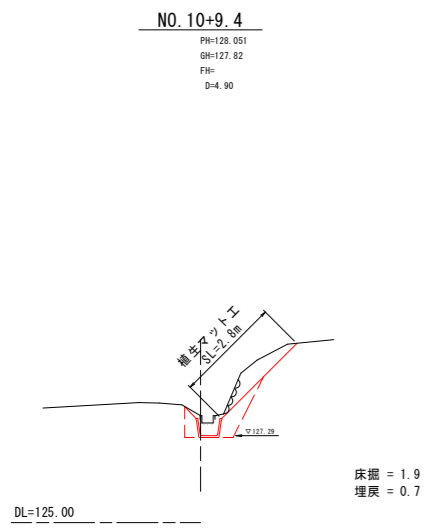
道路横断面
 車道部 No.9+11.5~+15.8 L=4.3m
 車道外 No.9+15.8~No.10 L=4.2m

車道部 車道外
 床掘 = 1.1 床掘 = 1.2
 埋戻 = - 埋戻 = 0.2



当初
 令和4年度 地すべり対策事業
 八幡地区外 地下水排除等工事

図面の名称	図面番号
第2号排水路工 横断面図(1/3)	3 / 10
縮尺 A=1:100(A1) A=1:200(A3)	
測量	平成 年 月 日終了
設計	
製図	原図
図	複写

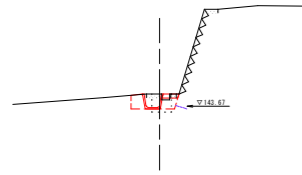


当初
 令和4年度 地すべり対策事業
 八幡地区外 地下水排除等工事

図面の名称	図面番号
第2号排水路工 横断面図(2/3)	4 / 10
縮尺 A=1:100(A1) A=1:200(A3)	
測量	平成 年 月 日終了
設計	
製図	原図
図	複写

NO. 14+3.8

PH=144.197
GH=144.02
FH=
D=0.80

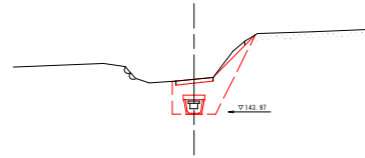


床掘 = 0.4
埋戻 = 0.2

DL=140.00

NO. 15+2.8

PH=144.860
GH=144.86
FH=
D=2.80

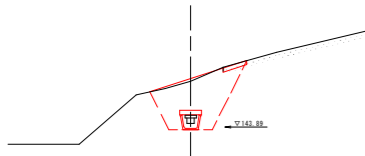


床掘 = 1.6
埋戻 = 1.3

DL=140.00

NO. 14+17.8

PH=145.267
GH=145.13
FH=
D=14.00

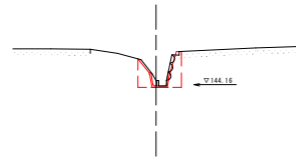


床掘 = 2.3
埋戻 = 2.2

DL=140.00

NO. 15+14.4

PH=144.645
GH=144.31
FH=
D=11.60

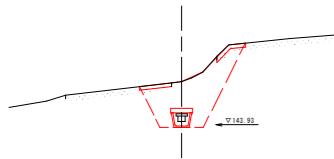


床掘 = 0.5
埋戻 = 0.4

DL=140.00

NO. 15

PH=145.095
GH=145.10
FH=
D=2.20



床掘 = 2.5
埋戻 = 2.3

DL=140.00

当初
令和4年度 地すべり対策事業
八幡地区外 地下水排除等工事

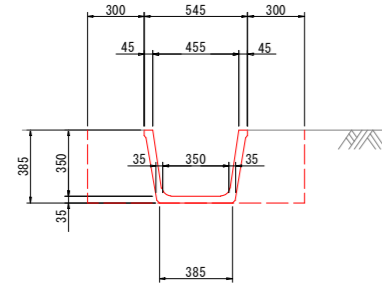
図面の名称		図面番号
第2号排水路工 横断面図(3/3)		5 / 10
縮尺 A=1:100(A1) A=1:200(A3)		
測量	平成 年 月 日終了	
設計		
製 図	原図	
	複写	

排水路工構造図(1/4)

排水溝

S=1:20(A1)
S=1:40(A3)

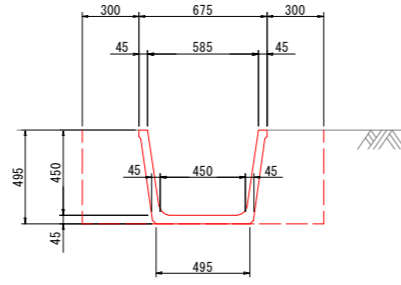
350×350



数量表 10m当たり

名称	規格	単位	数量
床掘	土砂	m ²	4.4
埋戻		m ²	2.6
排水溝	350×350	m	10.0

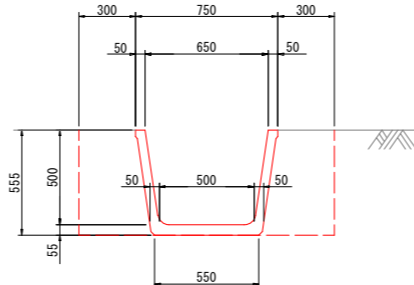
450×450



数量表 10m当たり

名称	規格	単位	数量
床掘	土砂	m ²	6.3
埋戻		m ²	3.4
排水溝	450×450	m	10.0

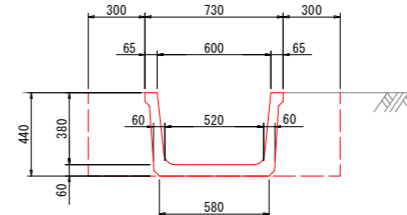
500×500



数量表 10m当たり

名称	規格	単位	数量
床掘	土砂	m ²	7.5
埋戻		m ²	3.8
排水溝	500×500	m	10.0

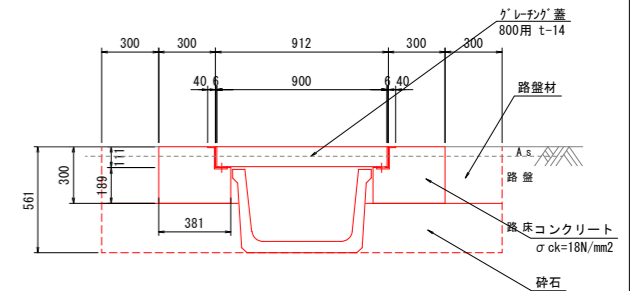
BF600



数量表 10m当たり

名称	規格	単位	数量
床掘	土砂	m ²	5.9
埋戻		m ²	2.9
ベンチフリューム	BF600	m	10.0

BF600 (NO. 10付近)
グレーチング蓋部



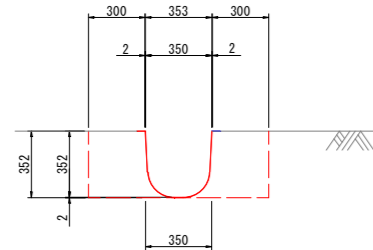
数量表 1箇所(8.5m)当たり

名称	規格	単位	数量
床掘(車道部)	アスファルト	取壊工により計上	
"	土砂(A=1.1m ²)	作業土工により計上	
床掘(車道外)	土砂(A=1.2m ²)	作業土工により計上	
埋戻(車道部)	アスファルト	復旧工により計上	
"	路盤材	m ²	3.23
埋戻(車道外)	土砂(A=0.2m ²)	作業土工により計上	
ベンチフリューム	BF600	水路工集計により計上	
コンクリート	σck=18N/mm ²	m ²	1.466
型枠		m	10.20
グレーチング蓋	800用 t-14	枚	9
舗装	アスファルト	復旧工により計上	

コルゲートフリューム

S=1:20(A1)
S=1:40(A3)

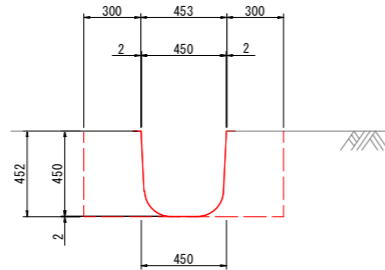
350×350



数量表 10m当たり

名称	規格	単位	数量
床掘	土砂	m ²	3.3
埋戻		m ²	2.2
コルゲートフリューム	350×350	m	10.0

450×450

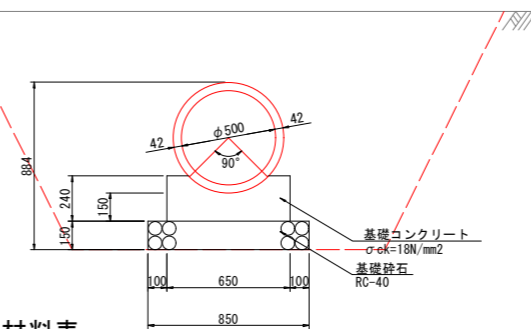


数量表 10m当たり

名称	規格	単位	数量
床掘	土砂	m ²	4.8
埋戻		m ²	2.9
コルゲートフリューム	450×450	m	10.0

ヒューム管 P1-RC φ500

S=1:20(A1)
S=1:40(A3)



材料表

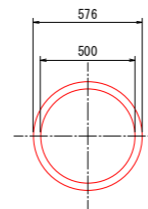
10m当り

名称	規格	単位	数量	備考
基礎砕石	RC-40	m ²	8.500	t=150mm
基礎コンクリート	σck=18N/mm ²	m ³	1.298	
同上型枠		m ²	4.800	

※ 上記基礎工の寸法は、国土交通省土木構造物標準設計1より。

高密度ポリエチレン管 φ500

S=1:20(A1)
S=1:40(A3)

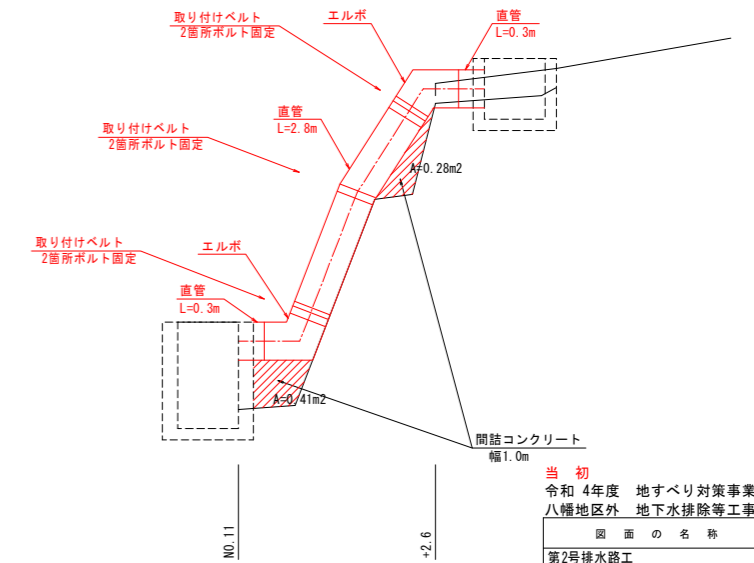


数量表 10m当り

名称	規格	単位	数量
高密度ポリエチレン管	φ500	m	10.0

高密度ポリエチレン管 (NO. 11付近) φ500

S=1:50(A1)
S=1:100(A3)



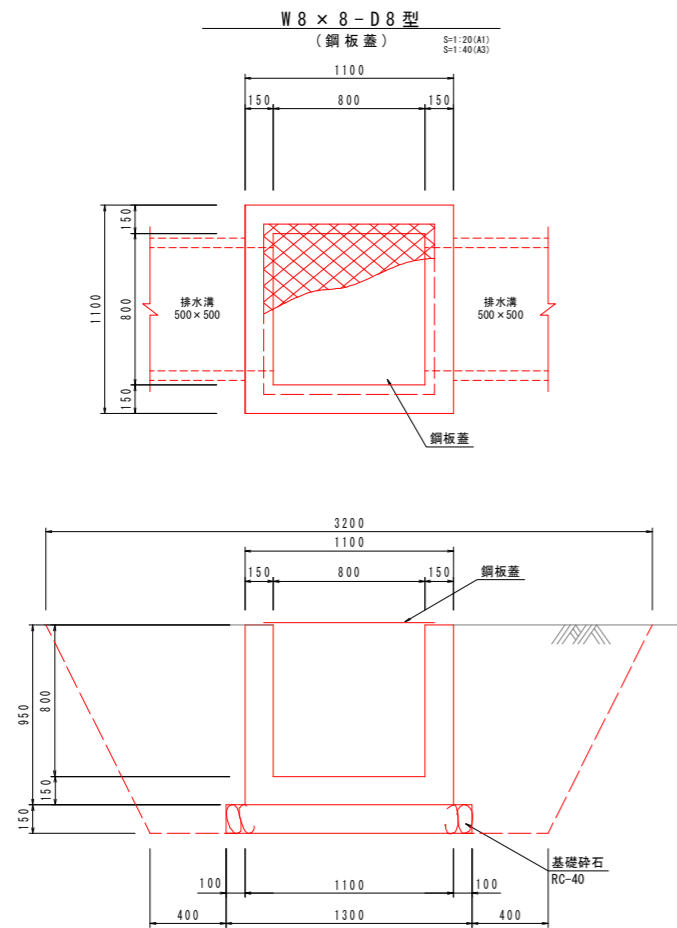
数量表 1箇所当たり

名称	規格	単位	数量
高密度ポリエチレン管	φ500	水路集計により計上	
エルボ		個	2
取り付けベルト	φ500	個	3
アンカーボルト	M16	本	6
間詰めコンクリート	σck=18N/mm ²	m ²	0.69
型枠		m ²	1.38

当初
令和4年度 地すべり対策事業
八幡地区外 地下水排除等工事

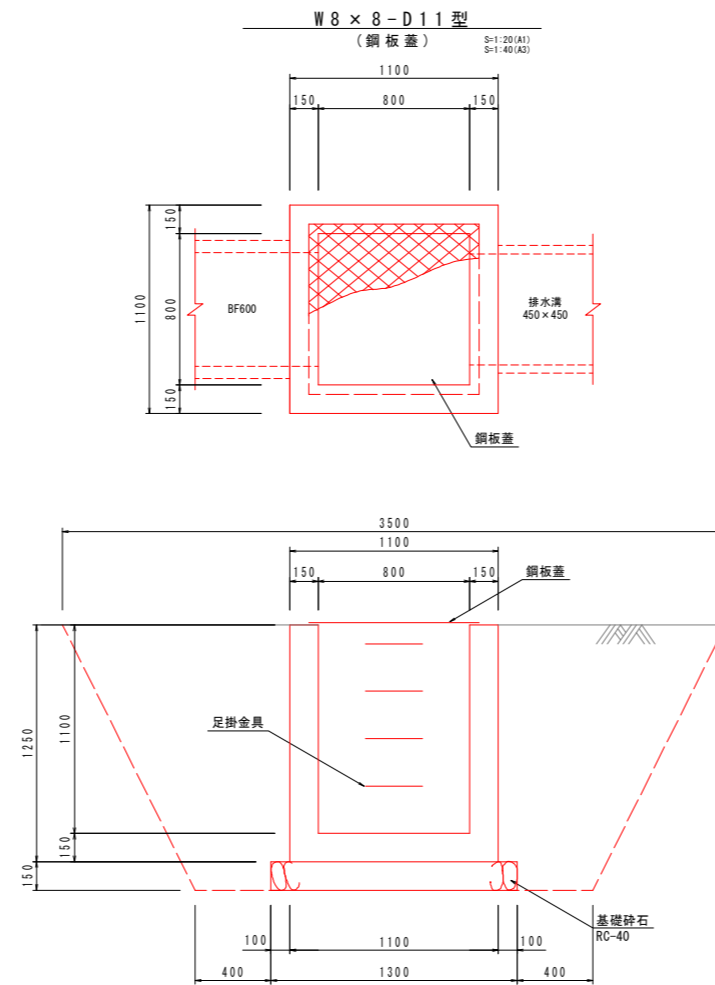
図面の名称		図面番号
第2号排水路工 排水路構造図(1/4)		6 / 10
縮尺	図示	
測量	平成 年 月 日終了	
設計		
製図		
校核		

排水路工構造図(2/4)



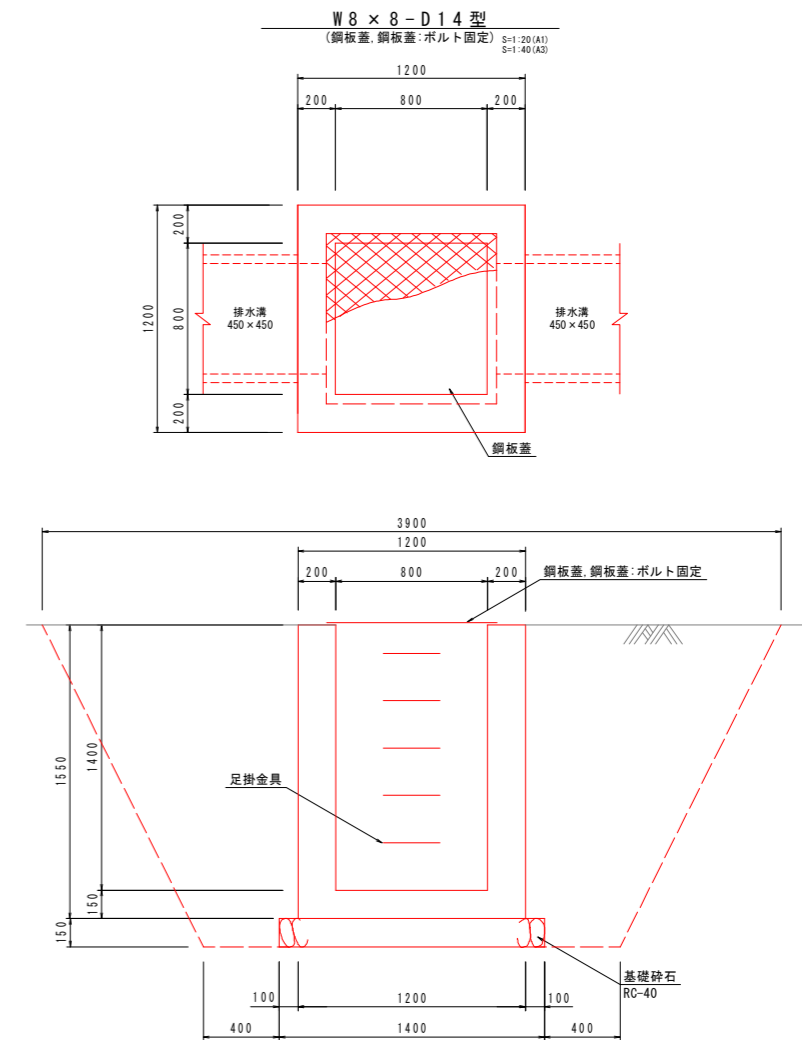
数量表 1箇所当たり

名称	規格	単位	数量
床掘	土砂	m ²	8.1
埋戻		m ²	6.7
コンクリート	σck=18N/mm ²	m ²	0.552
型枠		m ²	6.08
基礎砕石	RC-40, t=150	m ²	1.69
鋼板蓋	800×800用	枚	1



数量表 1箇所当たり

名称	規格	単位	数量
床掘	土砂	m ²	11.7
埋戻		m ²	8.6
コンクリート	σck=18N/mm ²	m ²	0.742
型枠		m ²	8.61
基礎砕石	RC-40, t=150	m ²	1.69
鋼板蓋	800×800用	枚	1
足掛金具		基	4

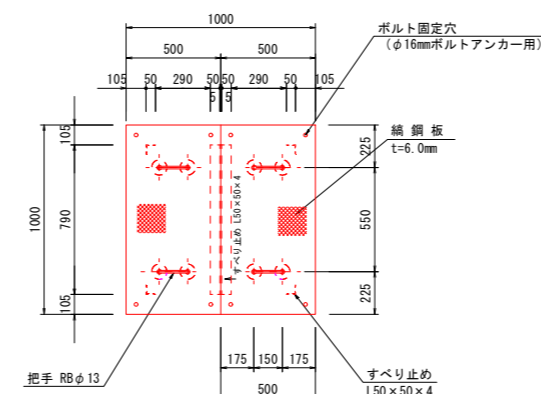
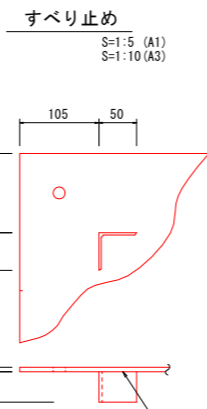
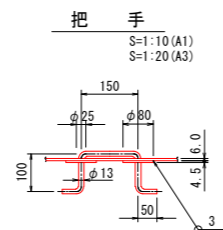


数量表 1箇所当たり

名称	規格	単位	数量
床掘	土砂	m ²	17.0
埋戻		m ²	14.5
コンクリート	σck=18N/mm ²	m ²	1.243
型枠		m ²	11.47
基礎砕石	RC-40, t=150	m ²	1.96
鋼板蓋	800×800用	枚	1
鋼板蓋(ボルト固定用)	800×800用 (1000×1000)	枚	1
足掛金具		基	5

溜樹蓋(鋼板蓋)

800×800(ボルト固定用)
(1000×1000) S=1:20(A1)
S=1:40(A3)



数量表 1箇所当たり

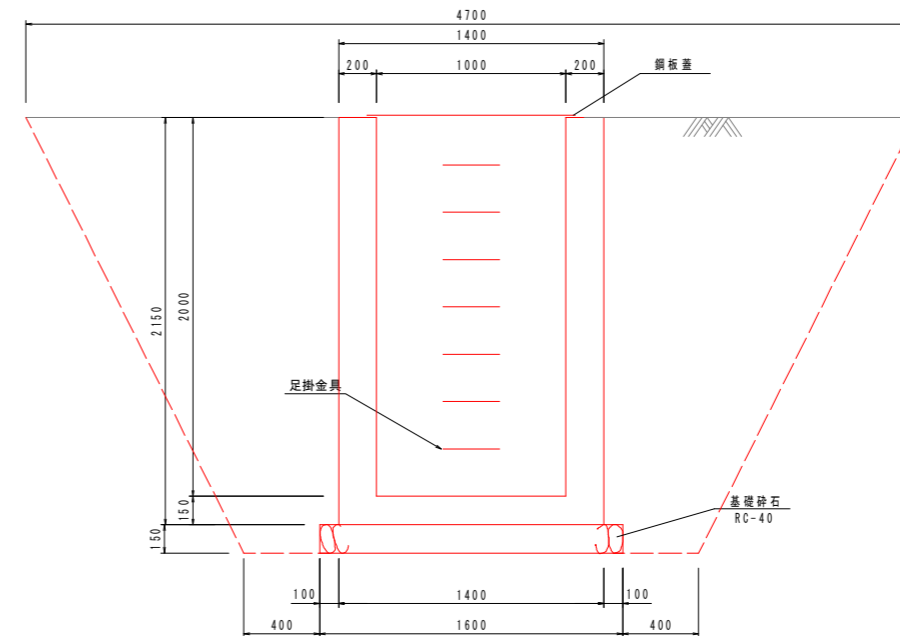
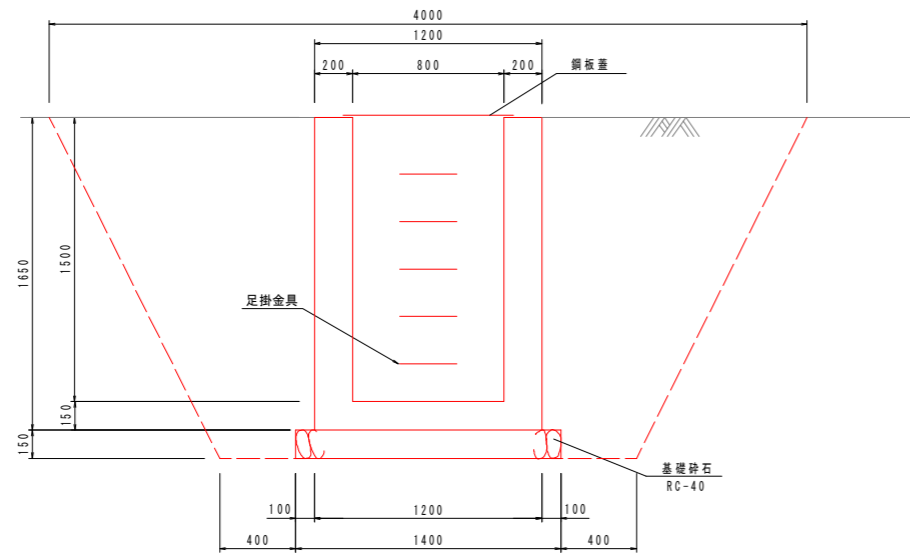
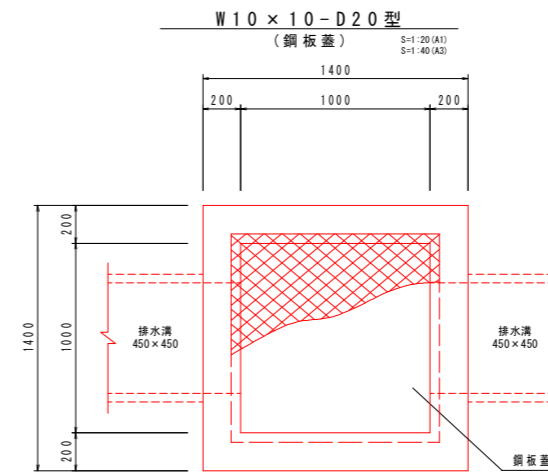
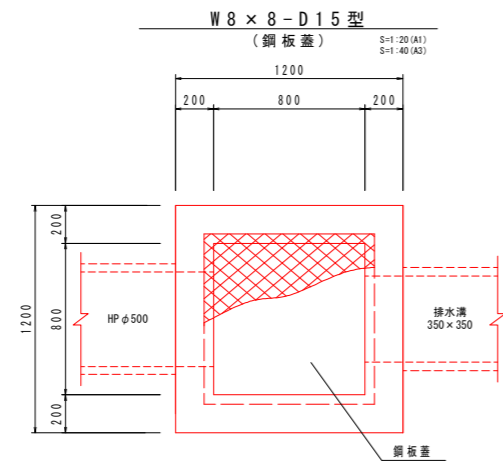
名称	寸法	規格	単位質量	数量	重量(kg)
総鋼板	500×6×1000	SS41	48.77kg/m ²	1	48.8
すべり止め	L50×50×4×40	"	3.06kg/m	2	0.4
"	L50×50×4×790	"	3.06kg/m	1	4.8
把手	RBφ13×450	"	1.04kg/m	2	1.8
補強板	φ80×4.5	"	35.33kg/m ²	4	1.4
合計(1枚当り)					28.6
合計(2枚当り)					57.2
ボルトアンカー	φ16×120mm			8本	

注) 樹蓋(把手、すべり止め等含む)のさび止め塗装は、シアンド鉛さび止めペイント(JIS K 5625)2回塗りとする。

当初
令和4年度 地すべり対策事業
八幡地区外 地下水排除等工事

図面の名称	図面番号
第2号排水路工 排水路構造図(2/4)	7/10
縮尺図示	
測量	平成 年 月 日終了
設計	
製図	
原図	
複写	

排水路工構造図(3/4)



数量表 1箇所当たり

名称	規格	単位	数量
床掘	土砂	m ³	18.8
埋戻		m ³	16.1
コンクリート	σ _{ck} =18N/mm ²	m ³	1.349
型枠		m ²	12.53
基礎砕石	RC-40, t=150	m ³	1.96
鋼板蓋	800×800用	枚	1
足掛金具		基	5

数量表 1箇所当たり

名称	規格	単位	数量
床掘	土砂	m ³	32.0
埋戻		m ³	27.4
コンクリート	σ _{ck} =18N/mm ²	m ³	2.121
型枠		m ²	19.71
基礎砕石	RC-40, t=150	m ³	2.56
鋼板蓋	1000×1000用	枚	1
足掛金具		基	7

当初
令和4年度 地すべり対策事業
八幡地区外 地下水排除等工事

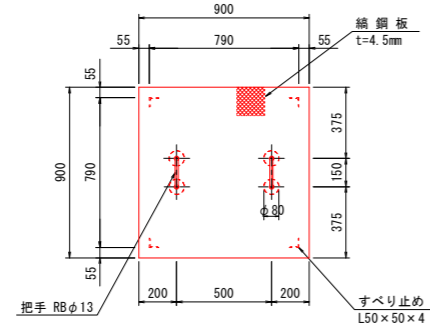
図面の名称		図面番号
第2号排水路工 排水路構造図(3/4)		8 / 10
縮尺 図示		
測量	平成 年 月 日終了	
設計		
製図	原図	
	複写	

排水路工構造図(4/4)

溜柵蓋 (鋼板蓋)

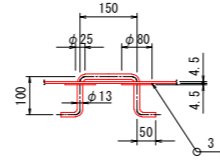
800 × 800

S=1:20 (A1)
S=1:40 (A3)



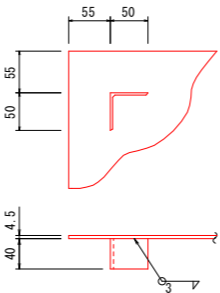
把手

S=1:10 (A1)
S=1:20 (A3)



すべり止め

S=1:5 (A1)
S=1:10 (A3)



数量表

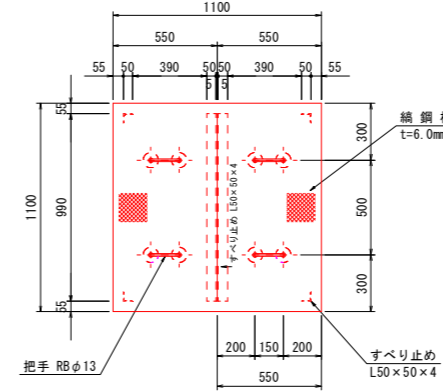
名称	寸法	規格	単位質量	数量	質量(kg)
鋼板	ch R 900 × 4.5 × 900	SS41	36.99kg/m ²	1	30.0
すべり止め	L50 × 50 × 4 × 40	"	3.06kg/m	4	0.5
把手	RB φ13 × 450	"	1.04kg/m	2	0.9
補強板	R φ81 × 4.5	"	35.33kg/m ²	4	0.7
合計 (1枚当り)					32.1
合計 (9枚当り)					288.9

注) 柵蓋 (把手、すべり止め等含む) のさび止め塗装は、シアンミド鉛さび止めペイント (JIS K 5625) 2回塗りとする。

溜柵蓋 (鋼板蓋)

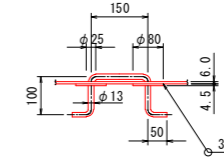
1000 × 1000

S=1:20 (A1)
S=1:40 (A3)



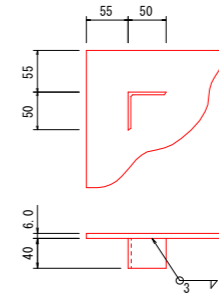
把手

S=1:10 (A1)
S=1:20 (A3)



すべり止め

S=1:5 (A1)
S=1:10 (A3)



数量表

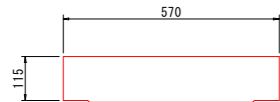
名称	寸法	規格	単位質量	数量	質量(kg)
鋼板	550 × 6 × 1100	SS41	48.77kg/m ²	1	29.5
すべり止め	L50 × 50 × 4 × 40	"	3.06kg/m	2	0.2
"	L50 × 50 × 4 × 990	"	3.06kg/m	1	3.0
把手	RB φ13 × 450	"	1.04kg/m	2	0.9
補強板	φ80 × 4.5	"	35.33kg/m ²	4	0.7
合計 (1枚当り)					34.3
合計 (2枚当り)					68.6

注) 柵蓋 (把手、すべり止め等含む) のさび止め塗装は、シアンミド鉛さび止めペイント (JIS K 5625) 2回塗りとする。

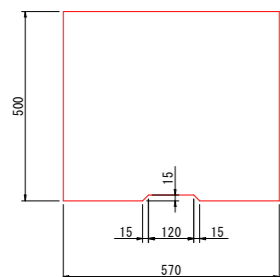
C1-B450 (2種)

S=1:10

側面図



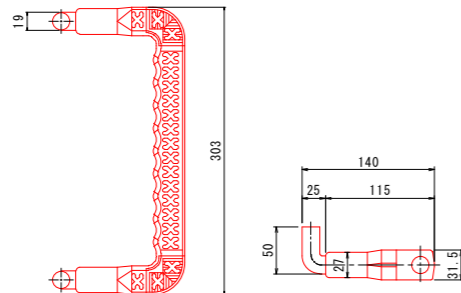
平面図



足掛金具 (参考)

(参考)

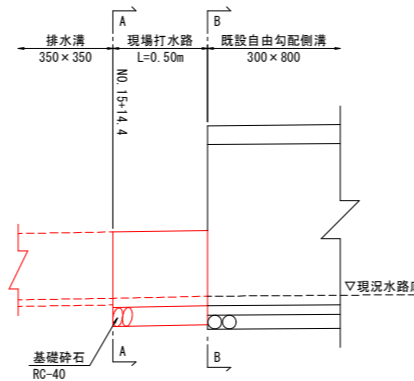
S=1:4 (A1)
S=1:8 (A3)



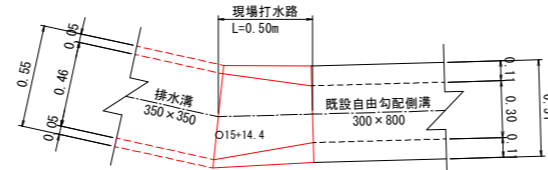
現場打三面水路

S=1:20 (A1)
S=1:40 (A3)

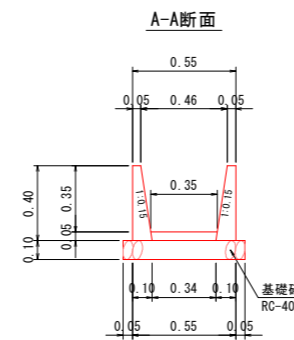
側面図



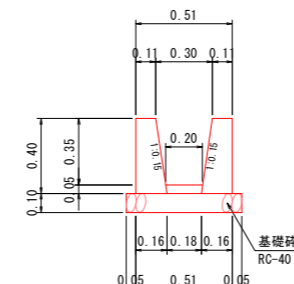
平面図



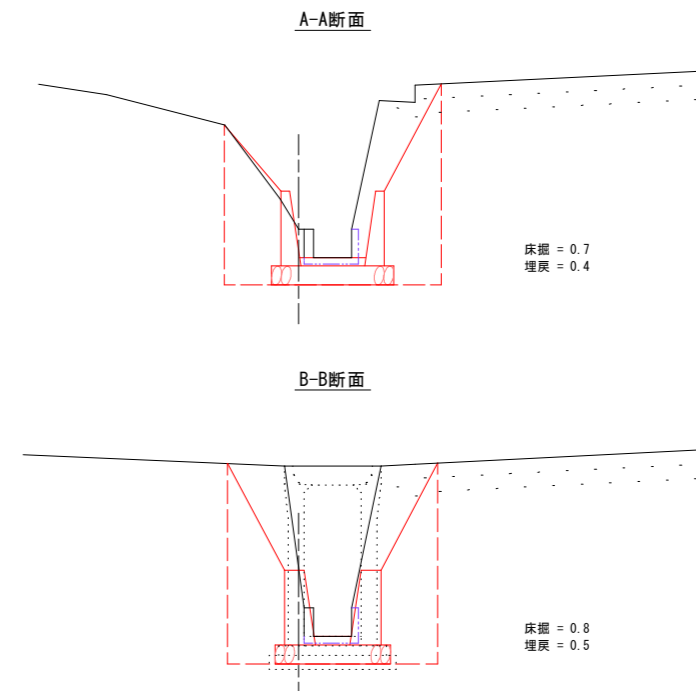
断面図



B-B断面

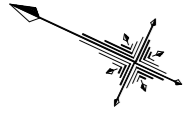


土工図



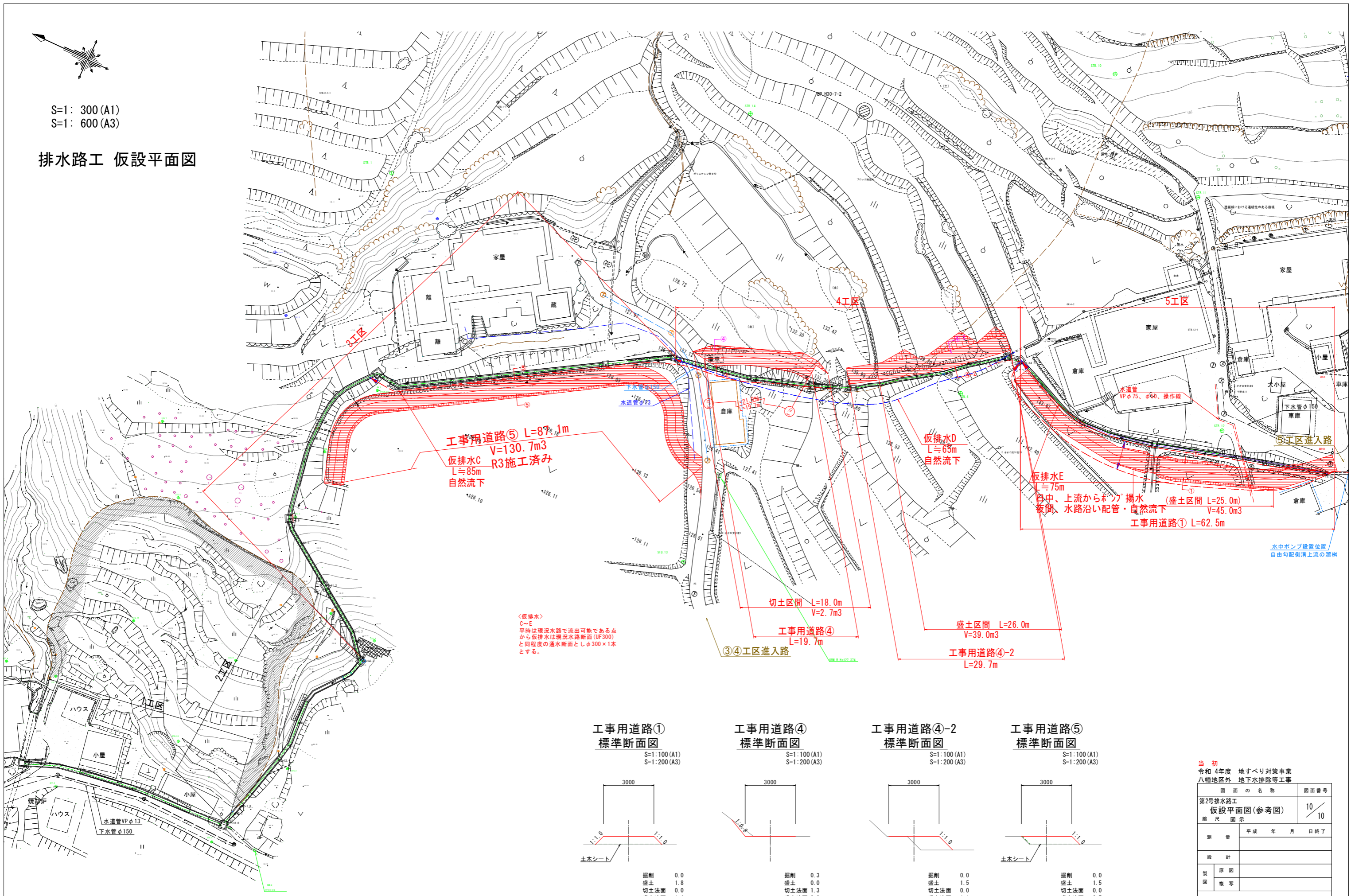
当初
令和4年度 地すべり対策事業
八幡地区外 地下水排除等工事

図面の名称		図面番号
第2号排水路工 排水路構造図(4/4)		9 / 10
縮尺	図示	
測量	平成 年 月 日終了	
設計		
製図	原図	
校閲	複写	



S=1: 300 (A1)
S=1: 600 (A3)

排水路工 仮設平面図



工事用道路⑤ L=87.1m
V=130.7m³
仮排水C
L=85m
自然流下

仮排水D
L=65m
自然流下

仮排水E
L=75m
途中、上流からポンプ揚水
（盛土区間 L=25.0m）
板間、水路沿い配管・自然流下
V=45.0m³
工事用道路① L=62.5m

切土区間 L=18.0m
V=2.7m³

盛土区間 L=26.0m
V=39.0m³

工事用道路④
L=19.7m

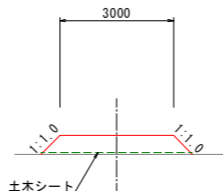
工事用道路④-2
L=29.7m

＜仮排水＞
C～E
平時は現況水路で流出可能である点から仮排水は現況水路断面（UF300）と同程度の通水断面としφ300×1本とする。

水中ポンプ設置位置
自由勾配満上流の溜り

工事用道路①
標準断面図

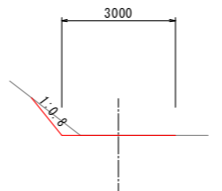
S=1:100 (A1)
S=1:200 (A3)



掘削 0.0
盛土 1.8
切土法面 0.0
盛土法面 1.4
土木シート 4.0

工事用道路④
標準断面図

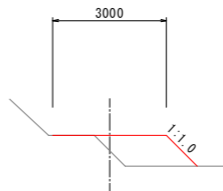
S=1:100 (A1)
S=1:200 (A3)



掘削 0.3
盛土 0.0
切土法面 1.3
盛土法面 0.0

工事用道路④-2
標準断面図

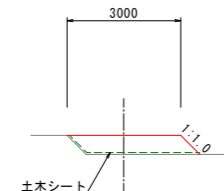
S=1:100 (A1)
S=1:200 (A3)



掘削 0.0
盛土 1.5
切土法面 0.0
盛土法面 1.1

工事用道路⑤
標準断面図

S=1:100 (A1)
S=1:200 (A3)



掘削 0.0
盛土 1.5
切土法面 0.0
盛土法面 0.7
土木シート 3.7

当初 令和4年度 地すべり対策事業 八幡地区外 地下水排除等工事	
図面の名称	図面番号
第2号排水路工 仮設平面図(参考図)	10 / 10
縮尺 図示	
測量	平成 年 月 日 終了
設計	
製原図	
図複写	

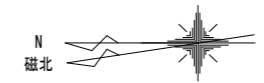
令和 4年度 地すべり対策事業 八幡地区 地下水排除等工事

対策工法平面図

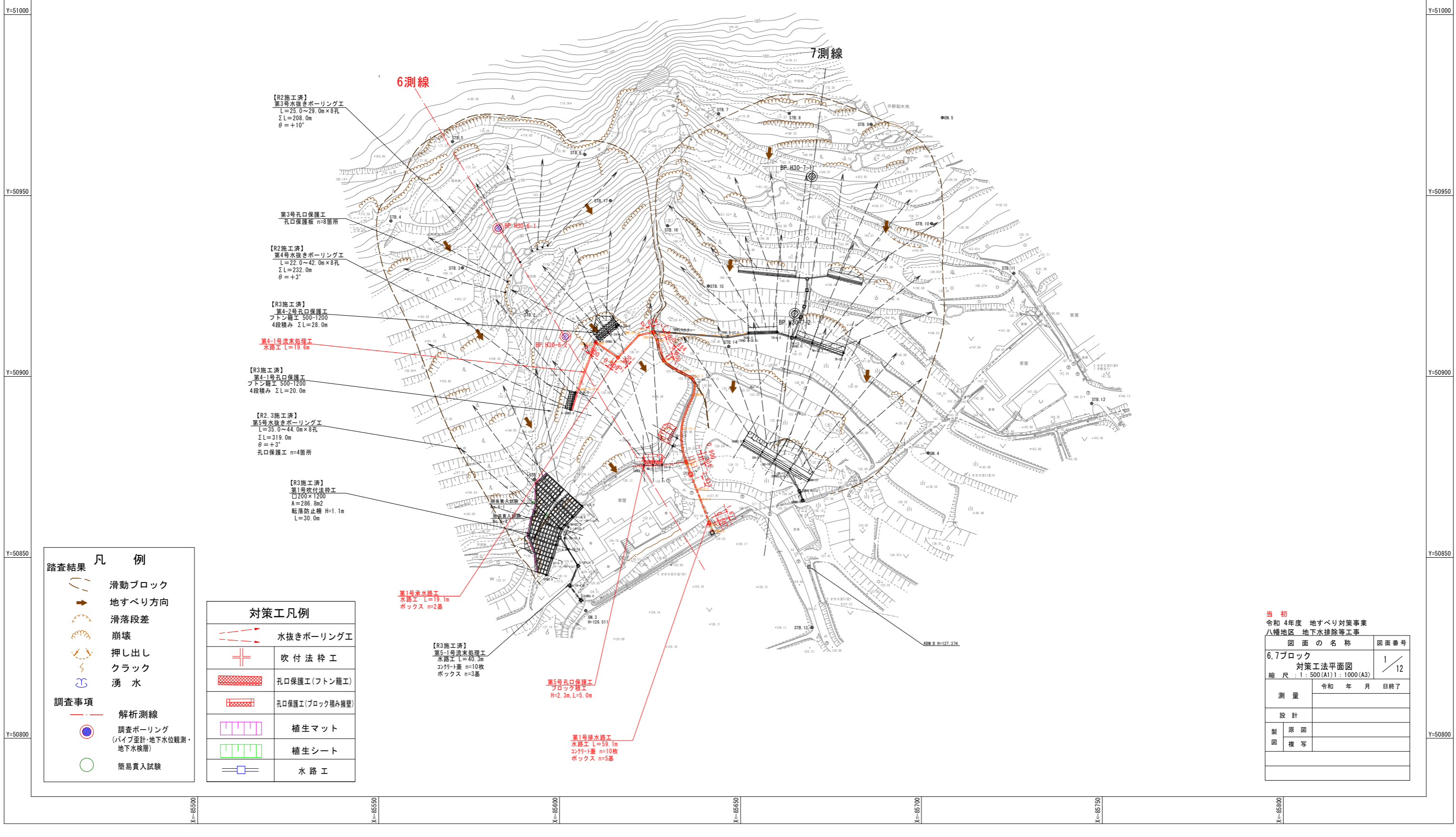
6・7ブロック

S=1: 500 (A1)

S=1:1000 (A3)



STB. 14 - STB. 15 N80° Eを基に設定



【R2施工済】
第3号水抜きボーリング工
L=25.0~29.0m×8孔
ΣL=208.0m
θ=+10°

第3号孔口保護工
孔口保護板 n=8箇所

【R2施工済】
第4号水抜きボーリング工
L=22.0~42.0m×8孔
ΣL=232.0m
θ=+3°

【R3施工済】
第4-2号孔口保護工
フトン籠工 500-1200
4段積み ΣL=28.0m

第4-1号流水処理工
水路工 L=19.6m

【R3施工済】
第4-1号孔口保護工
フトン籠工 500-1200
4段積み ΣL=20.0m

【R2.3施工済】
第5号水抜きボーリング工
L=35.0~44.0m×8孔
ΣL=319.0m
θ=+3°
孔口保護工 n=4箇所

【R3施工済】
第1号吹付法砕工
□200×1200
A=286.8m²
転落防止柵 H=1.1m
L=30.0m

第1号排水路工
水路工 L=19.1m
ボックス n=2基

【R3施工済】
第5-1号流水処理工
水路工 L=40.3m
コンクリート蓋 n=10枚
ボックス n=3基

第5号孔口保護工
ブロック積
H=2.3m, L=5.0m

第1号排水路工
水路工 L=59.1m
コンクリート蓋 n=10枚
ボックス n=5基

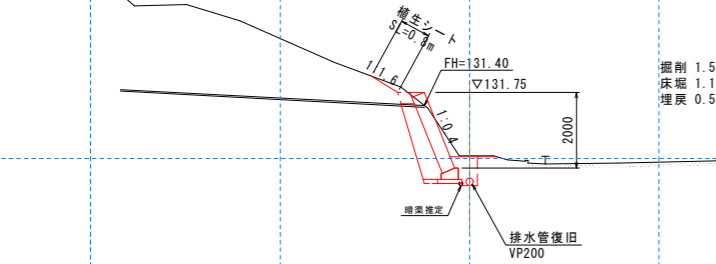
踏査結果 凡例	
	滑動ブロック
	地すべり方向
	滑落段差
	崩壊
	押し出し
	クラック
	湧水
調査事項	
	解析測線
	調査ボーリング (パイプ歪計・地下水位観測・地下水検層)
	簡易貫入試験

対策工凡例	
	水抜きボーリング工
	吹付法砕工
	孔口保護工(フトン籠工)
	孔口保護工(ブロック積み擁壁)
	植生マット
	植生シート
	水路工

当初 令和 4年度 地すべり対策事業 八幡地区 地下水排除等工事		
図面の名称	図面番号	
6,7ブロック 対策工法平面図	1 / 12	
縮尺 : 1 : 500 (A1) 1 : 1000 (A3)		
測量	令和 年 月 日終了	
設計		
製原図		
図複写		

5KNO. 0+5

PH=100.296
GH=120.07
FH=1
D=2,500

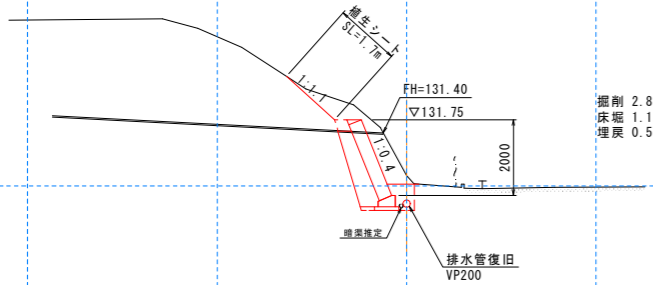


掘削 1.5
床底 1.1
埋戻 0.5

DL=125.00

5KNO. 0K+2.5

PH=100.559
GH=120.27
FH=1
D=2,500

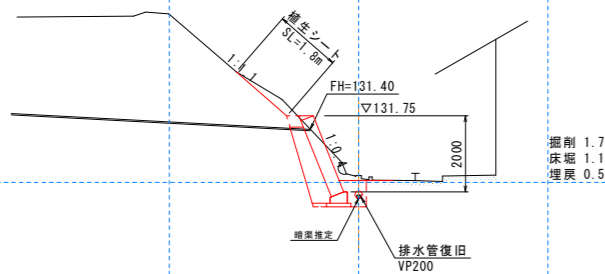


掘削 2.8
床底 1.1
埋戻 0.5

DL=125.00

5KNO. 0

PH=100.188
GH=120.18
FH=1

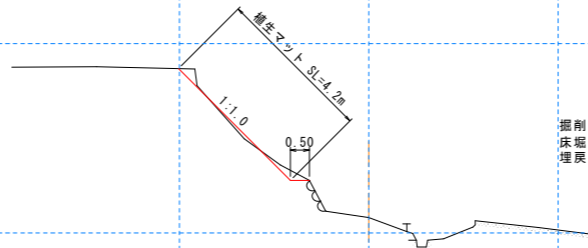


掘削 1.7
床底 1.1
埋戻 0.5

DL=125.00

5KNO. 0+13.5

PH=100.579
GH=120.41
FH=1
D=2,500

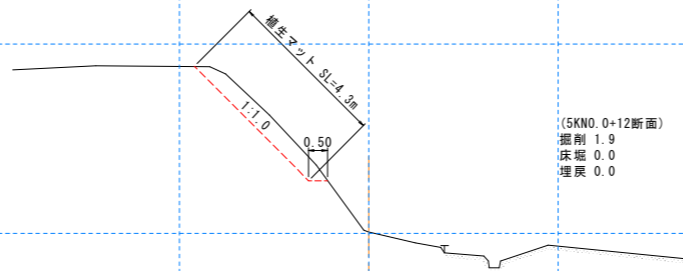


掘削 0.3
床底 0.0
埋戻 0.0

DL=125.00

5KNO. 0+11

PH=100.197
GH=120.03
FH=1
D=6,000

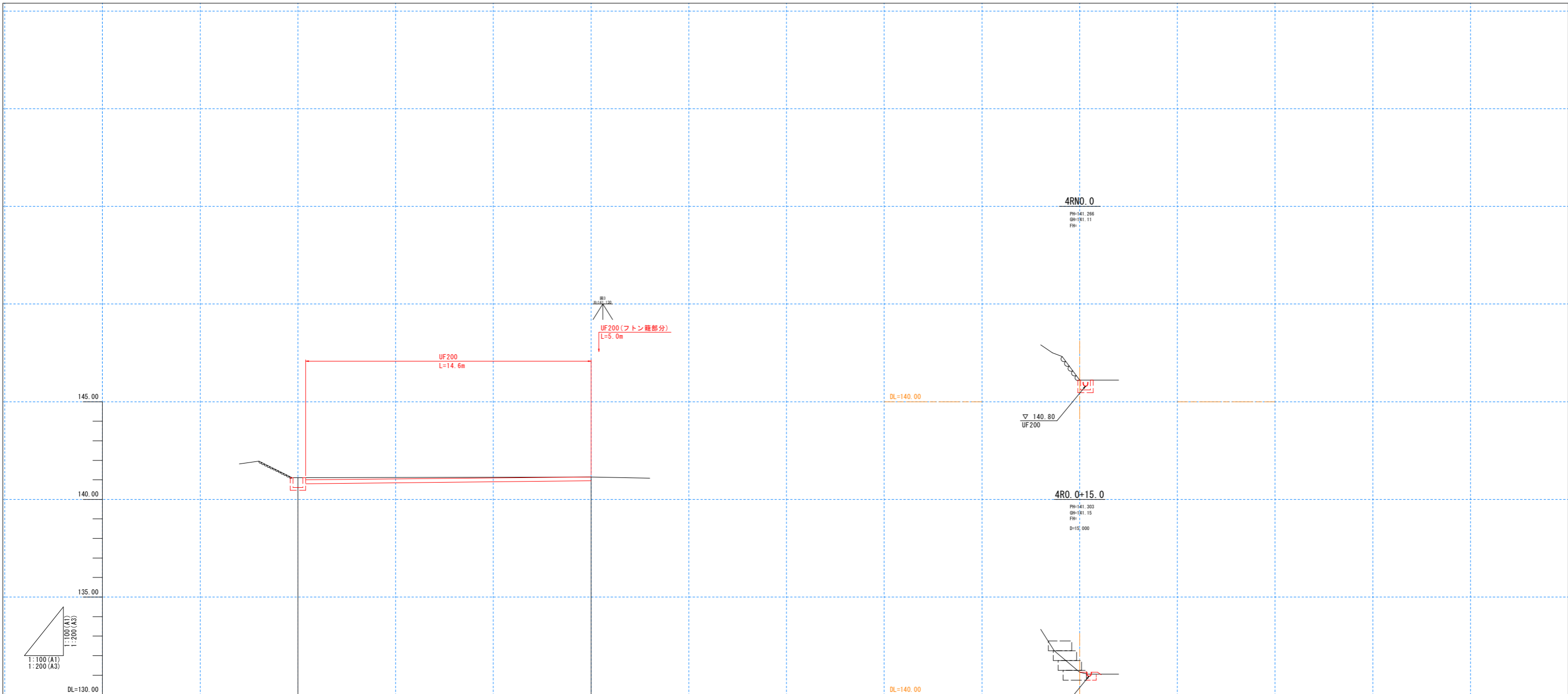


(5KNO. 0+12断面)
掘削 1.9
床底 0.0
埋戻 0.0

DL=125.00

当初
令和 4年度 地すべり対策事業
八幡地区外 地下水排除等工事

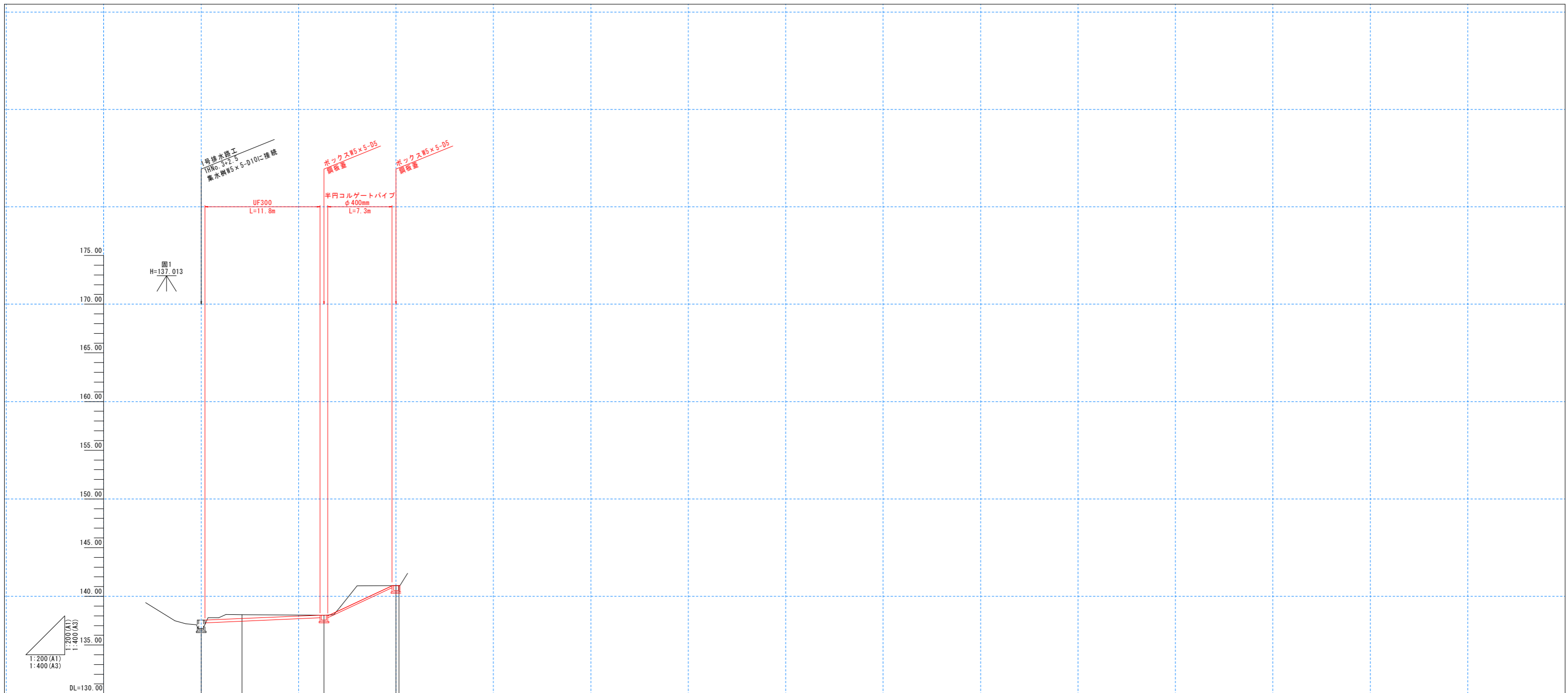
図面の名称		図面番号
6ブロック 5号孔口保護工横断面図		2 / 12
縮尺 : 1 : 100 (A1) 1 : 200 (A3)		
測量	平成 年 月 日終了	
設計		
製 図	原図	
	複写	



計	勾配	1.0% L=14.6m	
	盛土		
画	切土		
	水路底高	140.80	140.95
水路底高			
地盤高		141.11	141.15
追加距離		0.000	15.000
単距離		0.000	15.000
測点		4RNO.0	4R0.0+15.0

当初
令和4年度 地すべり対策事業
八幡地区外 地下水排除等工事

図面の名称		図面番号
6ブロック 第4号流末処理工縦断面図		3 / 12
縮尺: 1:100 (A1) 1:200 (A3)		
測量	平成 年 月 日終了	
設計		
製図	原図	
	複写	



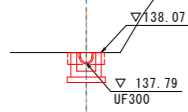
計 画	勾配		137.28	137.79	140.88
	盛土				
	切土				
	水路底高		137.28	137.79	140.88
水路底高		137.28	137.79	140.88	
地盤高		136.71	138.12	138.07	141.11
追加距離		0.000	4.200	12.600	20.000
単距離		0.000	4.200	8.400	7.400
測点		SN0-0	SN0-0+4.2	SN0-0+12.6	SN0-1

当初
令和4年度 地すべり対策事業
八幡地区外 地下水排除等工事

図面の名称	図面番号
6ブロック 1号水路縦断面図	4 / 12
縮尺 : 1:200 (A1) 1:400 (A3)	
測量	平成 年 月 日終了
設計	
製図	原図
図	複写

SNO. 0+12.6(甲)

PH=138.216
GH=138.07
FH=
D=8,000

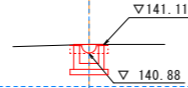


床掘 0.3
埋戻 0.2

DL=135.00

SNO. 1+0.3

PH=141.266
GH=141.11
FH=
D=0,300

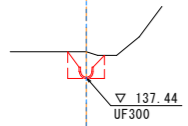


床掘 0.2
埋戻 0.1
張り Con 0.6

DL=140.00

SNO. 0+4.2

PH=138.290
GH=138.12
FH=
D=4,200

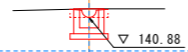


床掘 0.7
埋戻 0.3

DL=135.00

SNO. 1

PH=141.288
GH=141.11
FH=
D=7,000

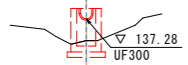


床掘 0.2
埋戻 0.1
張り Con 0.6

DL=140.00

SNO. 0

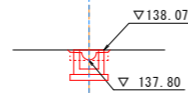
PH=138.856
GH=138.71
FH=
D=8,000



DL=135.00

SNO. 0+12.6(乙)

PH=138.216
GH=138.07
FH=
D=8,000

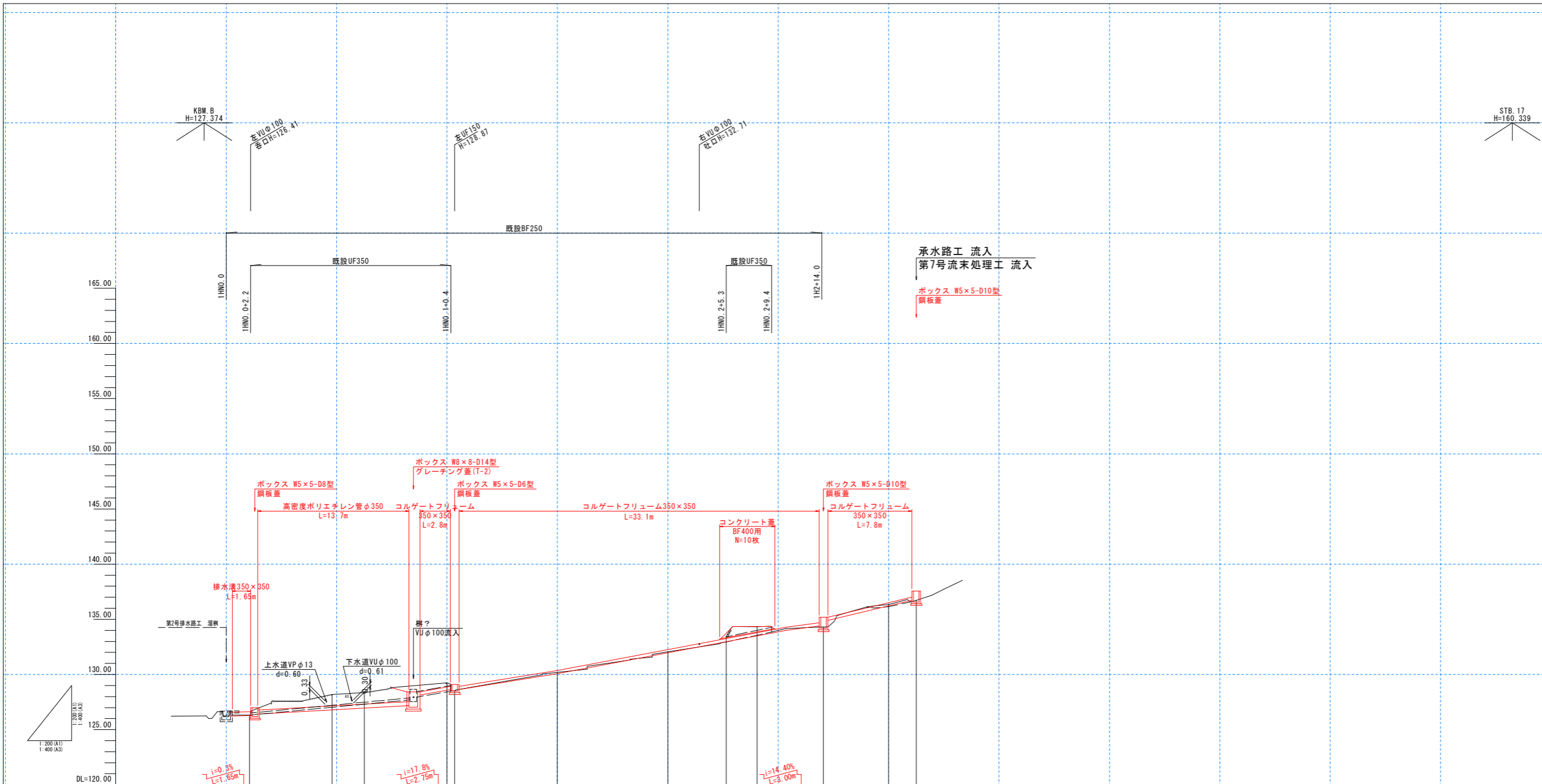


床掘 0.3
埋戻 0.1
張り Con 0.6

DL=135.00

当初
令和4年度 地すべり対策事業
八幡地区外 地下水排除等工事

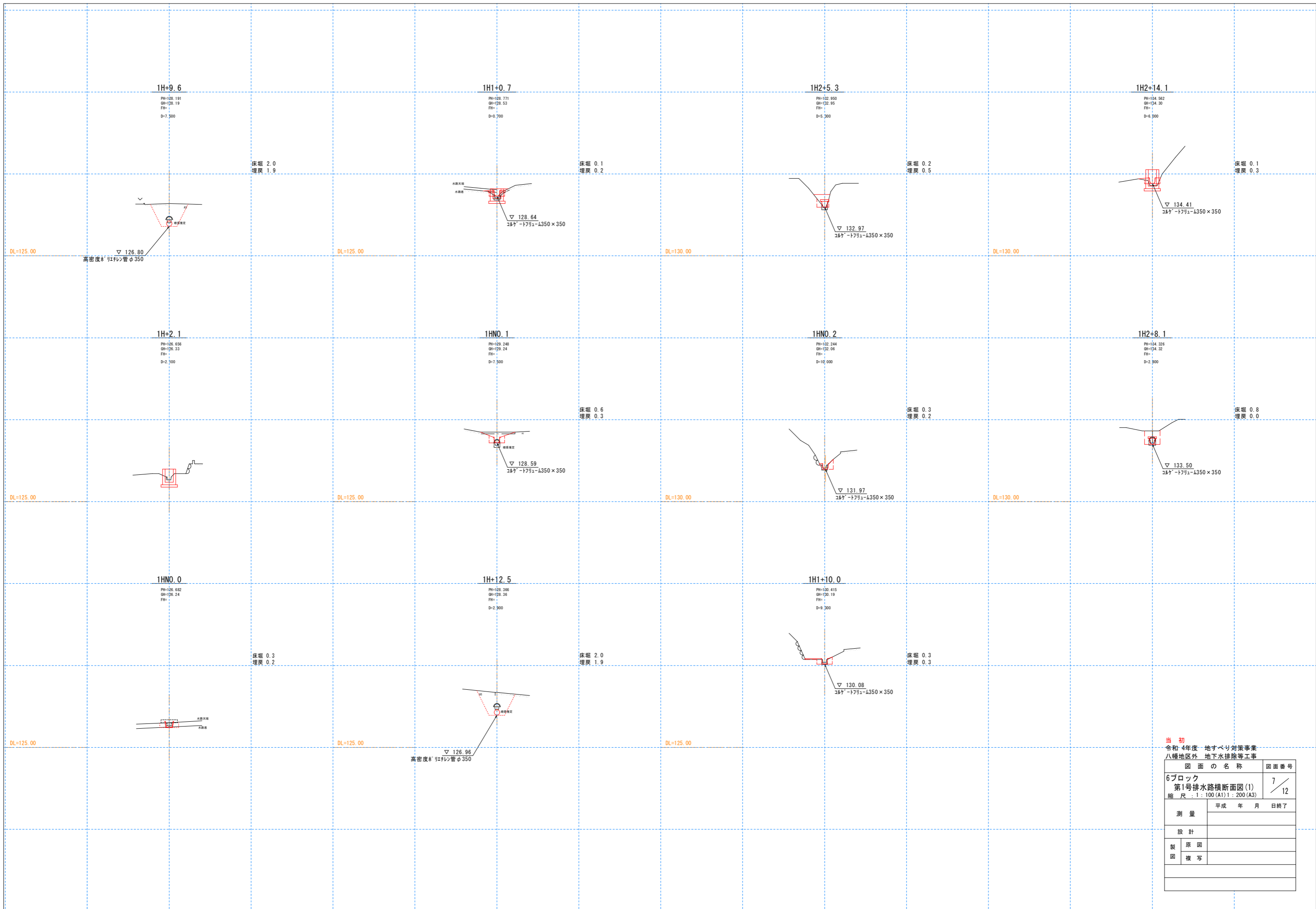
図面の名称		図面番号
6ブロック 承水路工横断面図		5 / 12
縮尺 : 1 : 100 (A1) 1 : 200 (A3)		
測量	平成 年 月 日終了	
設計		
製 図	原図	
	模写	



計	勾配		盛土	切土	画	水路底高	水路底高	地盤高	追加距離	単距離	測点
	1	2									
	126.23	126.28				126.33	126.33	126.33	0.000	2.100	IHN0-0
						126.80	126.96	128.19	9.500	7.500	IHN0-0+0.6
						128.55	128.64	128.36	12.500	2.900	IHN0-0+1.5
						128.55	128.64	129.24	20.000	7.500	IHN0-1
						128.53	128.53	128.53	20.700	0.700	IHN0-1+0.7
						130.19	130.19	130.19	30.000	9.300	IHN0-1+10.0
						132.06	132.97	132.06	40.000	10.000	IHN0-2
						132.95	132.97	132.95	45.300	5.300	IHN0-2+5.3
						133.50	133.50	134.32	48.100	2.800	IHN0-2+8.1
						134.30	134.30	134.30	54.100	6.000	IHN0-2+14.1
						136.15	136.21	136.33	60.000	5.900	IHN0-3
						136.71	136.71	136.71	62.500	2.500	IHN0-3+2.5

当初
令和4年度 地すべり対策事業
八幡地区外 地下水排除等工事

図面の名称		図面番号
6ブロック 第1号排水路縦断面図		6 / 12
縮尺	1:200 (A1) 1:400 (A3)	
測量	平成 年 月 日終了	
設計		
製図	原図	
校核	複写	



当初
令和4年度 地すべり対策事業
八幡地区外 地下水排除等工事

図面の名称	図面番号
6ブロック 第1号排水路横断面図(1)	7 / 12
縮尺 : 1 : 100 (A1) 1 : 200 (A3)	
測量	平成 年 月 日終了
設計	
製原 図 図	模写

1H3+2.5

PH=106.856
OH=126.71
FH=
D=2,300

床掘 0.2
埋戻 0.3

張り Con 0.6



DL=135.00

▽ 136.71
357-1791-A350 x 350

1HNO.3

PH=106.508
OH=126.33
FH=
D=5,300

床掘 0.2
埋戻 0.3



DL=135.00

▽ 136.21
357-1791-A350 x 350

当初
令和4年度 地すべり対策事業
八幡地区外 地下水排除等工事

図面の名称		図面番号
6ブロック 第1号排水路横断面図(2)		8 / 12
縮尺 : 1 : 100 (A1) 1 : 200 (A3)		
測量	平成 年 月 日終了	
設計		
製 図	原図	
	複写	

第5号孔口保護工構造図

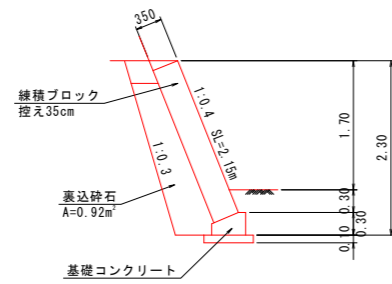
ブロック積

S=1:50(A1)
S=1:100(A3)

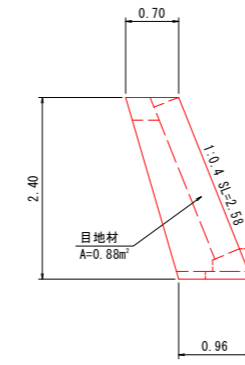
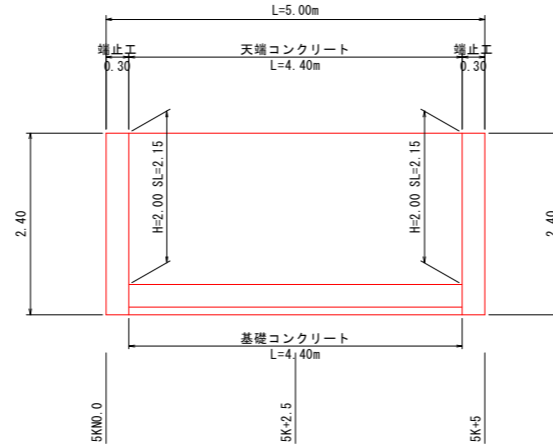
端止工

S=1:50(A1)
S=1:100(A3)

断面図



正面図



数量表 1ヶ所当たり

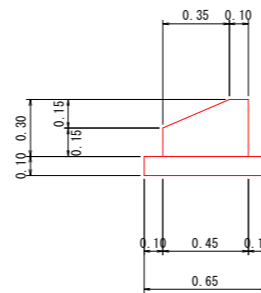
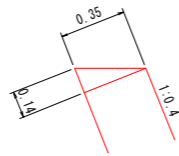
名称	規格	単位	数量
コンクリート	$\sigma_{ck}=18N/mm^2$	m ³	0.60
型枠		m ²	4.76
目地材	エラストイト	m ²	0.88

天端コンクリート

S=1:20(A1)
S=1:40(A3)

基礎コンクリート

S=1:20(A1)
S=1:40(A3)



数量表 10m当たり

名称	規格	単位	数量
コンクリート	$\sigma_{ck}=18N/mm^2$	m ³	0.25

数量表 10m当たり

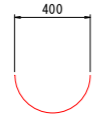
名称	規格	単位	数量
コンクリート	$\sigma_{ck}=18N/mm^2$	m ³	1.09
型枠		m ²	4.50
基礎砕石	RC-40	m ³	6.50

当初
令和4年度 地すべり対策事業
八幡地区外 地下水排除等工事

図面の名称		図面番号
6ブロック 第5号孔口保護工構造図		9 / 12
縮尺: 図示		
測量	平成 年 月 日終了	
設計		
製図	原図	
	複写	

コルゲート400

S=1:20(A1)
S=1:40(A3)



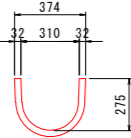
数量表

10m当たり

名称	規格	単位	数量
半円コルゲート	400	m	10.0

UF300

S=1:20(A1)
S=1:40(A3)

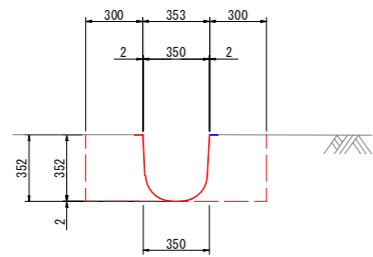


数量表

10m当たり

名称	規格	単位	数量
U字フリューム	300	m	10.0

コルゲートフリューム
350×350



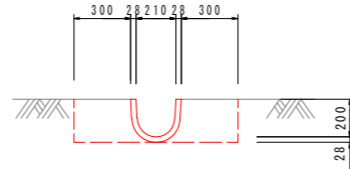
数量表

10m当たり

名称	規格	単位	数量
コルゲートフリューム	350×350	m	10.0

UF200

S=1:20(A1)
S=1:40(A3)



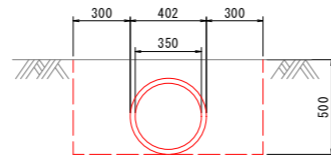
数量表

10m当たり

名称	規格	単位	数量
床掘	土砂	m ²	2.0
埋戻		m ²	1.5
U字フリューム	200	m	10.0

高密度ポリエチレン管φ350

S=1:20(A1)
S=1:40(A3)



数量表

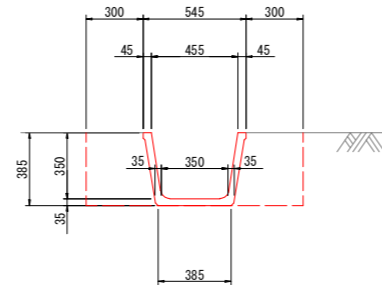
10m当たり

名称	規格	単位	数量
床掘	土砂	m ²	5.0
埋戻		m ²	3.7
高密度ポリエチレン管(ダブル)	φ350	m	10.0

排水溝

350×350

S=1:20(A1)
S=1:40(A3)



数量表

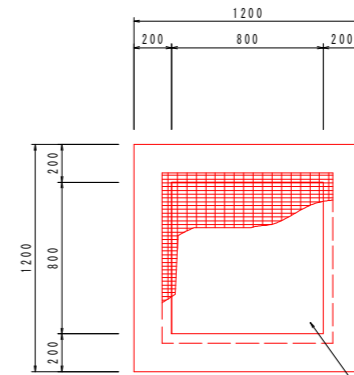
10m当たり

名称	規格	単位	数量
床掘	土砂	m ²	4.4
埋戻		m ²	2.6
排水溝	350×350	m	10.0

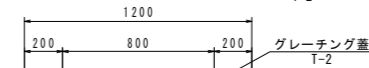
ボックス W8×8-D14型

(グレーチング蓋)

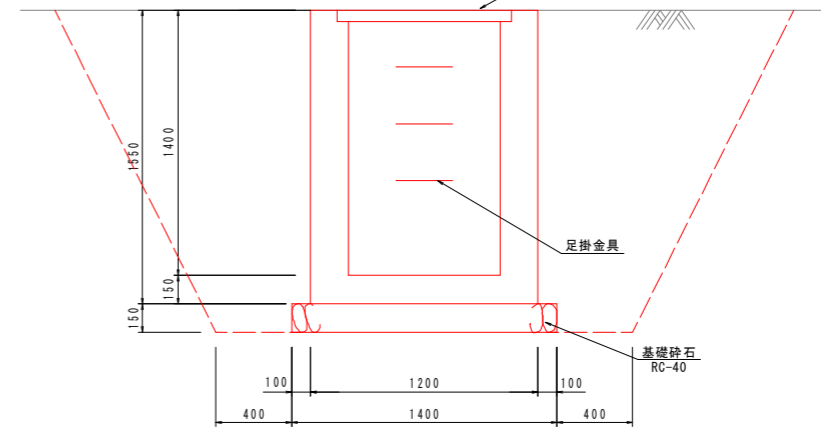
S=1:20(A1)
S=1:40(A3)



グレーチング蓋
T-2



グレーチング蓋
T-2



足掛金具

基礎砕石
RC-40

数量表

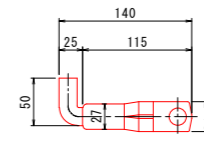
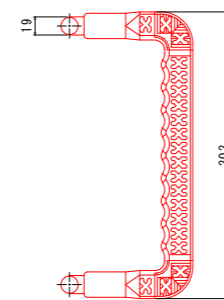
1箇所当たり

名称	規格	単位	数量
床掘	土砂	m ²	17.0
埋戻		m ²	14.5
コンクリート	σck=18N/mm ²	m ²	1.336
型枠		m ²	12.40
基礎砕石	RC-40, t=150	m ²	1.96
足掛金具		個	3
グレーチング蓋	T-2 800×800用	枚	1

足掛金具

(参考)

S=1:4(A1)
S=1:8(A3)



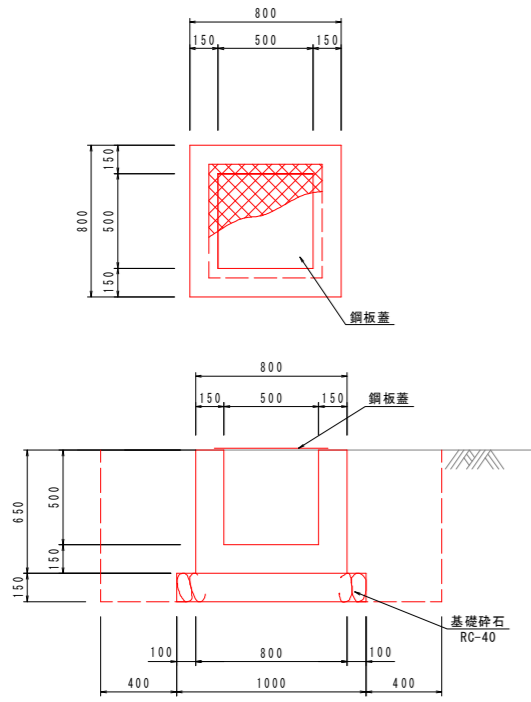
当初

令和4年度 地すべり対策事業

八幡地区外 地下水排除等工事

図面の名称		図面番号
6ブロック 水路工構造図(1)		10/12
測量	平成 年 月 日 終了	
設計		
製図	原図	
	複写	

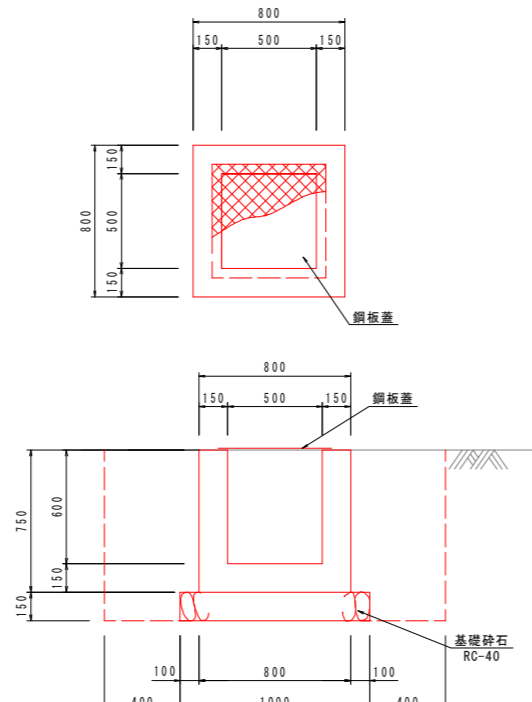
ボックス W5×5-D5型
(鋼板蓋)
S=1:20(A1)
S=1:40(A3)



数量表 1箇所当たり

名称	規格	単位	数量
床掘土砂		m ³	2.6
埋戻		m ³	2.0
コンクリート	σ _{ck} =18N/mm ²	m ³	0.291
型枠		m ²	3.38
基礎砕石	RC-40, t=150	m ³	1.00
鋼板蓋	500×500用	枚	1

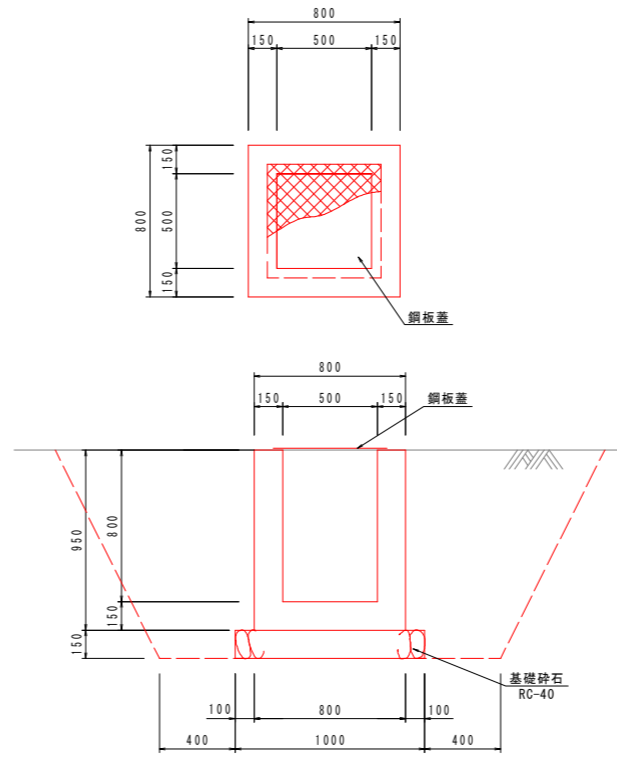
ボックス W5×5-D6型
(鋼板蓋)
S=1:20(A1)
S=1:40(A3)



数量表 1箇所当たり

名称	規格	単位	数量
床掘土砂		m ³	2.9
埋戻		m ³	2.3
コンクリート	σ _{ck} =18N/mm ²	m ³	0.330
型枠		m ²	3.90
基礎砕石	RC-40, t=150	m ³	1.00
鋼板蓋	500×500用	枚	1

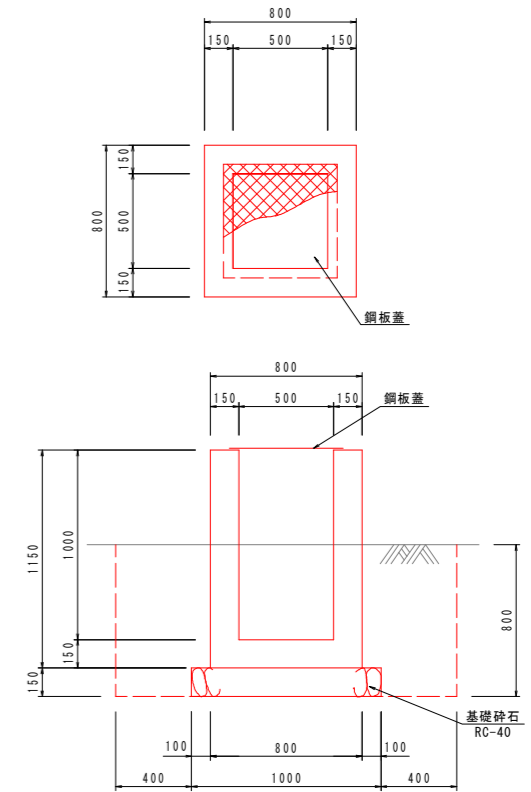
ボックス W5×5-D8型
(鋼板蓋)
S=1:20(A1)
S=1:40(A3)



数量表 1箇所当たり

名称	規格	単位	数量
床掘土砂		m ³	6.4
埋戻		m ³	5.6
コンクリート	σ _{ck} =18N/mm ²	m ³	0.408
型枠		m ²	4.94
基礎砕石	RC-40, t=150	m ³	1.00
鋼板蓋	500×500用	枚	1

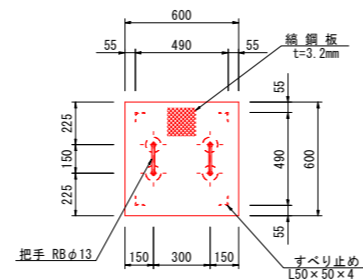
ボックス W5×5-D10型
(鋼板蓋)
S=1:20(A1)
S=1:40(A3)



数量表 1箇所当たり

名称	規格	単位	数量
床掘土砂		m ³	2.6
埋戻		m ³	2.0
コンクリート	σ _{ck} =18N/mm ²	m ³	0.486
型枠		m ²	5.98
基礎砕石	RC-40, t=150	m ³	1.00
鋼板蓋	500×500用	枚	1

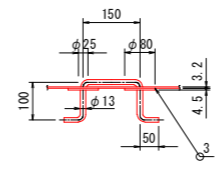
鋼板蓋
500×500
S=1:20(A1)
S=1:40(A3)



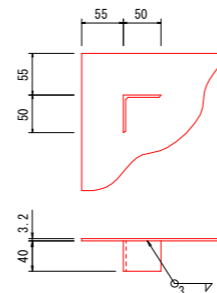
数量表

名称	寸法	規格	単位質量	数量	質量(kg)
編鋼板	ch 600×3.2×600	SS41	26.79kg/m ²	1	9.6
すべり止め	L50×50×4×40	〃	3.06kg/m	4	0.5
把手	RB φ13×450	〃	1.04kg/m	2	0.9
補強板	R φ81×4.5	〃	35.33kg/m ²	4	0.7
合計					11.7

把手
S=1:10(A1)
S=1:20(A3)



すべり止め
S=1:5(A1)
S=1:10(A3)



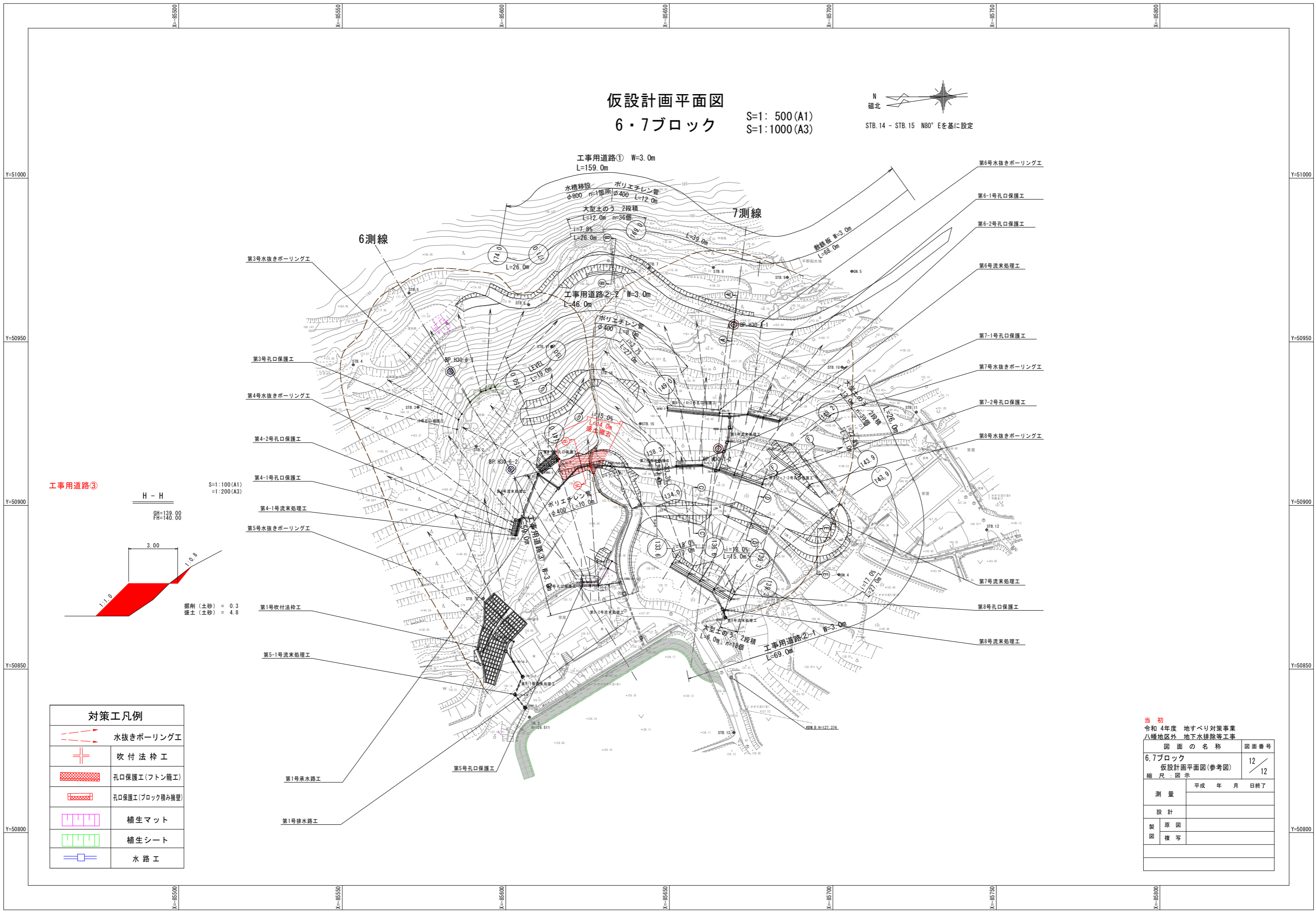
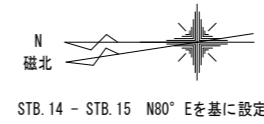
注) 鋼蓋(把手、すべり止め等含む)のさび止め塗装は、シアンミド鉛さび止めペイント(JIS K 5625)2回塗りとする。

当初
令和4年度 地すべり対策事業
八幡地区外 地下水排除等工事

図面の名称	図面番号
6ブロック 水路工構造図(2)	11/12
縮尺: 図示	
測量	平成 年 月 日終了
設計	
製図	原図
図	複写

仮設計画平面図 6・7ブロック

S=1: 500 (A1)
S=1:1000 (A3)

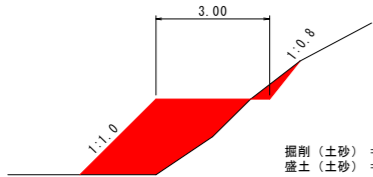


工事用道路③

H - H

S=1:100 (A1)
S=1:200 (A3)

GH=139.00
FH=140.00



掘削(土砂) = 0.3
盛土(土砂) = 4.8

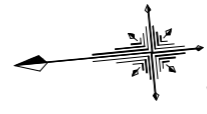
対策工凡例	
	水抜きボーリング工
	吹付法砕工
	孔口保護工(フロン籠工)
	孔口保護工(ブロック積み擁壁)
	植生マット
	植生シート
	水路工

当初
令和4年度 地すべり対策事業
八幡地区外 地下水排除等工事

図面の名称		図面番号
6,7ブロック 仮設計画平面図(参考図)		12 / 12
縮尺: 図示		
測量	平成 年 月 日 終了	
設計		
製原		
図複		

令和4年度 地すべり対策事業 八幡地区外 地下水排除等工事 城川工区

対策工法平面図 S=1:200



舗装工 L=2.2m
 波型ポリエチレン管φ200 L=4.3m
 波型ポリエチレン管φ250 L=2.5m
 二次製品溜池400型相当 2基

水田排水管
 波型ポリエチレン管φ200 L=11.2m
 落水口 1箇所

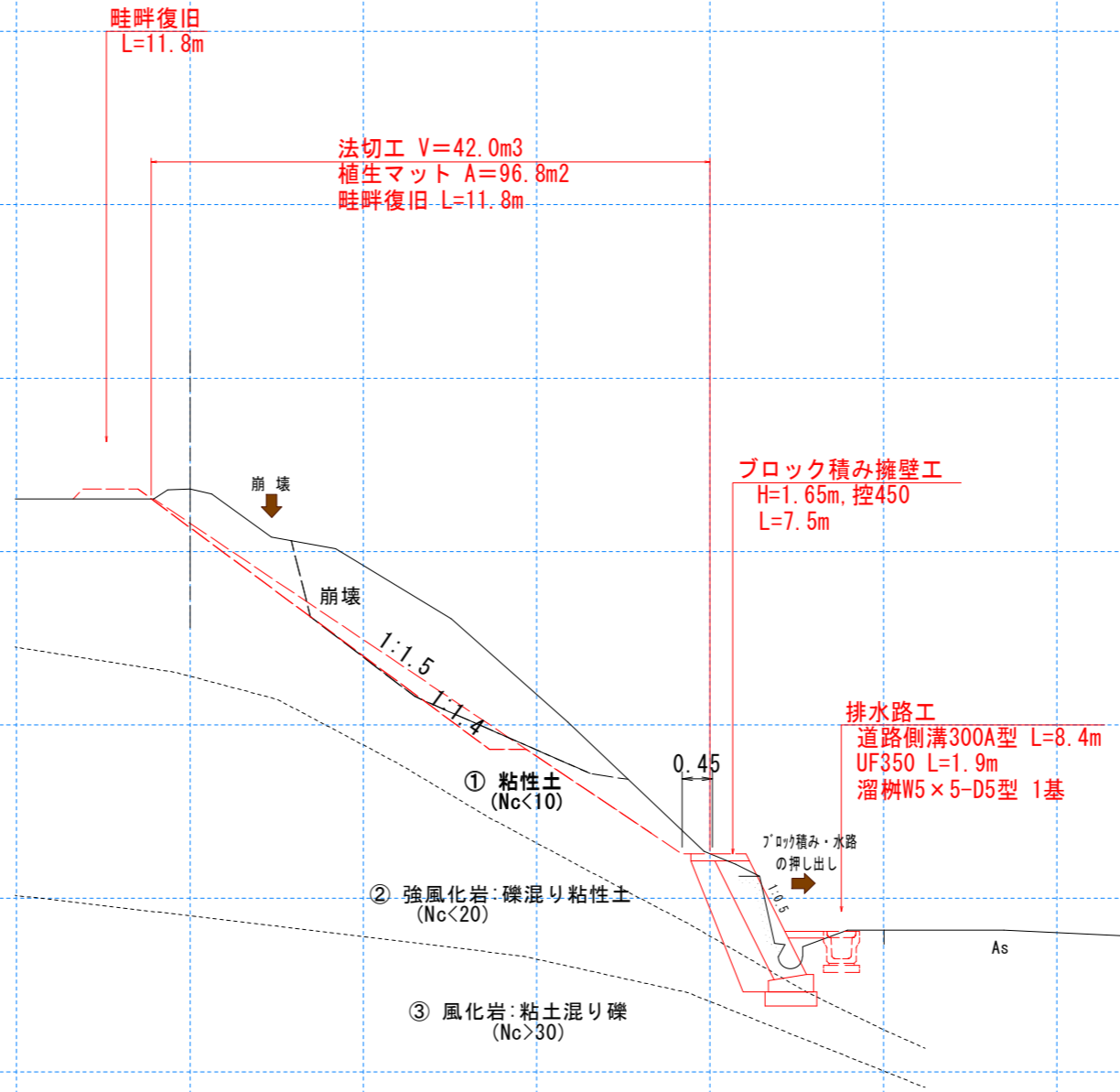
断面±0
 断面±5.5
 断面±9.0
 断面±15.0
 断面(+17.0)
 断面(+14.3)

令和4年度
 地すべり対策事業 八幡地区外
 地下水排除等工事 城川工区

図面の名称		
城川工区 対策工法平面図		2 / 7
縮尺 1:200 (A1), 1:400 (A3)		
測量	令和 年 月 日終了	
設計		
製図	原図	
図	複写	

地質断面図 S=1:50

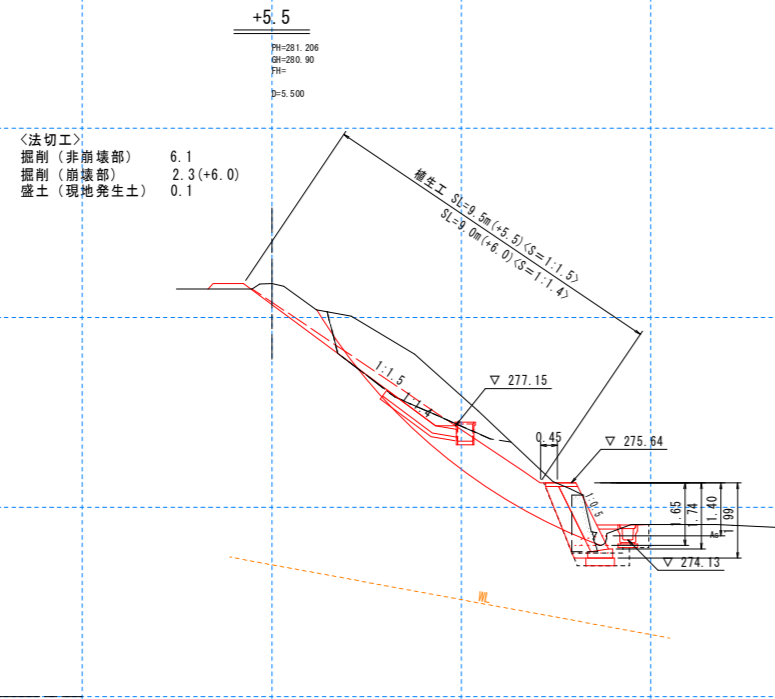
DL=270.000



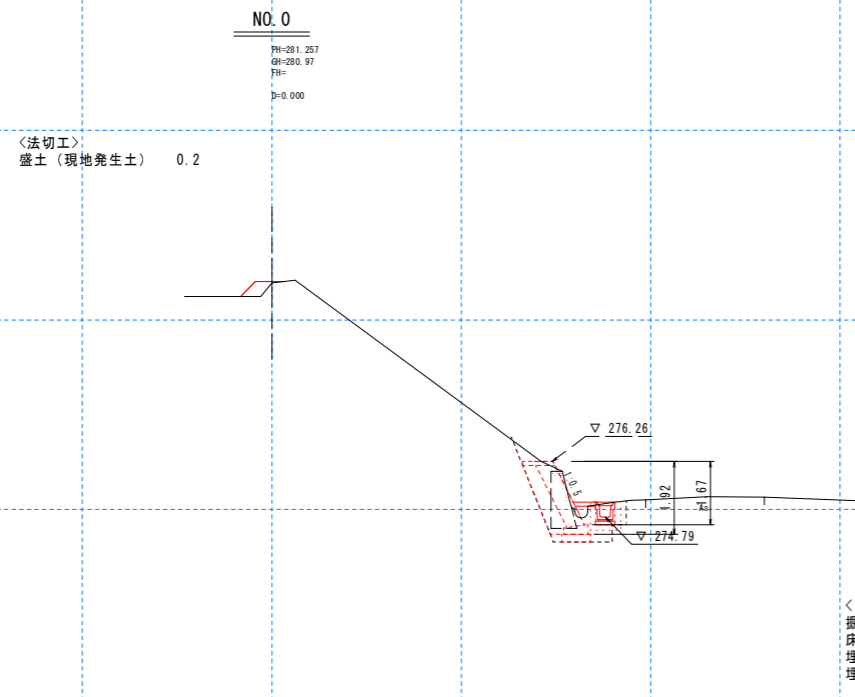
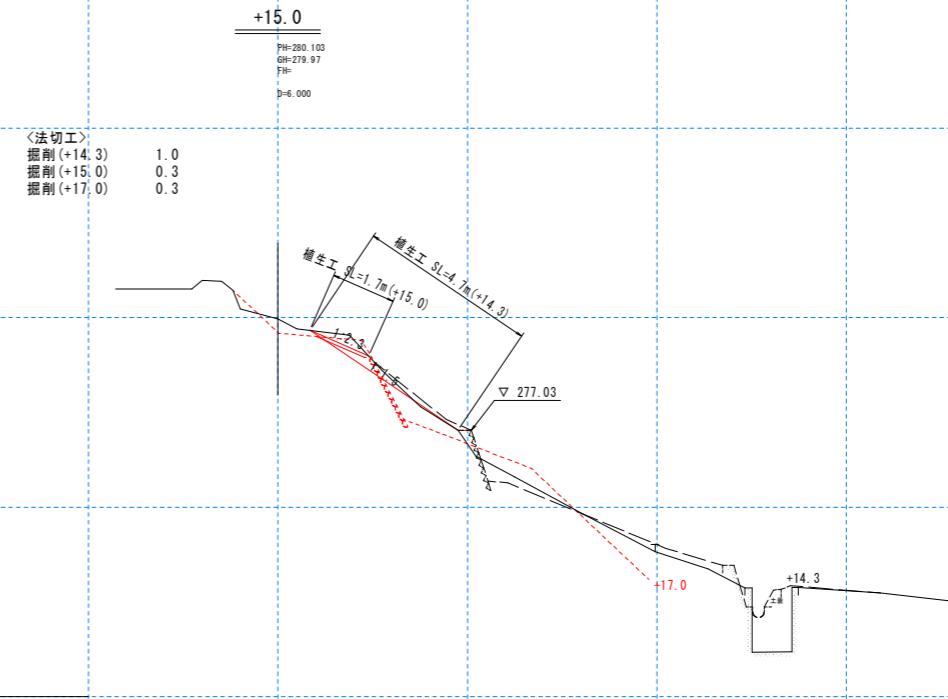
令和4年度
地すべり対策事業 八幡地区外
水路修繕等(城川)工事

図面の名称		
城川工区		
地質断面図		3 / 7
縮尺 1:50(A1), 1:100(A3)		
測量	令和 年 月 日終了	
設計		
製 図	原図	
	複写	

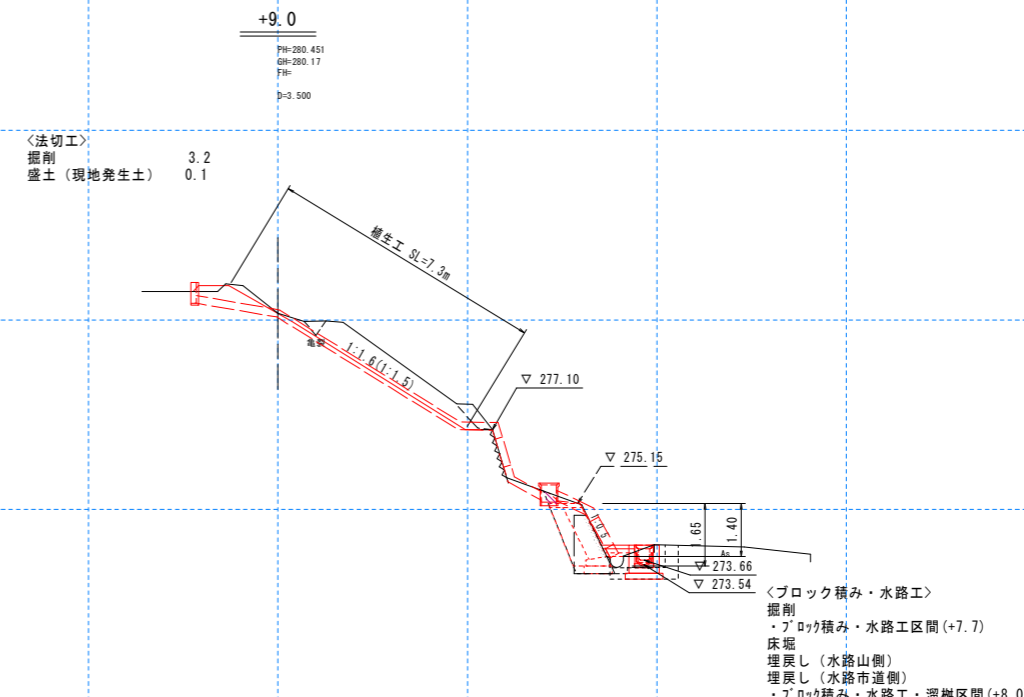
横断図
S=1:100



＜ブロック積み・水路工＞	
甲	乙
掘削（ブロック積み）	0.6
床堀	0.8
埋戻し（水路山側）	0.3
埋戻し（水路市道側）	0.2



＜ブロック積み・水路工＞	
掘削（ブロック積み）	0.8
床堀	1.5
埋戻し（水路山側）	0.5
埋戻し（水路市道側）	0.2



＜ブロック積み・水路工＞	
掘削	0.7
掘削（ブロック積み・水路工区間(+7.7)	0.7
床堀	0.5
埋戻し（水路山側）	0.2
埋戻し（水路市道側）	1.4
掘削（ブロック積み・水路工・溜樹区間(+8.0)	0.4
埋戻し（水路山側）	0.4
埋戻し（水路市道側）	0.4
掘削（水路工・溜樹区間(+9.0)	1.3
埋戻し（水路山側）	0.4
埋戻し（水路市道側）	0.4
掘削（水路工区間(+9.5)	0.4
床堀	0.4
埋戻し（水路山側）	0.3

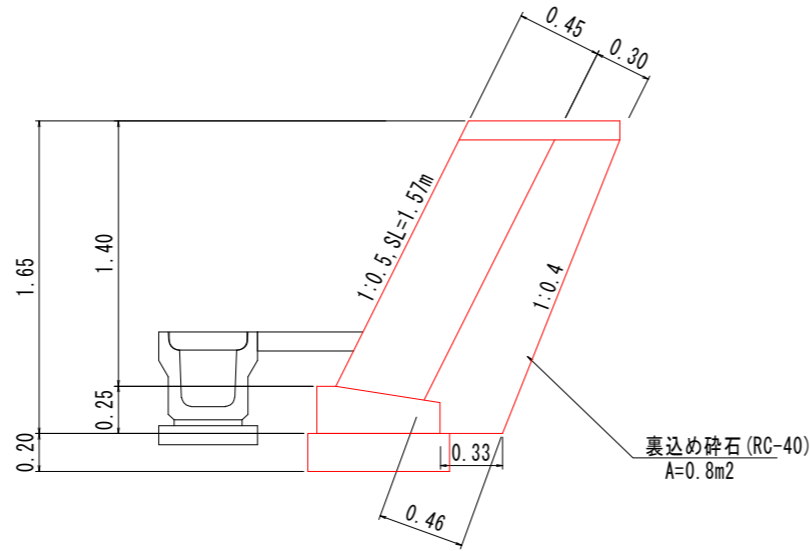
令和4年度
地すべり対策事業 八幡地区外
地下水排除等工事 城川工区

図面の名称	
城川工区	横断図
縮尺 1:100(A1), 1:200(A3)	4/7
測量	令和 年 月 日終了
設計	
製図	原図
図	複写

土留工(大型ブロック積擁壁工)

標準断面図

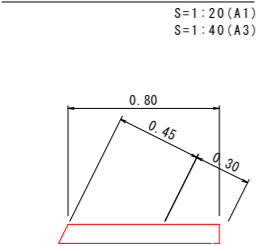
大型ブロック積み擁壁 S=1:20 (A1)
H=1.65m, 控450 S=1:40 (A3)



数量表 1箇所当たり

名称	規格	単位	数量
大型ブロック面積	控450	m ²	12.4
水抜きパイプ	φ50mm	m	3.1
吸出し防止材		枚	6
裏込め砕石	RC-40	m ²	5.5

※基礎地盤について
基礎地盤の支持力は「50.0kN/m²」以上を確保すること。
支持力が下回る場合、置換コンクリートや地盤改良を検討すること。



数量表 1箇所当たり

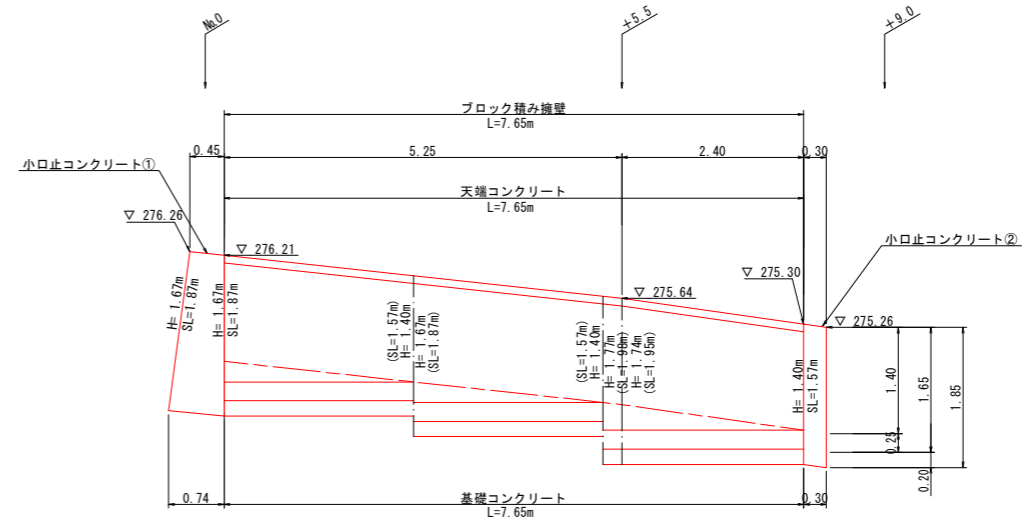
名称	規格	単位	数量
コンクリート	18N/mm ²	m ²	0.631
型枠		m ²	1.62

数量表 1箇所当たり

名称	規格	単位	数量
コンクリート	18N/mm ²	m ²	1.063
型枠		m ²	3.16
基礎砕石	RC-40, t=20cm	m ²	5.74

展開図

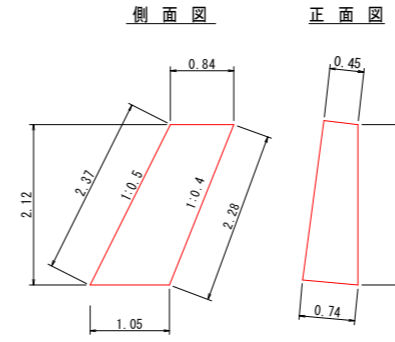
S=1:50 (A1)
S=1:100 (A3)



小口止コンクリート

S=1:50 (A1)
S=1:100 (A3)

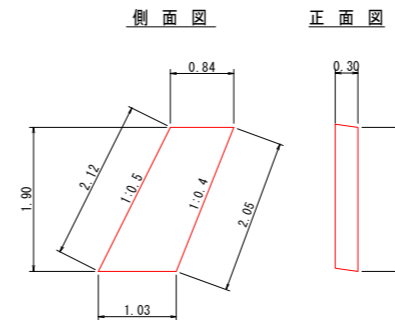
① 起点側



数量表 1箇所当たり

名称	規格	単位	数量
コンクリート	18N/mm ²	m ²	1.192
型枠		m ²	3.41
目地材		m ²	2.00

② 終点側

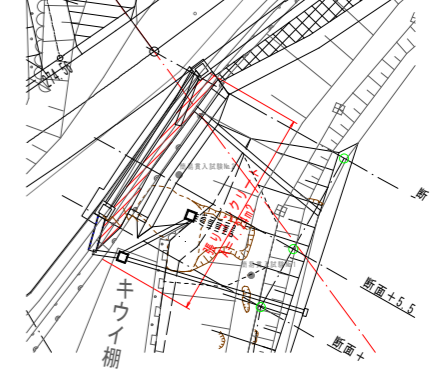


数量表 1箇所当たり

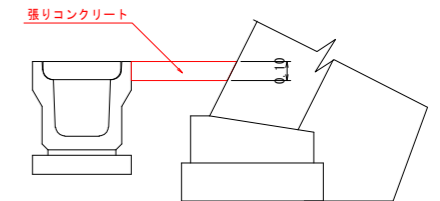
名称	規格	単位	数量
コンクリート	18N/mm ²	m ²	0.533
型枠		m ²	2.41
目地材		m ²	1.78

張りコンクリート

施工範囲図 S=1:200 (A1)
S=1:400 (A3)



標準断面図 S=1:20 (A1)
S=1:40 (A3)



数量表 1箇所当たり

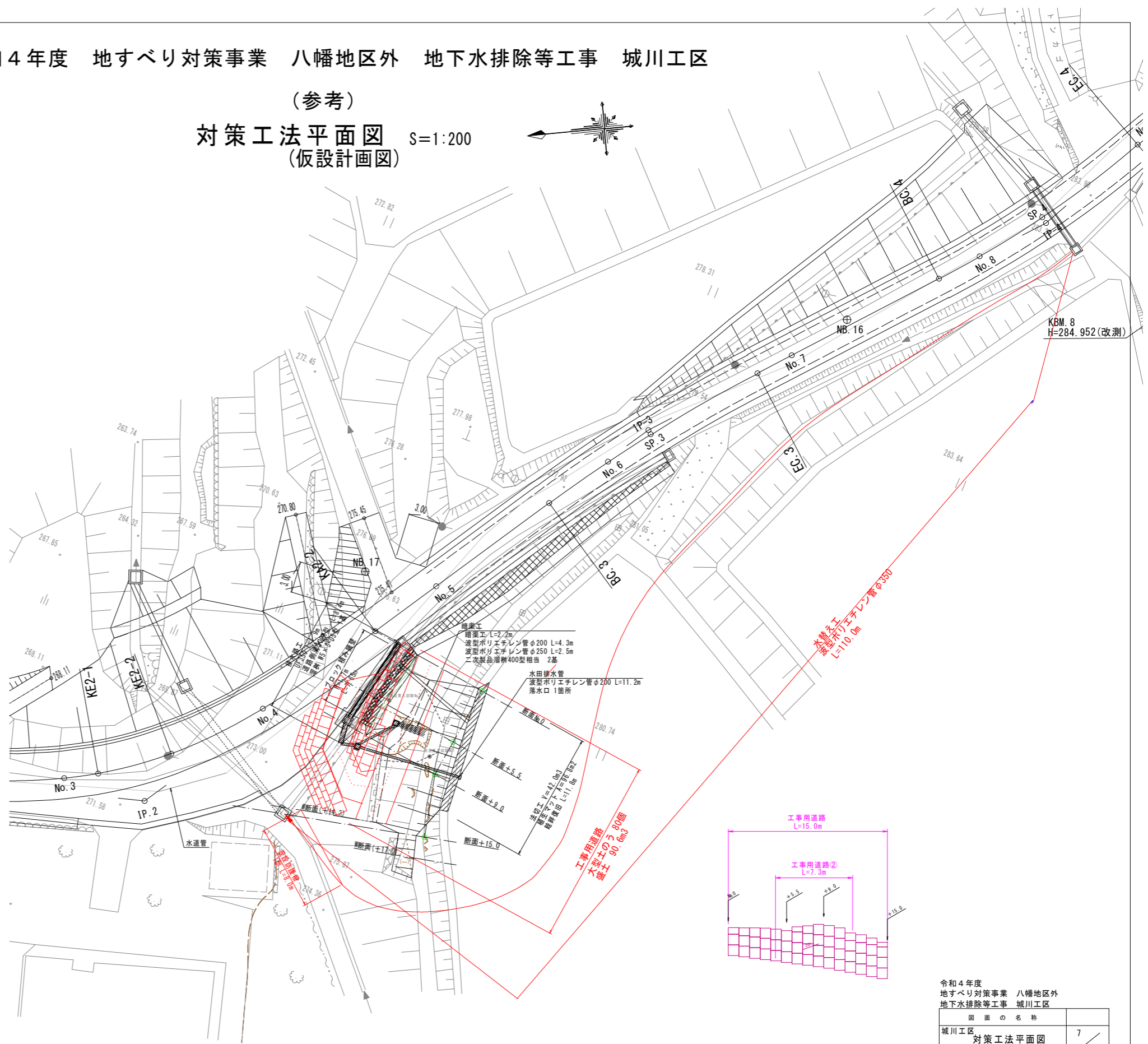
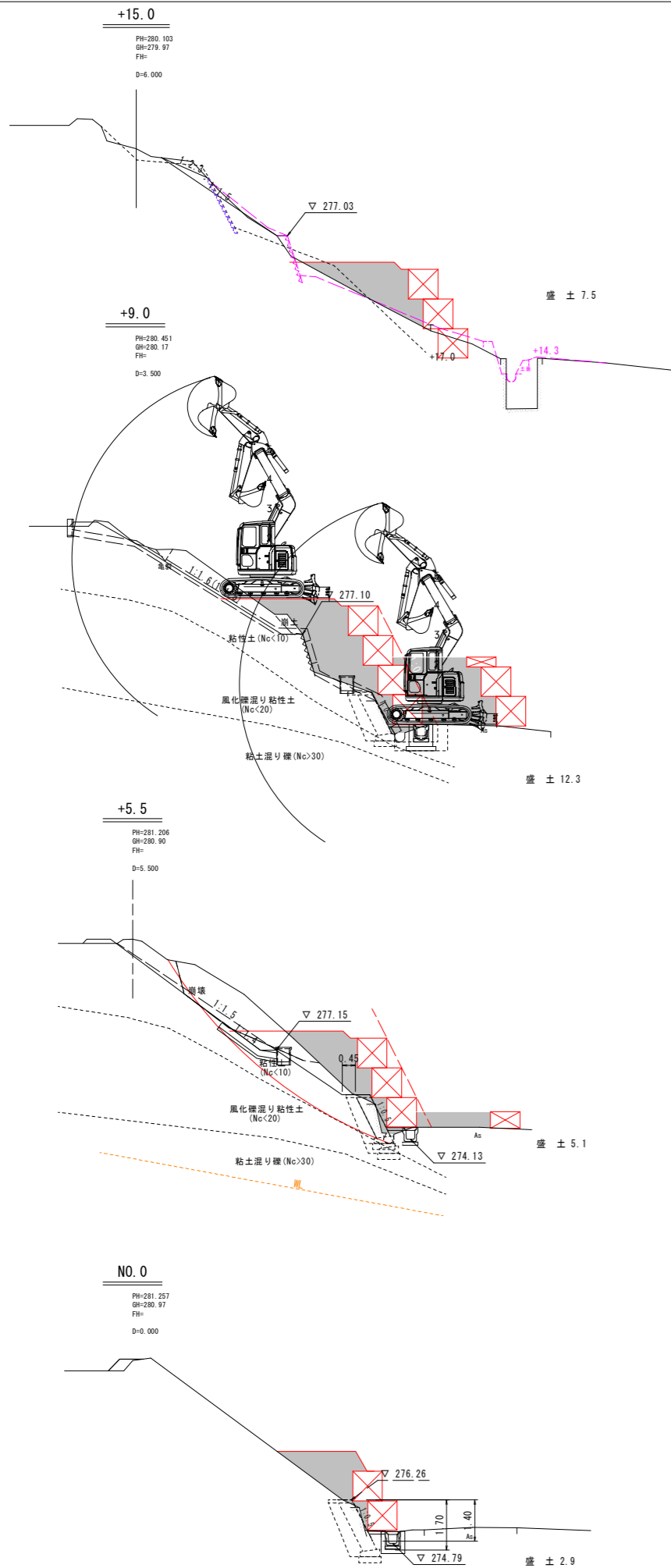
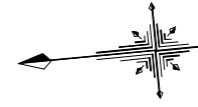
名称	規格	単位	数量
コンクリート	18N/mm ²	m ²	0.724

令和4年度
地すべり対策事業 八幡地区外
地下水排除等工事 城川工区

図面の名称		
城川工区	ブロック積み擁壁 構造図	5/7
縮尺	図示	
測量	令和 年 月 日終了	
設計		
製図	原図	
図	複写	

令和4年度 地すべり対策事業 八幡地区外 地下水排除等工事 城川工区

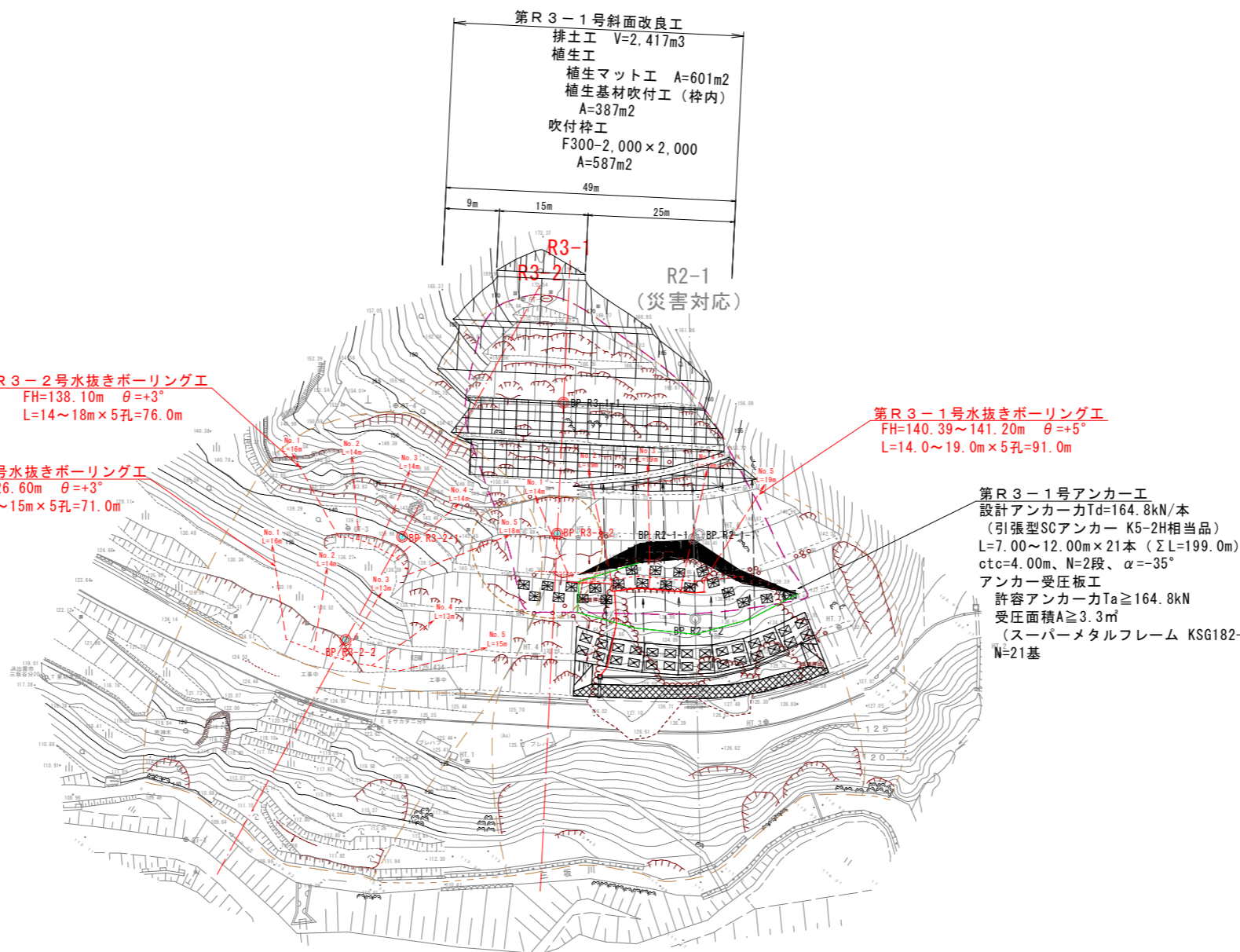
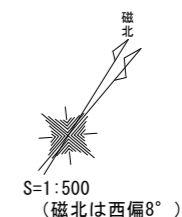
(参考)
対策工法平面図 S=1:200
(仮設計画図)



令和4年度
地すべり対策事業 八幡地区外
地下水排除等工事 城川工区

図面の名称	7 / 7
城川工区 対策工法平面図 (仮設計画図)	7 / 7
縮尺	1:200(A1), 1:400(A3)
測量	令和 年 月 日終了
設計	
製図	
図復写	

令和4年度 地すべり対策事業 八幡地区 地下水排除等工事 角谷工区
 角谷工区 R3ブロック 計画平面図



第R3-2号水抜きボーリング工

孔番号	削孔長 (m)	削孔標高 (m)	削孔方向 (°)	削孔角度 (°)	X座標	Y座標	孔口間隔 (m)
No. 1	16.00	138.10	N61W	+3.0°	-77492.609	59698.056	3.50
No. 2	14.00	138.10	N37W	+3.0°	-77490.739	59701.015	
No. 3	14.00	138.10	N10W	+3.0°	-77489.712	59704.361	
No. 4	14.00	138.10	N17E	+3.0°	-77489.100	59707.807	
No. 5	18.00	138.10	N37E	+3.0°	-77489.680	59711.258	

削孔方向は磁北を基準とする

第R3-3号水抜きボーリング工

孔番号	削孔長 (m)	削孔標高 (m)	削孔方向 (°)	削孔角度 (°)	X座標	Y座標	孔口間隔 (m)
No. 1	16.00	126.60	N40W	+3.0°	-77511.460	59702.387	5.00
No. 2	14.00	126.60	N23W	+3.0°	-77509.862	59707.124	
No. 3	13.00	126.60	N2W	+3.0°	-77507.941	59711.741	
No. 4	13.00	126.60	N22E	+3.0°	-77505.655	59716.188	
No. 5	15.00	126.60	N43E	+3.0°	-77503.119	59720.497	

削孔方向は磁北を基準とする

第R3-1号水抜きボーリング工

孔番号	削孔長 (m)	削孔標高 (m)	削孔方向 (°)	削孔角度 (°)	X座標	Y座標	孔口間隔 (m)
No. 1	14.00	141.20	N55W	+5.0°	-77472.437	59731.324	7.50
No. 2	19.00	140.39	N44W	+5.0°	-77468.640	59737.792	
No. 3	19.00	140.39	N33W	+5.0°	-77464.172	59742.513	
No. 4	19.00	140.39	N20W	+5.0°	-77461.019	59747.019	
No. 5	19.00	140.39	NS	+5.0°	-77458.653	59749.864	

削孔方向は磁北を基準とする

※本図面に記載した災害復旧工事による対策工 (地山補強土工・水抜きボーリング工・アンカー工・法面整形工など) は計画図であるため、アンカー工施工にあたっては、出来形に合わせて詳細な配置を修正する必要がある。

令和4年度 地すべり対策事業 八幡地区外
 地下水排除等工事 角谷工区

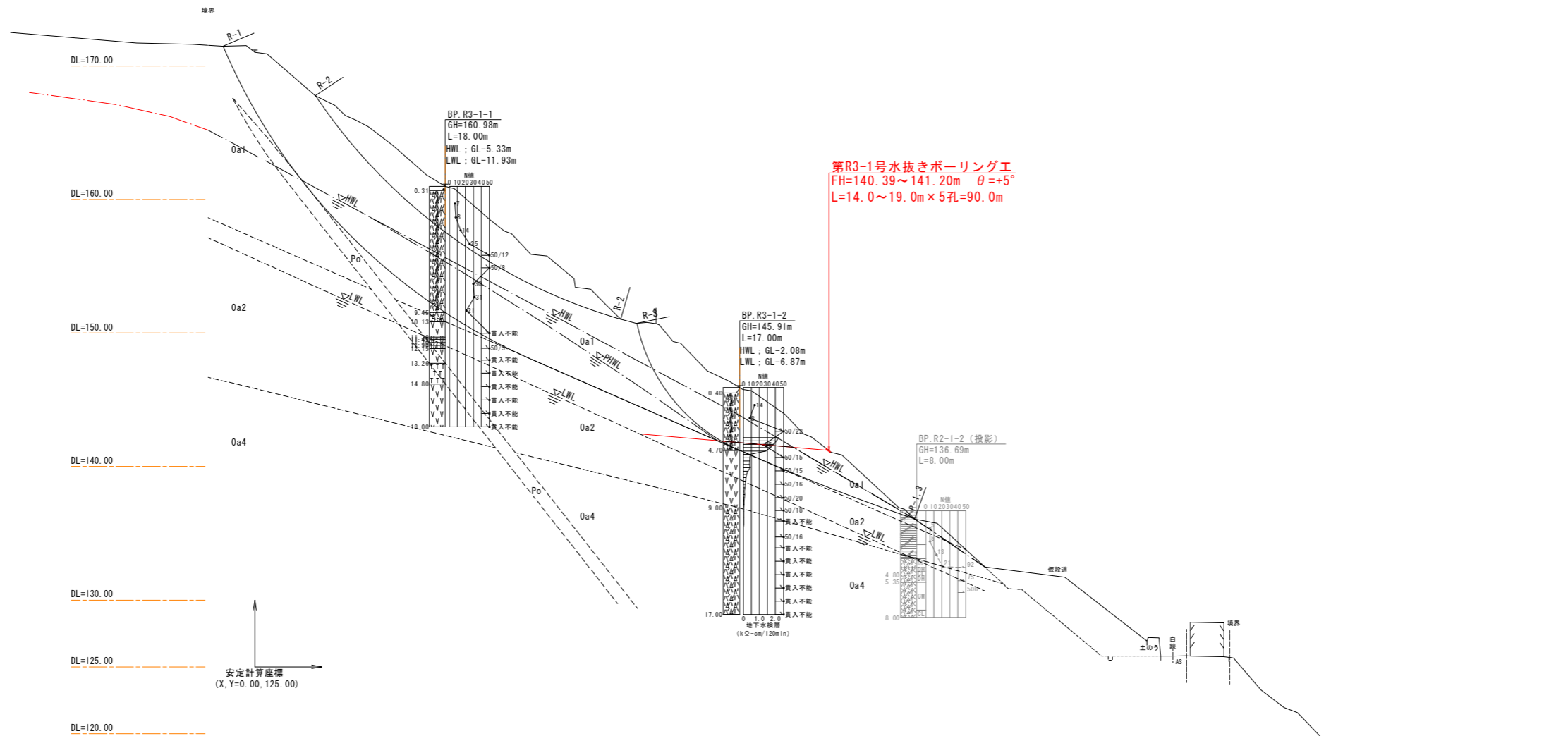
図面の名称		図面番号
計画平面図		1
縮尺 1:500		7
測量	令和 年 月 日終了	
設計		
製原図		
図複写		
地すべり対策事業 出雲第三期地区		
角谷工区 R3ブロック		

令和4年度 地すべり対策事業 八幡地区 地下水排除等工事 角谷工区

角谷工区 R3-1測線 地質断面図 S=1:200

地下水水位および安全率一覧表

円弧番号	調査時				対策工事計画						目標安全率	土質定数	
	LWL	Fs	HWL	Fs	PHWL	Fs	水抜きボーリング工	Fs	斜面改良工	Fs			アンカー工
1	BP.R3-1-1 GL-11.93m	1.22	BP.R3-1-1 GL-5.33m	1.00	BP.R3-1-1 GL-5.66m	1.06	第号 L=14~19.0m N=5孔 Σ?=90.0m θ=+5° FH=140.39~141.20m	1.21	第号 排土工 V=2.417m ³ 植土工 A=988m ² 吹付砕工 A=587m ²	1.2<	第号 Td=164.8kN/本 L=7~12.0m N=21本 Σ?=199.0m ctc=4.00m, θ=-35°	1.20 道路 河川	γt=18.0kN/m ³ , γsat=19.0kN/m ³ 【R-1】c=23.19kN/m ² , φ=25.00° 【R-2】c=6.64kN/m ² , φ=25.00° 【R-3】c=12.04kN/m ² , φ=25.00° ※地質・土質状況等からφ=25°を設定し、cを逆算
2		1.00		1.00		1.00							
3	BP.R3-1-2 GL-6.87m	1.27	BP.R3-1-2 GL-2.08m	1.00	BP.R3-1-2 GL-4.12m	1.15		1.15		1.22			



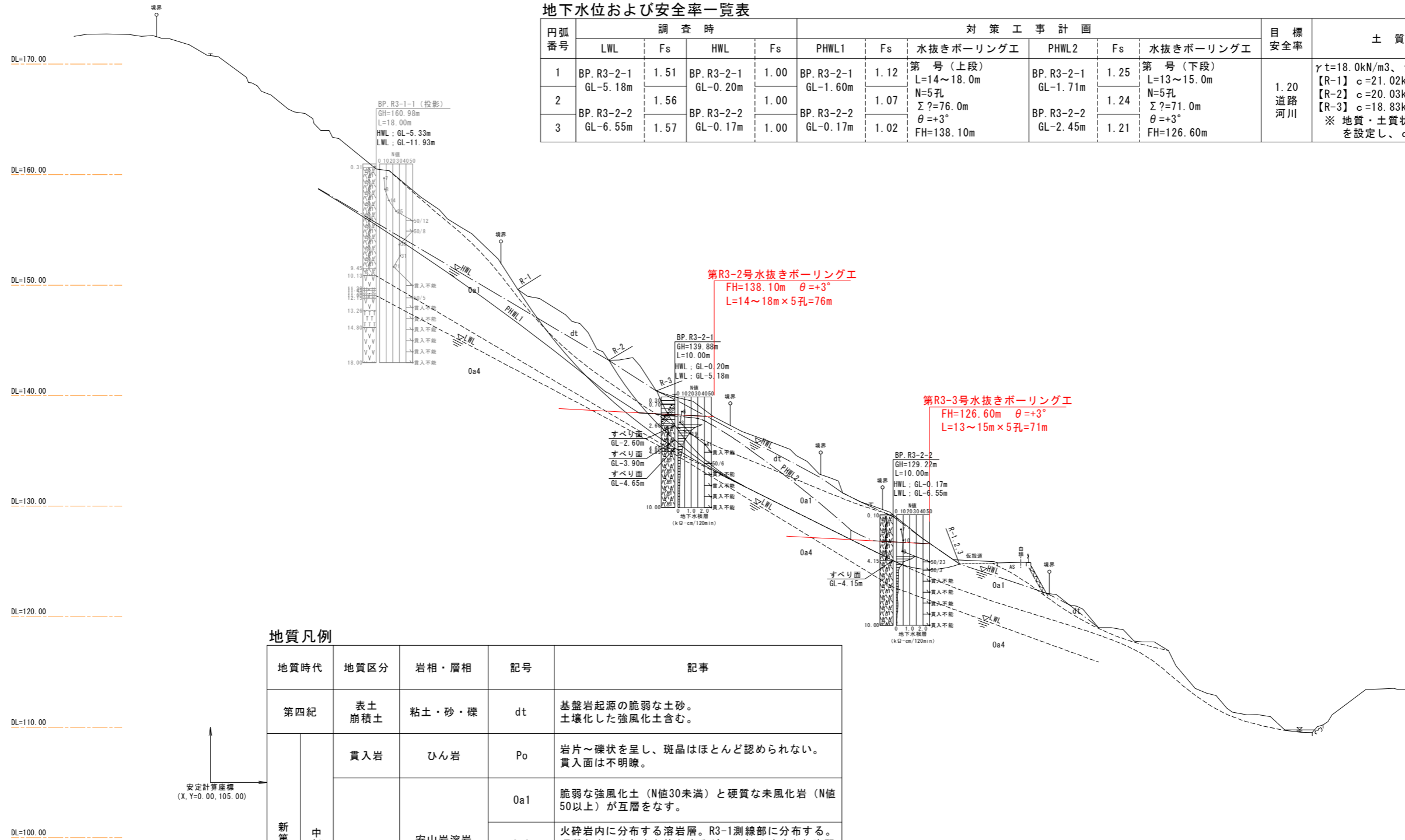
地質凡例

地質時代	地質区分	岩相・層相	記号	記事
第四紀	表土崩積土	粘土・砂・礫	dt	基盤岩起源の脆弱な土砂。土壌化した強風化土含む。
	貫入岩	ひん岩	Po	岩片～礫状を呈し、斑晶はほとんど認められない。貫入面は不明瞭。
新第三紀	中新世	大森層	Oa1	脆弱な強風化土（N値30未満）と硬質な未風化岩（N値50以上）が互層をなす。
			Oa2	火砕岩内に分布する溶岩層。R3-1測線部に分布する。硬質な未風化部を主体とするが、一部は破碎され脆弱化する。
			Oa3	Oa2の下部に分布し脆弱化著しく細礫状～固結土状を呈す強風化土。
			Oa4	N値50以上を示し不動層と考えられるが、斜面上部では亀裂の発達著しい。

令和4年度 地すべり対策事業 八幡地区外 地下水排除等工事 角谷工区	
図面の名称	図面番号
R3-1測線 地質断面図	2
縮尺	7
縮尺	1:200
測量	令和 年 月 日終了
設計	
製図	原図
図	複写
地すべり対策事業 出雲第三期地区	
角谷工区 R3ブロック	

令和4年度 地すべり対策事業 八幡地区 地下水排除等工事 角谷工区

角谷工区 R3-2測線 地質断面図 S=1:200



地下水位および安全率一覧表

円弧番号	調査時				対策工事計画						目標安全率	土質定数
	LWL	Fs	HWL	Fs	PHWL1	Fs	水抜きボーリング工	PHWL2	Fs	水抜きボーリング工		
1	BP.R3-2-1 GL-5.18m	1.51	BP.R3-2-1 GL-0.20m	1.00	BP.R3-2-1 GL-1.60m	1.12	第号(上段) L=14~18.0m N=5孔 Σ?=76.0m θ=+3° FH=138.10m	BP.R3-2-1 GL-1.71m	1.25	第号(下段) L=13~15.0m N=5孔 Σ?=71.0m θ=+3° FH=126.60m	1.20 道路 河川	γt=18.0kN/m ³ 、γsat=19.0kN/m ³ 【R-1】c=21.02kN/m ² 、φ=25.00° 【R-2】c=20.03kN/m ² 、φ=25.00° 【R-3】c=18.83kN/m ² 、φ=25.00° ※地質・土質状況等からφ=25°を設定し、cを逆算
2	BP.R3-2-2 GL-6.55m	1.56	BP.R3-2-2 GL-0.17m	1.00	BP.R3-2-2 GL-0.17m	1.07		BP.R3-2-2 GL-2.45m	1.24			
3	BP.R3-2-2 GL-6.55m	1.57	BP.R3-2-2 GL-0.17m	1.00	BP.R3-2-2 GL-0.17m	1.02		BP.R3-2-2 GL-2.45m	1.21			

地質凡例

地質時代	地質区分	岩相・層相	記号	記事
第四紀	表土崩積土	粘土・砂・礫	dt	基盤岩起源の脆弱な土砂。土壌化した強風化土含む。
	貫入岩	ひん岩	Po	岩片～礫状を呈し、斑晶はほとんど認められない。貫入面は不明瞭。
新第三紀	中新世	大森層	Oa1	脆弱な強風化土(N値30未満)と硬質な未風化岩(N値50以上)が互層をなす。
			Oa2	火砕岩内に分布する溶岩層。R3-1測線部に分布する。硬質な未風化部を主体とするが、一部は破碎され脆弱化する。
			Oa3	Oa2の下位に分布し脆弱化著しく細礫状～固結土状を呈す強風化土。
			Oa4	N値50以上を示し不動層と考えられるが、斜面上部では亀裂の発達著しい。

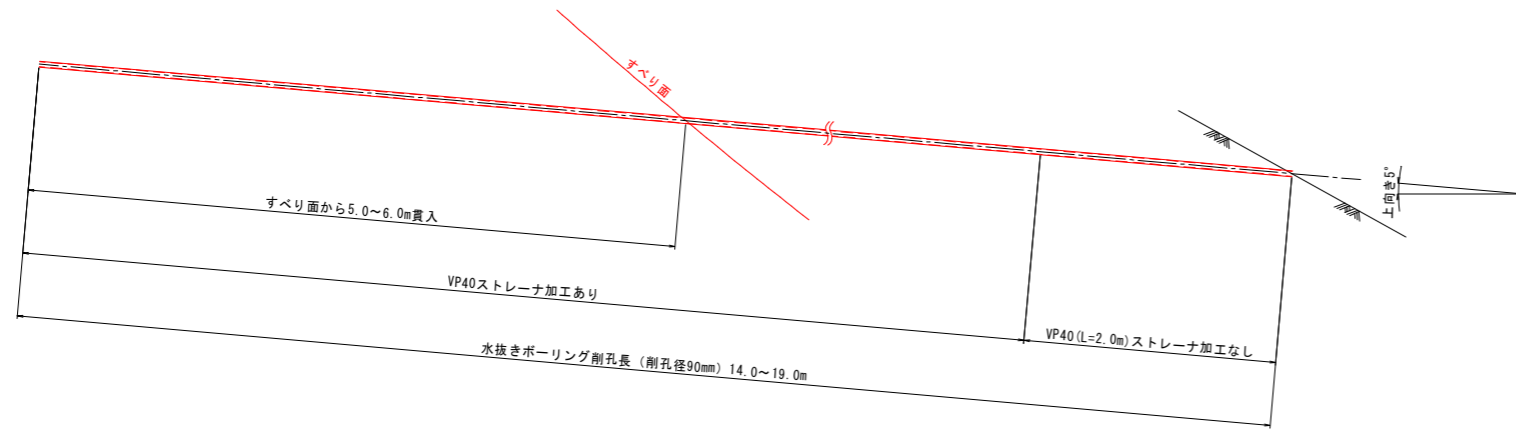
安定計算座標
(X, Y=0.00, 105.00)

令和4年度 地すべり対策事業 八幡地区外
地下水排除等工事 角谷工区

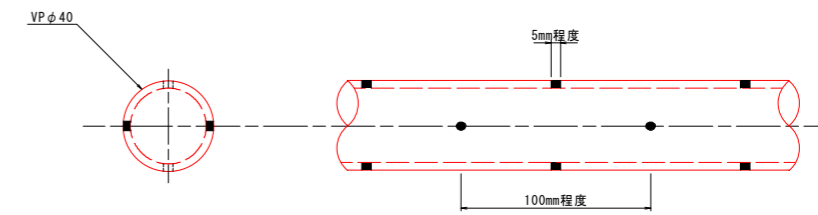
図面の名称	図面番号
R3-2測線 地質断面図	3
縮尺	1:200
測量	令和 年 月 日終了
設計	
製図	原図
図	複写
地すべり対策事業 出雲第三期地区	
角谷工区 R3ブロック	

水抜きボーリング工および孔口保護工標準図

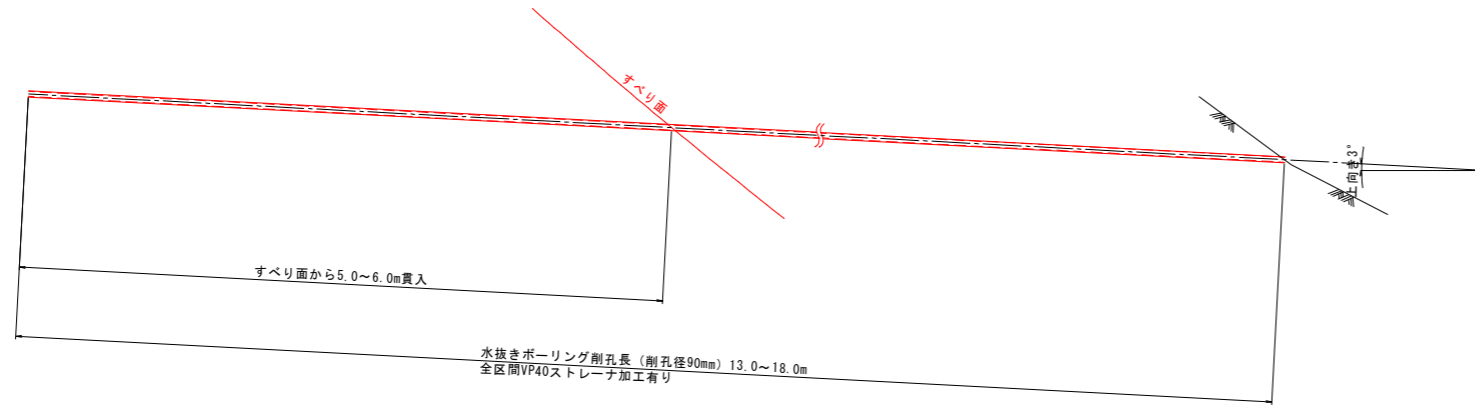
R3-1測線
第 号水抜きボーリング詳細図 S=1:30



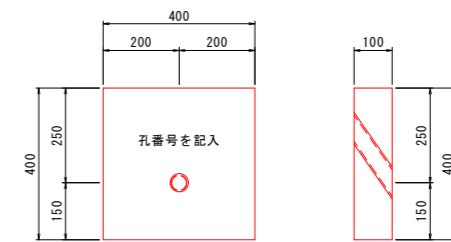
水抜きボーリング保孔管ストレーナ加工詳細図 S=1:2



R3-2測線
第 号水抜きボーリング詳細図 S=1:30



孔口保護板詳細図 S=1:10



数量表 (1箇所当たり)

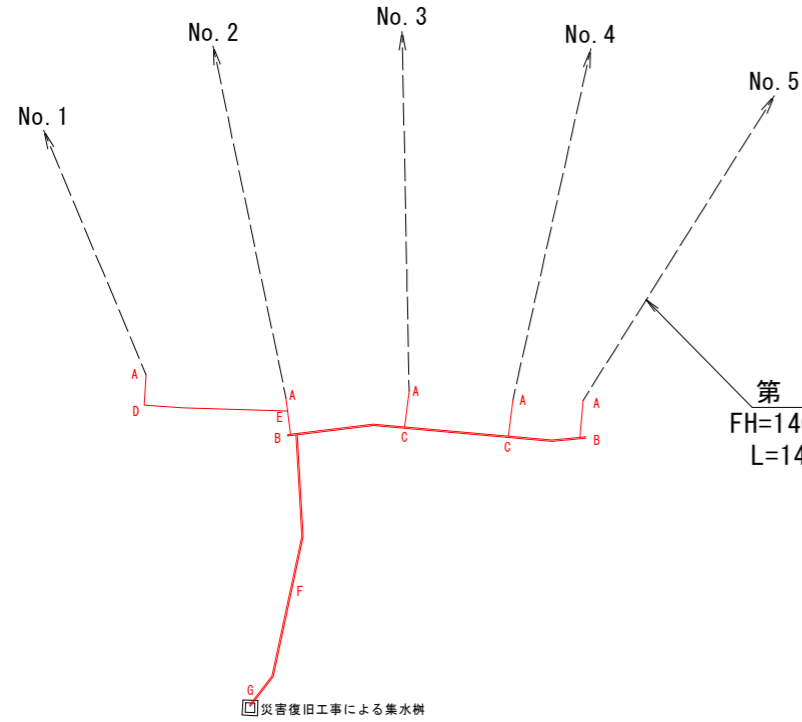
名称	規格	単位	数量
コンクリート	$\sigma_{ck}=18N/mm^2$	m ³	0.03
型枠	小型	m ²	0.20
掘削	土砂	m ³	0.03

令和4年度 地すべり対策事業 八幡地区外
地下水排除等工事 角谷工区

図面の名称		図面番号
水抜きボーリング工および 孔口保護工標準図		4
縮尺	図示	7
測量	平成 年 月 日 終了	
設計		
製原図		
図複写		
地すべり対策事業		
出雲第三期地区(見田原西)		

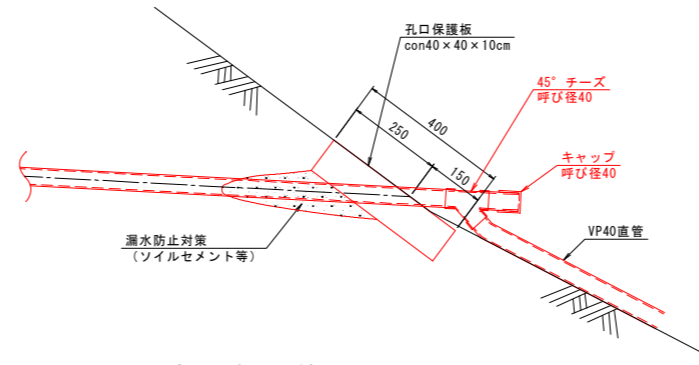
流末処理工 配管図および詳細図 (R3-1測線)

流末処理工配管図 S=1:400 (A3)



第 号水抜きボーリング工
 FH=140.39~141.20m $\theta = +5^\circ$
 L=14.0~19.0m \times 5孔=91.0m

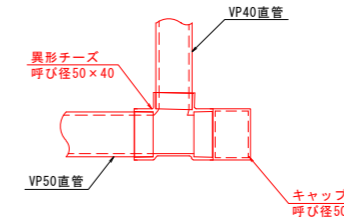
A箇所詳細図 S=1:10



数量表 (A箇所) (1箇所当たり)

名称	規格	単位	数量
キャップ	呼び径40	個	1
45° チーズ	呼び径40	個	1

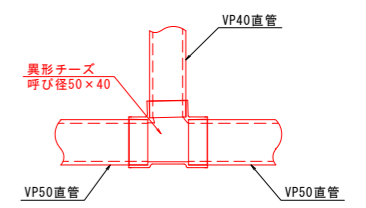
B箇所詳細図 S=1:5



数量表 (B箇所) (1箇所当たり)

名称	規格	単位	数量
キャップ	呼び径50	個	1
異形チーズ	呼び径50x40	個	1

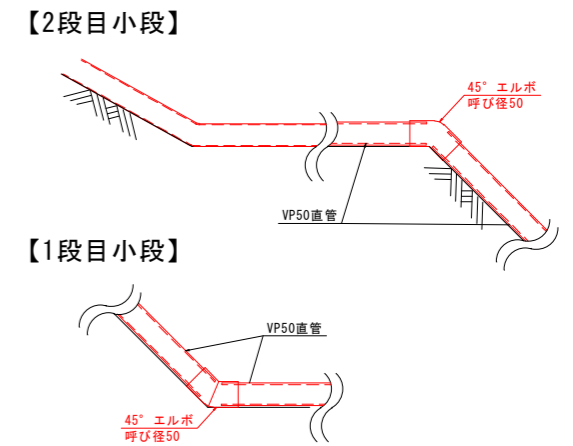
C箇所詳細図 S=1:5



数量表 (C箇所) (1箇所当たり)

名称	規格	単位	数量
異形チーズ	呼び径50x40	個	1

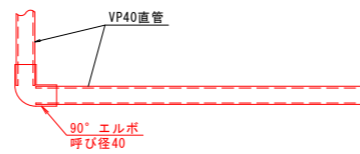
F箇所詳細図 S=1:10



数量表 (F箇所) (1箇所当たり)

名称	規格	単位	数量
45° エルボ	呼び径50	個	2

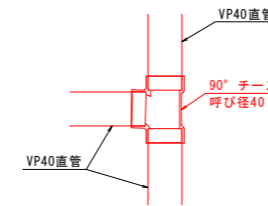
D箇所詳細図 S=1:10



数量表 (D箇所) (合計)

名称	規格	単位	数量
90° エルボ	呼び径40	個	1

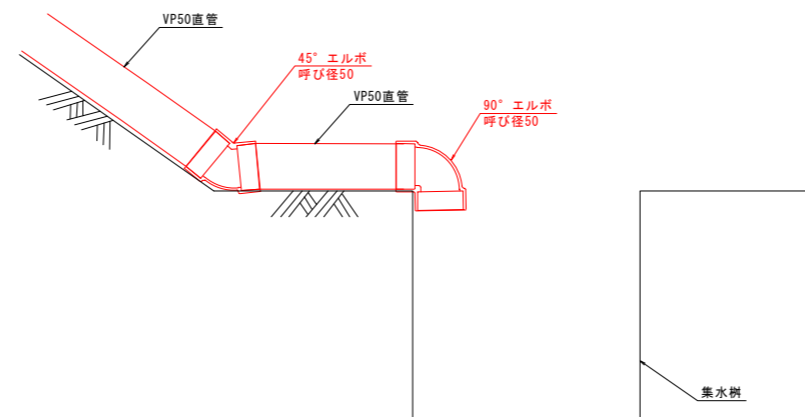
E箇所詳細図 S=1:5



数量表 (E箇所) (1箇所当たり)

名称	規格	単位	数量
90° チーズ	呼び径40	個	1

G箇所詳細図 S=1:5



数量表 (G箇所) (1箇所当たり)

名称	規格	単位	数量
90° エルボ	呼び径50	個	1
45° エルボ	呼び径50	個	1

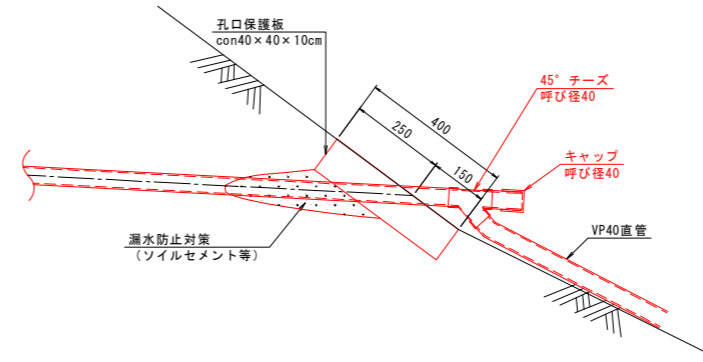
【流末処理工資材数量】

VP40 直管	17.0m
VP50 直管	30.8m
キャップ 呼び径40	5個
キャップ 呼び径50	2個
45° チーズ 呼び径40	5個
90° チーズ 呼び径40	1個
異形チーズ 呼び径50x40	4個
45° エルボ 呼び径50	3個
90° エルボ 呼び径40	1個
90° エルボ 呼び径50	1個

図面の名称		図面番号
流末処理工 配管図および詳細図 (R3-1測線)		5
縮尺 図示		7
測量	令和 年 月 日終了	
設計		
製原		
図複		
地すべり対策事業 出雲第三期地区		
角谷工区 R3ブロック		

流末処理工 配管図および詳細図 (R3-2測線)

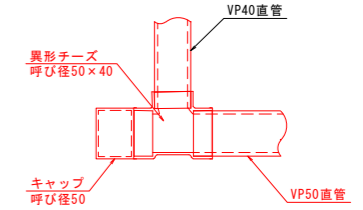
A箇所詳細図 S=1:10



数量表 (A箇所) (1箇所当たり)

名称	規格	単位	数量
キャップ	呼び径40	個	1
45° チーズ	呼び径40	個	1

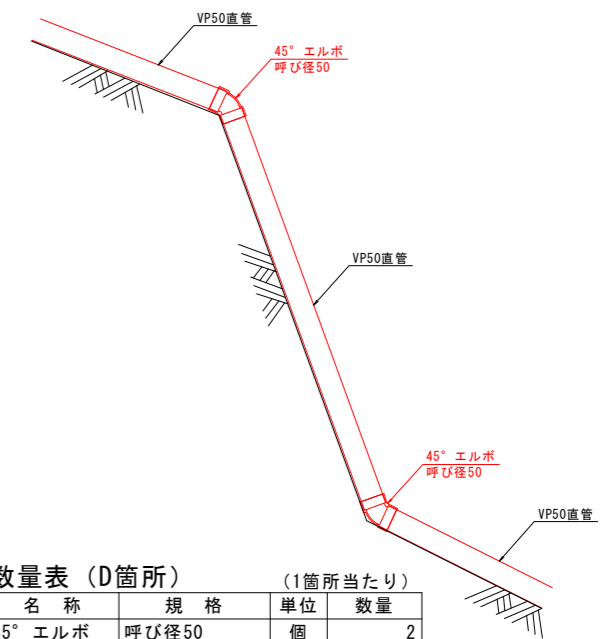
B箇所詳細図 S=1:5



数量表 (B箇所) (1箇所当たり)

名称	規格	単位	数量
キャップ	呼び径50	個	1
異形チーズ	呼び径50 x 40	個	1

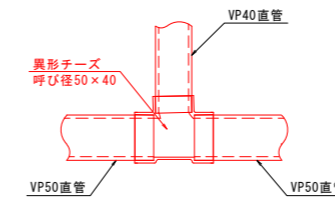
D箇所詳細図 S=1:10



数量表 (D箇所) (1箇所当たり)

名称	規格	単位	数量
45° エルボ	呼び径50	個	2

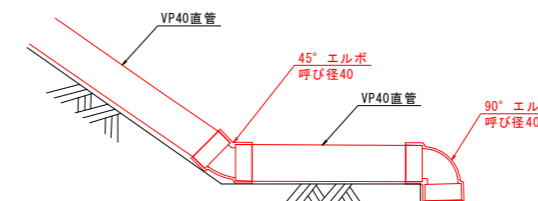
C箇所詳細図 S=1:5



数量表 (C箇所) (1箇所当たり)

名称	規格	単位	数量
異形チーズ	呼び径50 x 40	個	1

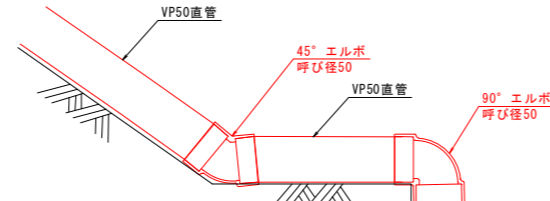
F箇所詳細図 S=1:5



数量表 (F箇所) (1箇所当たり)

名称	規格	単位	数量
90° エルボ	呼び径40	個	1
45° エルボ	呼び径40	個	1

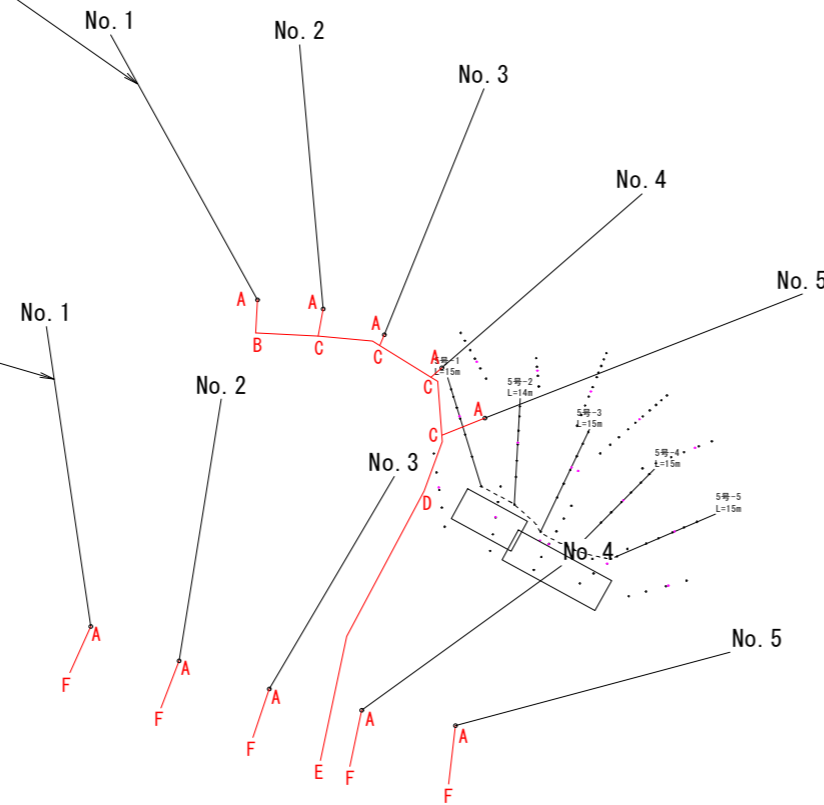
E箇所詳細図 S=1:5



数量表 (E箇所) (1箇所当たり)

名称	規格	単位	数量
90° エルボ	呼び径50	個	1
45° エルボ	呼び径50	個	1

流末処理工配管図 S=1:400 (A3)



第R3-2号水抜きボーリング工
FH=138.10m θ=+3°
L=14~18m x 5孔=76.0m

【上段Bor 流末処理工資材数量】

VP40 直管	6.8m
VP50 直管	31.5m
キャップ 呼び径40	5個
キャップ 呼び径50	1個
45° チーズ 呼び径40	5個
異形チーズ 呼び径50 x 40	5個
45° エルボ 呼び径50	3個
90° エルボ 呼び径50	1個

第R3-3号水抜きボーリング工
FH=126.60m θ=+3°
L=13~15m x 5孔=71.0m

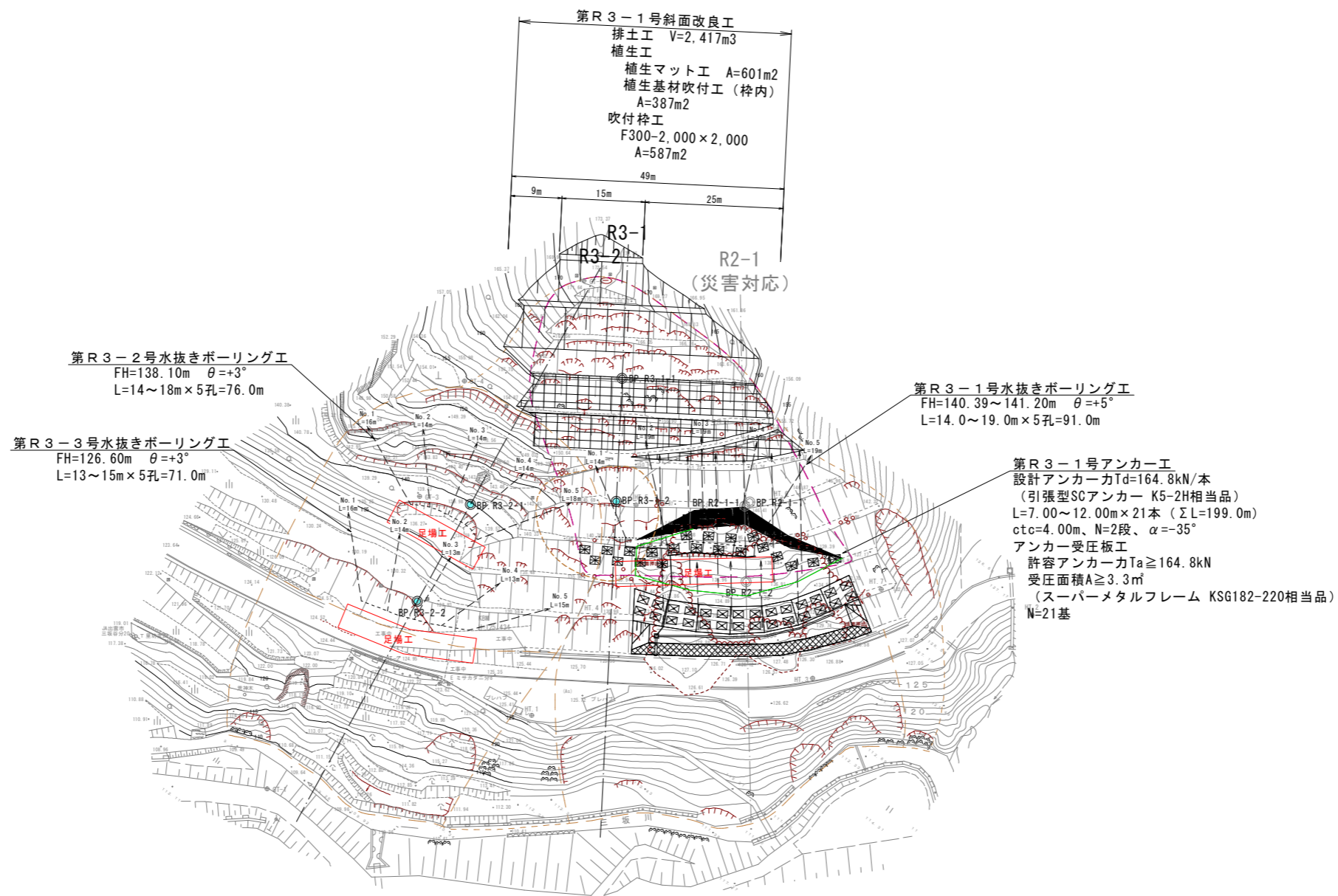
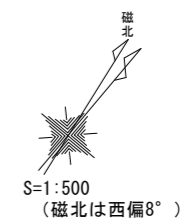
【下段Bor 流末処理工資材数量】

VP40 直管	13.9m
キャップ 呼び径40	5個
45° チーズ 呼び径40	5個
45° エルボ 呼び径40	5個
90° エルボ 呼び径40	5個

令和4年度 地すべり対策事業 八幡地区外
地下水排除等工事 角谷工区

図面の名称	図面番号
流末処理工配管図および詳細図 (R3-2測線)	6
縮尺 図示	7
測量	令和 年 月 日終了
設計	
製原図	
図複写	
地すべり対策事業 出雲第三期地区	
角谷工区 R3ブロック	

令和4年度 地すべり対策事業 八幡地区 地下水排除等工事 角谷工区
 仮設計画平面図【参考】



※本図面に記載した災害復旧工事による対策工(地山補強土工・水抜きボーリング工・アンカー工・法面整形工など)は計画図であるため、アンカー工施工にあたっては、出来形に合わせて詳細な配置を修正する必要がある。

令和4年度 地すべり対策事業 八幡地区外
 地下水排除等工事 角谷工区

図面の名称	図面番号
仮設計画平面図 参考	7
縮尺 1:500	7
測量	令和 年 月 日終了
設計	
製原図	
図複写	
地すべり対策事業 出雲第三期地区	
角谷工区 R3ブロック	

令和4年度 地すべり対策事業 八幡地区外 地下水排除等工事 山寄

対策工事平面図 R2-1ブロック



S=1:500 (A1)
S=1:1000 (A3)

【施工済】

1号応急浸透防止工

耐候性土木シート A=145.6m²
ホリエレン管400 L=28.0m
防水シート A=100.8m²

第1号承水路工

BF300 L=51.6m
ホリエレン角型U字溝300 L=17.4m
全円コゲート400 L=14.2m
集水樹 3箇所
止水壁 1基

【修正設計】

掘削 V=61.3m³
植生マット A=179.2m²
丸太筋工 L=16+17+32+32+7=104m

第2号法面工【修正設計】

掘削 V=70.8m³
盛土 V=47.5m³
植生マット A=68.8m²
植生シート A=71.8m²
フトンカゴ工 L=10m

第1号排水路工

ホリエレン角型U字溝400 L=129.2m
有孔管 L=129.2m
全円コゲート400 L=3.5m
集水樹 7箇所
取付水路
UF400 L=31.8m
波型ホリエレン管φ350 L=10.1m
落ち蓋式U型側溝3種300A L=2.9m
集水樹 6箇所

総面改良工

第1号排水路工
掘削 V=67.7m³ A=491.7m²
植生マット A=167.0m²
盛土 V=167.0m³
植生シート A=213.1m²
フトンカゴ工 L=100.0m

水路復旧工

UF350 L=4.0m

第2号水抜きボーリング工

L=42~55m × 6本=306m
θ=+3°
孔口標高 H=85.00m

第2号水抜きボーリング工

L=50~63m × 6本=321m
θ=+3°
孔口標高 H=85.00m
孔口保護 保護板 6枚

第1号流末水路工

BF300 L=26.0m
集水樹 1箇所

R2-1(解析測線)

第2号流末水路工

BF300 L=22.9m

第3号水抜きボーリング工

L=41~68m × 12本=683m
θ=+3°
孔口標高 H=80.50m
孔口保護
フトンカゴ L=3.0m × 2段=6.0m
L=16.0m × 4段=64.0m

第4号水抜きボーリング工

ボーリング番号	掘進長	掘進方位	孔口間隔	勾配	孔口標高
4NO.1	16.00m	S 48.0° E	1.00m	+3°	81.15m
4NO.2	16.00m	S 15.0° E	1.00m		
4NO.3	16.00m	S 4.0° W	1.00m		
4NO.4	16.00m	S 36.5° W	1.00m		

ΣL= 64.00m (※孔口から2m間はストレーナ加工を設けない)
※世界測地系真北基準の方位であり、磁北は7°西に偏する。

第5号水抜きボーリング工

ボーリング番号	掘進長	掘進方位	孔口間隔	勾配	孔口標高
5NO.1	12.00m	S 4.0° E	4.00m	+3°	74.80m
5NO.2	12.00m	S 25.0° W			
5NO.3	12.00m	S 30.5° E			
5NO.4	12.00m	S 0.5° E			

ΣL= 48.00m (※孔口から2m間はストレーナ加工を設けない)
※世界測地系真北基準の方位であり、磁北は7°西に偏する。

【施工済】

第1号応急水抜きボーリング工

L=22~61m × 8本=337m
θ=+3°
孔口保護板 8枚
孔口標高 H=98.00m

第1号法面工

掘削 V=119.3m³
植生マット A=123.9m²

第1号集水井工

φ3500mm h=11.0m
上段集水ホリリング
L=46~70m × 11本=682m
θ=+3°
孔口標高 H=91.50m
下段集水ホリリング
L=41~63m × 14本=754m
θ=+3°
孔口標高 H=88.3m
排水ホリリング
L=70.8m、θ=-5.5°

第1号ため池開削工【修正設計】

ホリエレン角型U字溝300 L=8.7m
フトンカゴ工
L=2.0m × 2基=4.0m
止水壁 1基
BF300 L=7.5m、集水樹 1箇所
盛土 V=66.5m³
植生マット A=23.5m²

第4号水抜きボーリング工

L=16.0m × 4本=64.0m
θ=+3°
孔口標高 H=81.15m
孔口保護 フトンカゴ
L=3.0m × 3段 × 2箇所= 18.0m

【施工済】

2号応急浸透防止工

植生マット A=26.9m²
じゃかご600 L=8.0m
ホリエレン管300 L=44.9m

第4号流末水路工

UF200 L=15.4m

第5号水抜きボーリング工

L=12.0m × 4本=48.0m
θ=+3°
孔口標高 H=74.80m
孔口保護
保護板 4枚

幹線排水路補修工

カゴマット
4段 × ΣL=177.2m

第2号土工

掘削 V=324.3m³
植生マット A=164.9m²

第1号ため池排水路工

ホリエレン角型U字溝300 L=19.9m
波型ホリエレン管φ300 L=29.6m
集水樹 3箇所

凡例

踏査結果	説明
	滑動ブロック
	地すべり方向
	滑落段差、崩壊
	沈下・亀裂・小段差
	亀裂
	押し出しに伴う倒木
	湧水
調査事項	説明
	解析測線
	調査ボーリング (パイプ計・地下水検層)

対策工凡例

	水抜きボーリング工
	集水井工
	孔口保護工 (フトンカゴ)
	切土工・植生工
	盛土
	水路工

令和4年度 地すべり対策事業
八幡地区外 地下水排除等工事 山寄
R2-1、R2-2'の7

図面の名称	図面番号
対策工事平面図	2/8

縮尺 : 1/500 (A1), 1/1,000 (A3)

測量	令和 年 月 日終了
設計	
製図	原図
図写	複写

令和4年度 地すべり対策事業 八幡地区外 地下水排除等工事 山寄R2-1

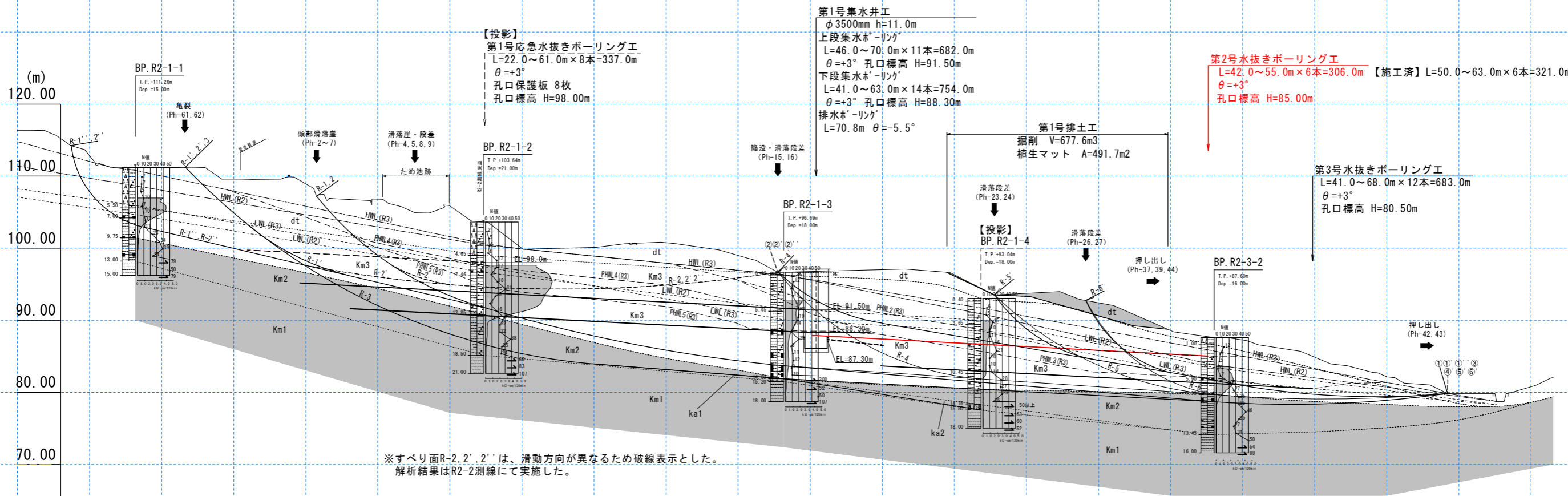
解析断面図 R2-1測線

R3観測結果に基づく安定解析の再検討

山寄地区R2-1測線 安全率一覧表

円弧No.	低水位		高水位		応急対策工事			対策工事										目標安全率	土質定数			
	LWL (R3)	Fs	HWL (R3)	Fs	PHWL1	第1号応急水抜きボアリング工	Fs	PHWL2	第2号水抜きボアリング工	Fs	PHWL3	第3号水抜きボアリング工	Fs	PHWL4	第1号集水井	Fs	PHWL5			Fs	PHWL5	第1号排土工
R-1	BP. R2-1-1 GL-5.25m	1.20	GL-0.40m	0.98	GL-0.40m	L=22.0~61.0m×8本 =337.0m θ=+3° 孔口保護板 8枚 孔口標高 H=98.00m	0.98	GL-0.40m	L=42.0~63.0m×12本 =683.0m θ=+3° 孔口標高 H=85.00m 孔口保護板 6枚	1.04	GL-0.40m	L=41.0~68.0m×12本 =683.0m θ=+3° 孔口標高 H=80.50m 孔口保護板 6枚	1.13	GL-0.40m	φ3500mm h=11.0m 上段集水井-リング (PHWL4) L=46.0~70.0m×11本 =682.0m θ=+3° 孔口標高 H=91.50m 下段集水井-リング (PHWL5) L=41.0~63.0m×14本 =754.0m θ=+3° 孔口標高 H=88.30m 排水ボアリング L=70.8m, θ=-5.5°	1.20	GL-0.40m	1.27	GL-0.40m	掘削 V=677.6m³ 植生マット A=491.7m²	1.27	γt=γsat=17.70 kN/m³ C=10.64 kN/m² φ=9.57°
R-1'	BP. R2-1-2 GL-6.18m	1.21	GL-3.01m	0.98	GL-3.01m		0.98	GL-3.01m		1.04	GL-3.01m		1.12	GL-3.01m		1.19	GL-0.40m	1.25	GL-0.40m		1.24	γt=γsat=17.70 kN/m³ C=10.63 kN/m² φ=10.09°
R-1''	BP. R2-1-3 GL-6.61m	1.22	GL-0.39m	1.00	GL-0.39m		0.98	GL-3.01m		1.03	GL-3.01m		1.10	GL-6.01m		1.17	GL-8.80m	1.22	GL-8.80m		1.22	γt=γsat=17.70 kN/m³ C=10.71 kN/m² φ=9.80°
R-3	BP. R2-1-4 (GL-4.54m)	1.29	GL-1.33m	0.98	(GL-1.33m)		1.00	GL-2.87m		1.05	GL-3.91m		1.13	GL-5.05m		1.19	GL-8.05m	1.25	GL-8.05m		1.24	γt=γsat=17.70 kN/m³ C=12.22 kN/m² φ=10.30°
R-4'	BP. R2-3-2 GL-5.87m	1.31	GL-1.86m	0.98	GL-1.86m		0.98	(GL-4.33m)		1.15	(GL-7.33m)		1.30	(GL-7.33m)		1.30	(GL-7.33m)	1.30	(GL-7.33m)		1.31	γt=γsat=17.70 kN/m³ C=5.88 kN/m² φ=9.91°
R-5'		1.34		0.98			0.98	GL-2.60m		1.10	GL-5.60m		1.29	GL-5.60m		1.29	GL-5.60m	1.29	GL-5.60m		1.37	γt=γsat=17.70 kN/m³ C=5.21 kN/m² φ=12.52°
R-6'				0.98			0.98			1.05			1.29			1.29		1.29		1.53	γt=γsat=17.70 kN/m³ C=5.00 kN/m² φ=13.33°	

※ R3観測において、明瞭な集中豪雨によりR2設計時を上回る高水位HWL(R3)が確認されたため、解析の再検討を行った。
 ・計画水位PHWLは、施工順序にあわせて再設定をしている(第2号水抜き→PHWL2、第3号水抜き→PHWL3、第1号集水井→PHWL4(上段)、PHWL5(下段))。
 ・BP. R2-1-4地点は投影のため、水位はBP. R2-1-4~BP. R2-2-1間の水位とR2-1解析測線との交点における水位である。
 ・なお、第1号応急水抜きボアリング施工後の集中豪雨時の高水位HWL(R3)を確認したため、計画水位(PHWL1)はHWL(R3)と同じとなる。



※すべり面R-2.2', 2.2'は、滑動方向が異なるため破線表示とした。
 解析結果はR2-2測線にて実施した。

※すべり面R-4', R-5', R-6'に関しては、R2-2測線においても解析を検討した。

R2-1測線 孔内水位一覧表

円弧No.	令和2年度 調査時水位 (GL-m)				令和3年度 調査時水位 (GL-m)			
	R2.8.27~R3.1.31(157日間)				R3.5.1~R3.12.9(222日間)			
	低水位 LWL(R2)	高水位 HWL(R2)	変動量 (m)	変動量 (m)	低水位 LWL(R3)	高水位 HWL(R3)	変動量 (m)	HWL(R2) との比較
BP. R2-1-1	6.55	2.54	4.01	5.25	0.40	4.85	2.14	
BP. R2-1-2	6.98	3.20	3.78	6.18	3.01	3.17	0.19	
BP. R2-1-3	5.06	0.38	4.68	6.61	0.39	6.22	0.01	
BP. R2-1-4	3.67	2.52	1.15	5.73	1.21	4.52	1.31	
BP. R2-1-5	3.87	3.13	0.74	4.48	0.67	3.81	2.46	
BP. R2-2-1	0.96	0.49	0.47	1.56	0.45	1.11	0.04	
BP. R2-3-1	9.29	7.58	1.71	12.05	6.60	5.45	0.98	
BP. R2-3-2	4.14	3.78	0.36	5.87	1.86	4.01	1.92	
降水条件	総降水量 615mm				総降水量 1,540mm			
	最大日降水量 65mm (R2.9.11)				最大日降水量 157mm (R3.8.9)			
	連続降水量 109mm (R2.9.11~9.14)				連続降水量 289mm (R3.7.7~7.12)			
					連続降水量 384mm (R3.8.9~8.14)			

※降水量: 「土砂災害警戒リアルタイム雨量 神奈川観測所」のデータによる

山寄地区の地質構成

地質時代	地質名	土質・岩級	記号	N値	地質状況	
第四紀	全新世	表土及び崖堆積物	砂混じり粘土 礫混じり粘土	dt	2~10	木片、礫を不均質に混入する泥岩起源の礫混じり粘土主体である。硬質な火山礫を含むことがあり、層厚は最大5.5m程度に及ぶ。
		強風化泥岩	粘性土	Km3	3~23	風化が著しく進行した泥岩であり、全体に軟質箇所が多い。層厚は最大で15m程度となり、上位層は酸化により褐色を帯びることが多い。
第三紀	中新世	風化泥岩	固結粘土	Km2	16~46	上位層と比較して固結度が高く軟質箇所は少ないが、すべりの痕跡となるスリッケンサイドが見られる箇所がある。層厚は最大で6m程度となる。
		強風化火山礫凝灰岩	礫・礫質粘土	Ka2	7~20	全体に含水比が高く、軟質であることが多い。BP. R2-3-1~R2-1-4区間において確認される。
		火山礫凝灰岩	軟岩	Ka1	300, 不能	非常に堅硬な柱状コアとして採取される。主にBP. R2-3-1の基礎として確認される。
		泥岩	軟岩	Km1	50~107	棒状~柱状コアとして採取されるがやがれ亀裂質であり、凝灰岩を挟在することが多い。軟質箇所は見られない。

令和4年度 地すべり対策事業 八幡地区外 地下水排除等工事 山寄R2-1 R2-1ブロック

図面の名称		図面番号
R2-1測線 解析断面図		3
縮尺: 1/300(A1), 1/600(A3)		8
測量	令和 年 月 日 終了	
設計		
製図	原図	
図	模写	

令和4年度 地すべり対策事業 八幡地区外 地下水排除等工事 山寄R2-1

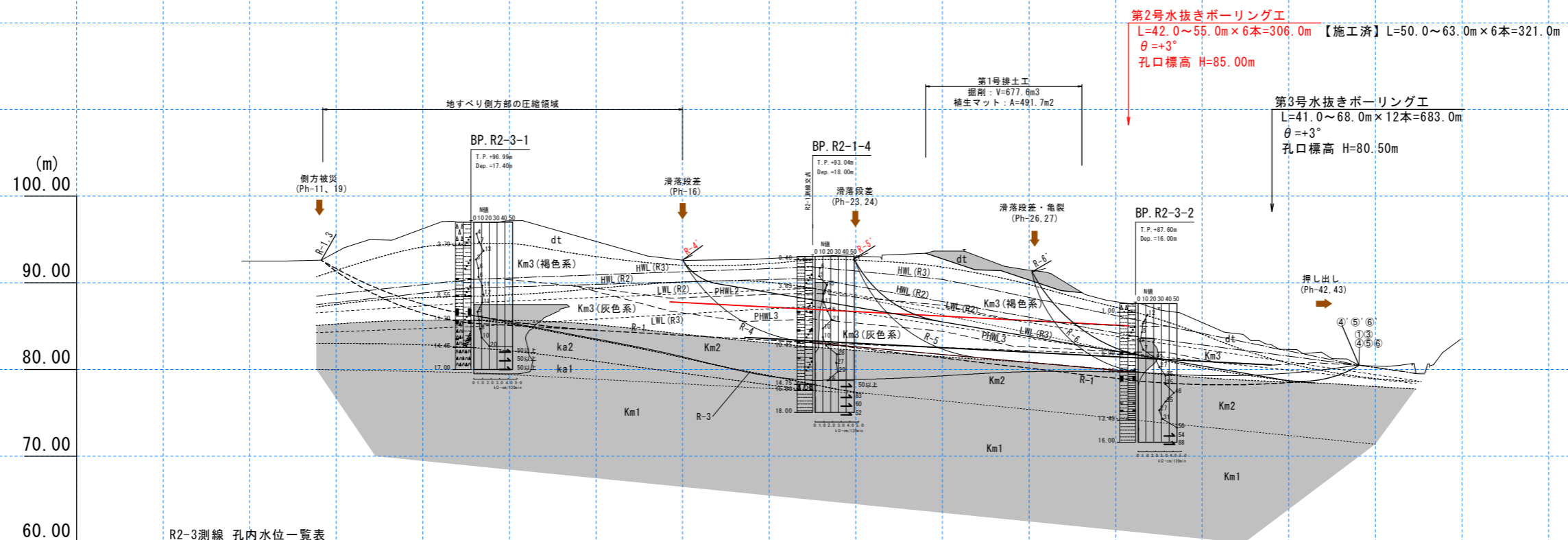
R3観測結果に基づく安定解析の再検討

解析断面図 R2-3測線

山寄地区R2-3測線 安全率一覧表

円弧No.	低水位		高水位		対策工事						目標安全率	土質定数			
	LWL (R3)	Fs	HWL (R3)	Fs	PHWL2	第2号水抜きポ-リング工	Fs	PHWL3	第3号水抜きポ-リング工	Fs			PHWL3	第1号排土工	Fs
R-4'	BP.R2-3-1 GL-12.05m	1.35	GL-6.60m	0.98	GL-6.60m	L=42.0~63.0m×12本 =627.0m θ=+3° 孔口標高 H=85.00m 孔口保護 保護板6枚	1.16	GL-6.60m	L=41.0~68.0m×12本 =883.0m θ=+3° 孔口標高 H=80.50m 孔口保護 フタ付	1.33	GL-6.60m	掘削 V=677.6m³ 植生マット A=491.7m²	1.36	1.20	γt=γsat=17.70 kN/m³ C=5.27 kN/m² φ=9.21°
R-5'	BP.R2-1-4 GL-5.73m	1.40	GL-1.21m	0.98	GL-4.21m		1.14	GL-7.21m		1.37	GL-7.21m				γt=γsat=17.70 kN/m³ C=5.51 kN/m² φ=12.68°
R-6'	BP.R2-3-2 GL-5.87m	1.43	GL-0.45m	0.98	GL-2.60m		1.05	GL-5.60m		1.37	GL-5.60m				γt=γsat=17.70 kN/m³ C=5.00 kN/m² φ=16.95°

※・R3観測において、明確な集中豪雨によりR2設計時を上回る高水位HWL(R3)が確認されたため、解析の再検討を行った。
・計画水位PHWLは、施工順序にあわせて再設定をしている(第2号水抜き→PHWL2、第3号水抜き→PHWL3、第1号集水弁工→PHWL4(上段)、PHWL5(下段))。



R2-3測線 孔内水位一覧表

孔内水位	令和2年度 調査時水位 (GL-m)				令和3年度 調査時水位 (GL-m)			
	R2.8.27~R3.1.31 (157日間)				R3.5.1~R3.12.9 (222日間)			
	低水位 LWL (R2)	高水位 HWL (R2)	変動量 (m)	HWL (R2) との比較	低水位 LWL (R3)	高水位 HWL (R3)	変動量 (m)	HWL (R2) との比較
BP.R2-3-1	9.29	7.58	1.71	12.05	6.60	5.45	0.98 ↓	
BP.R2-1-4	3.67	2.52	1.15	5.73	1.21	4.52	1.31 ↑	
BP.R2-3-2	4.14	3.78	0.36	5.87	1.86	4.01	1.92 ↑	
降水条件	総降水量 615mm				1,540mm			
最大降水量	最大日降水量 55mm (R2.9.11)				最大日降水量 157mm (R3.8.9)			
連続降水量	最大連続降水量 109mm (R2.9.11~9.14)				連続降水量 289mm (R3.7.7~7.12)			
					384mm (R3.8.8~8.14)			

※降水量:「土砂災害警戒リアルタイム雨量 稗原観測所」のデータによる

山寄地区の地質構成

地質時代	地質名	土質・岩級	記号	N値	地質状況
第四紀 完新世	表土及び崖堆積物	砂混じり粘土 礫混じり粘土	dt	2~10	木片、礫を不均質に混入する泥岩起源の礫入り粘土主体である。硬質な火山礫を含むことがあり、層厚は最大5.5m程度に及ぶ。
	強風化泥岩	粘性土	Km3	3~23	風化が著しく進行した泥岩であり、全体に軟質箇所が多い。層厚は最大で15m程度となり、上位層は酸化により褐色を帯びることが多い。
第三紀 中新世 久利層	風化泥岩	固結粘土	Km2	16~46	上位層と比較して固結度が高く軟質箇所は少ないが、すべりの痕跡となるスリッペンサイドが見られる箇所がある。層厚は最大で6m程度となる。
	強風化火山礫凝灰岩	礫・礫質粘土	Ka2	7~20	全体に含水比が高く、軟質であることが多い。BP.R2-3-1~R2-1-4区間において確認される。
	火山礫凝灰岩	軟岩	Ka1	300.不能	非常に堅硬な柱状コアとして採取される。主にBP.R2-3-1の基盤として確認される。
	泥岩	軟岩	Km1	50~107	棒状~柱状コアとして採取されるがやや亀裂質であり、凝灰岩を挟入することが多い。軟質部は見られない。

令和4年度 地すべり対策事業
八幡地区外 地下水排除等工事 山寄R2-1
R2-1ブロック

図面の名称	図面番号
R2-3測線 解析断面図	4 / 8
縮尺: 1/300(A1), 1/600(A3)	
測量	令和 年 月 日終了
設計	
製図	
原図	
複写	

令和4年度 地すべり対策事業 八幡地区外 地下水排除等工事 山寄R2-4

第1号ため池開削工【修正設計】

ホリエチン角型U字溝300 L=8.7m
 フトンカゴ工
 L=2.0m×2基=4.0m
 止水壁 1基
 BF300 L=7.5m、集水柵 1箇所
 盛土 V=66.5m³
 植生マット A=23.5m²

第4号水抜きボーリング工

L=16.0m×4本=64.0m
 θ=+3°
 孔口標高 H=81.15m
 孔口保護 フトンカゴ
 L=3.0m×3段×2箇所=18.0m

【施工済】

2号応急浸透防止工

植生マット A=26.9m²
 じゃかご600 L=8.0m
 ホリエチン管300 L=44.9m

第4号流末水路工
 UF200 L=15.4m

第5号水抜きボーリング工

L=12.0m×4本=48.0m
 θ=+3°
 孔口標高 H=74.80m
 孔口保護
 保護板 4枚

幹線排水路補修工
 カゴマット
 4段・ΣL=177.2m

第2号排土工
 掘削 V=324.3m³
 植生マット A=164.9m²

第1号ため池排水路工
 ホリエチン角型U字溝300 L=19.9m
 波型ホリエチン管φ300 L=29.6m
 集水柵 3箇所

凡例

踏査結果	滑動ブロック
	地すべり方向
	滑落段差、崩壊
	沈下・亀裂・小段差
	亀裂
	押し出しに伴う倒木
	湧水
調査事項	解析測線
	調査ボーリング (パイプ計針・地下水検筒)

対策工凡例

	水抜きボーリング工
	集水井工
	孔口保護工 (フトンカゴ)
	切土工・植生工
	盛土
	水路工

第4号水抜きボーリング工

ボーリング番号	掘進長	掘進方位	孔口間隔	勾配	孔口標高
4NO.1	16.00m	S 48.0° E	1.00m	+3°	81.15m
4NO.2	16.00m	S 15.0° E			
4NO.3	16.00m	S 4.0° W	-		
4NO.4	16.00m	S 36.5° W	1.00m		
ΣL= 64.00m (※孔口から2m間はストレーナ加工を設けない)					

※世界測地系真北基準の方位であり、磁北は7°西に偏移する。

第5号水抜きボーリング工

ボーリング番号	掘進長	掘進方位	孔口間隔	勾配	孔口標高
5NO.1	12.00m	S 4.0° E	4.00m	+3°	74.80m
5NO.2	12.00m	S 25.0° W			
5NO.3	12.00m	S 30.5° E	-		
5NO.4	12.00m	S 0.5° E	4.00m		
ΣL= 48.00m (※孔口から2m間はストレーナ加工を設けない)					

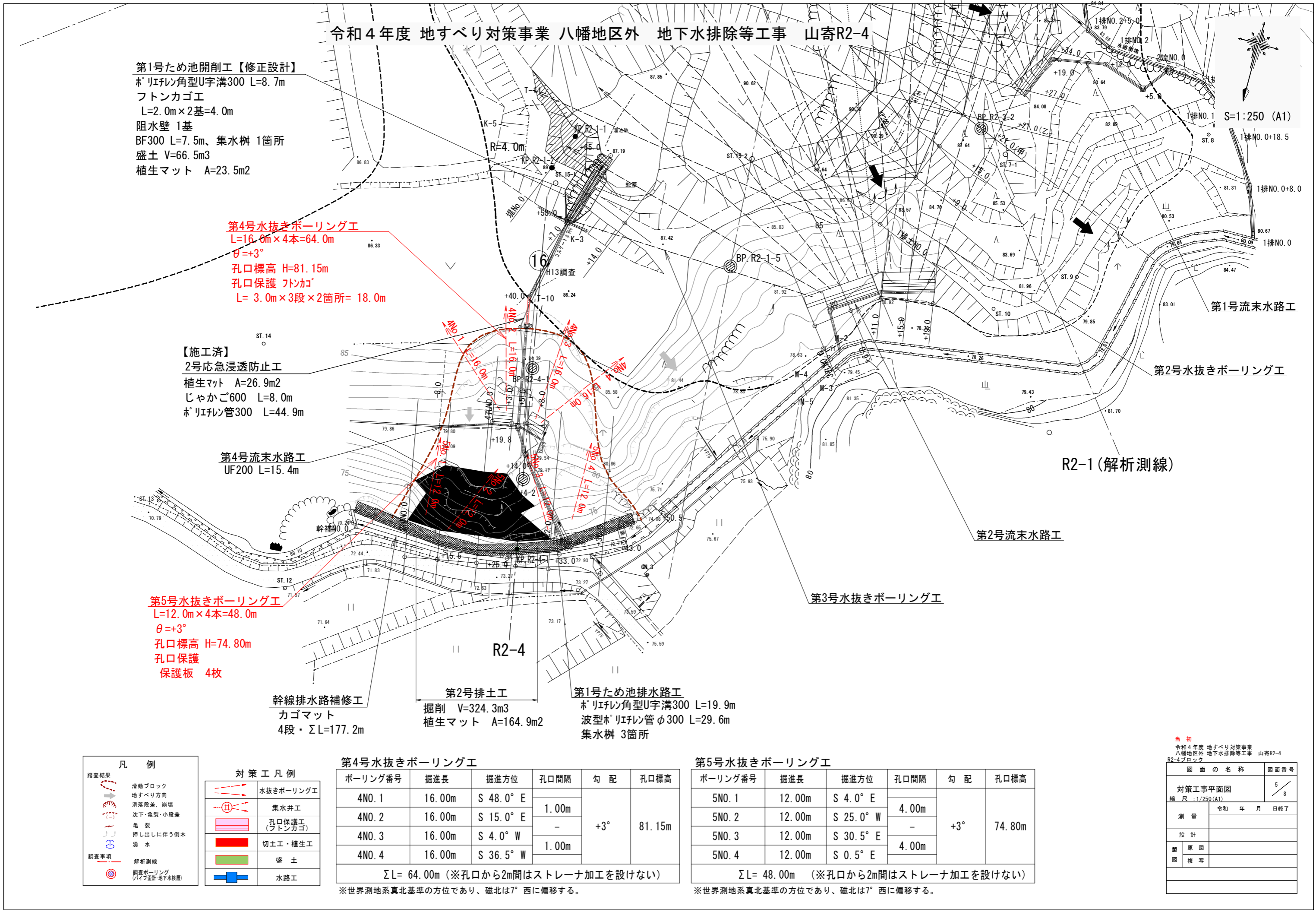
※世界測地系真北基準の方位であり、磁北は7°西に偏移する。

当初
 令和4年度 地すべり対策事業
 八幡地区外 地下水排除等工事 山寄R2-4
 R2-4ブロック

図面の名称	図面番号
対策工事平面図	5/8
縮尺: 1/250(A1)	
測量	令和 年 月 日終了
設計	
製図	原図
図	複写

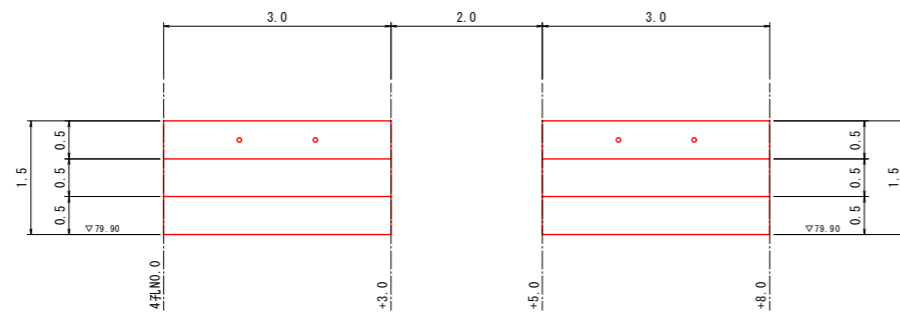


S=1:250 (A1)

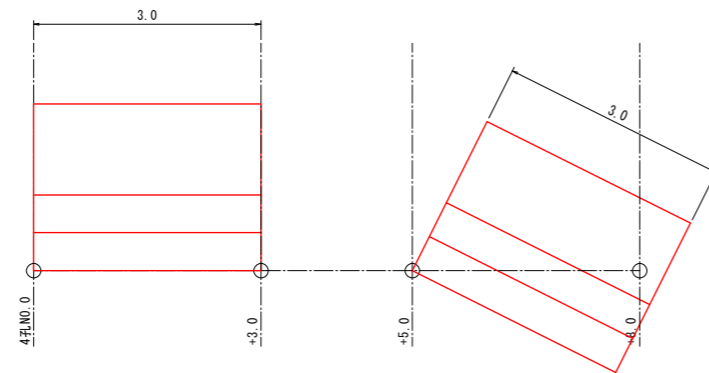


孔口保護工構造図 (第4号フトンカゴエ)

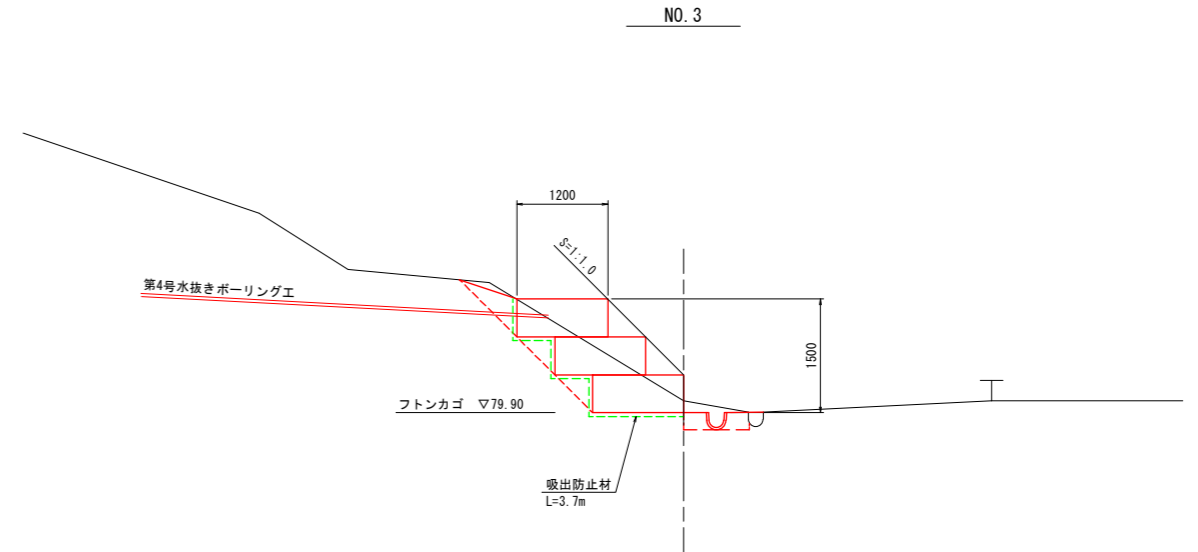
正面図



平面図



標準断面図



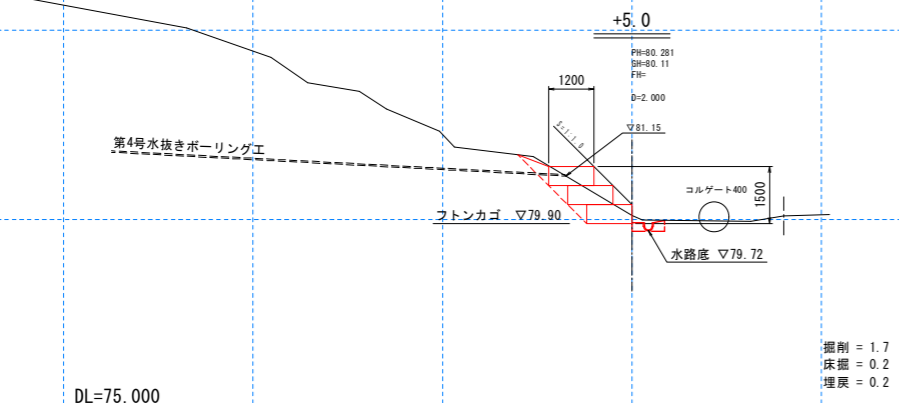
数量表 1箇所当たり

名称	規格	単位	数量
フトン籠	1200-500 鉄線φ6, 網目13cm	m	18.0
吸出防止材		m ²	22.2

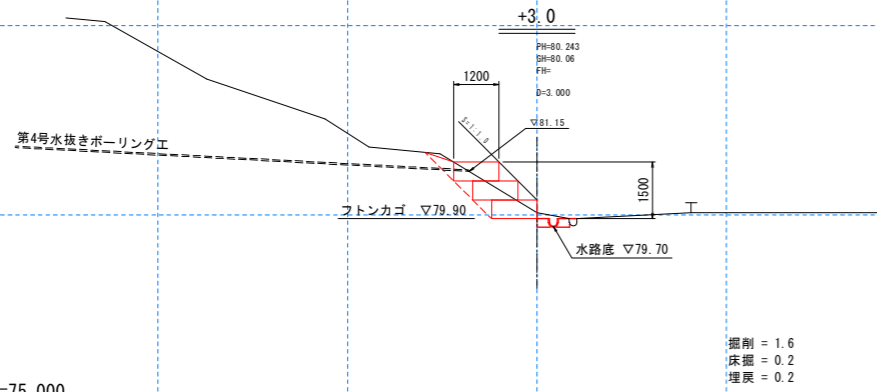
※吸出防止材はフトン籠が土砂と接する面に設置すること。

令和4年度 地すべり対策事業
八幡地区外 地下水排除等工事 山寄R2-4
R2-4ブロック

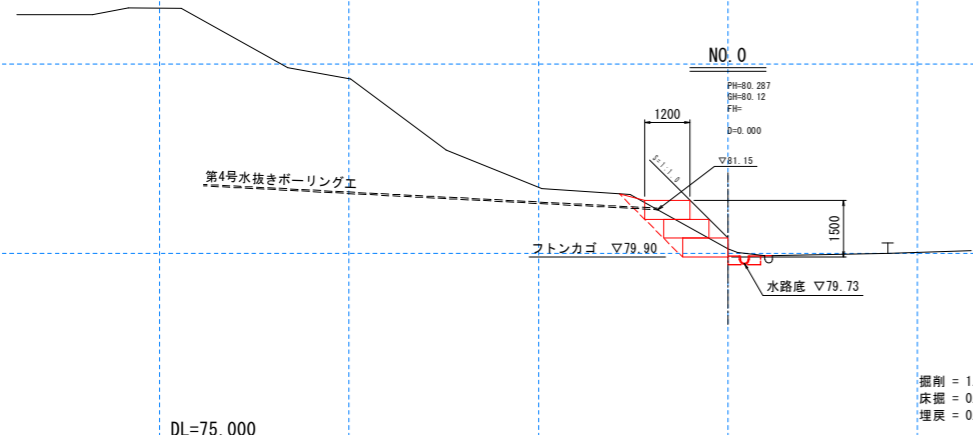
図面の名称		図面番号
第4号孔口保護工構造図		6/8
縮尺 : 1/50 (A1), 1/100 (A3)		
測量	令和 年 月 日終了	
設計		
製 図	原 図	
回 複 写	複 写	



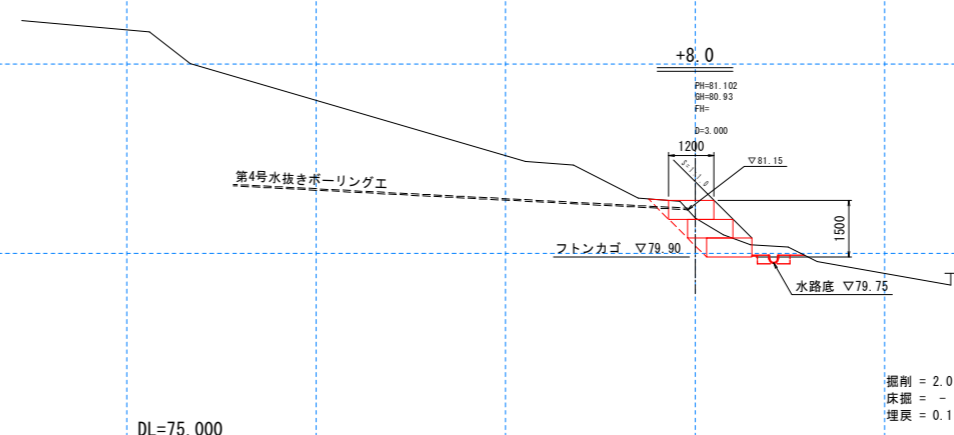
DL=75.000



DL=75.000



DL=75.000



DL=75.000

令和4年度 地すべり対策事業
八幡地区外 地下水排除等工事 山崎R2-4
R2-4ブロック

図面の名称		図面番号
第4号孔口保護工 横断面図		7 / 8
縮尺 : 1:100 (A1), 1:200 (A3)		
測量	令和 年 月 日終了	
設計		
製 回	原 図	
	複 写	

令和4年度 地すべり対策事業 八幡地区外 地下水排除等工事 山寄R2-4
解析断面図 R2-4測線

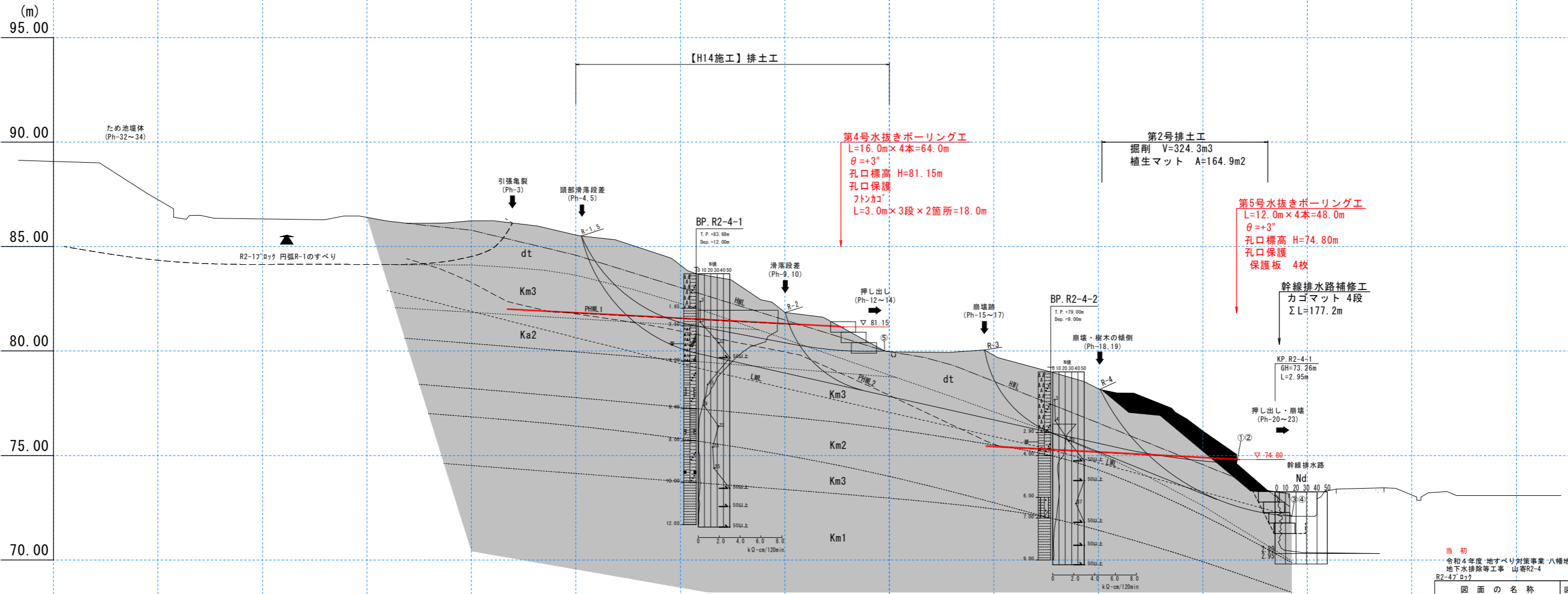
山寄地区R2-4測線 安全率一覧表

円弧No.	低水位		高水位		対策工事					目標安全率	土質定数			
	LWL	Fs	HWL	Fs	PHWL1	第4号水抜きボーリング工	Fs	PHWL2	第5号水抜きボーリング工			Fs	PHWL2	第2号排土工
R-1	BP.R2-4-1 GL-4.50m	1.39	GL-0.90m	1.00	PHWL1 L=16.0m×4本=64.0m θ=+3° 孔口標高 H=81.15m 孔口保護 フトンコ L=3.0m×3段×2箇所 =18.0m	1.09	PHWL2 L=12.0m×4本=48.0m θ=+3° 孔口標高 H=74.80m 孔口保護 保護板 4枚	1.33	PHWL2	1.25	PHWL2 GL-2.90m	掘削 V=324.3m ³ 植生マット A=164.9m ²	1.29	γt=γsat=17.70 kN/m ³ C=5.00 kN/m ² φ=16.23° γt=γsat=17.70 kN/m ³ C=5.00 kN/m ² φ=11.41° γt=γsat=17.70 kN/m ³ C=5.00 kN/m ² φ=23.40° γt=γsat=17.70 kN/m ³ C=6.54 kN/m ² φ=25.00° γt=γsat=17.70 kN/m ³ C=5.00 kN/m ² φ=12.56°
R-2		1.26		1.00		1.00		1.25		1.15			1.14	
R-3	BP.R2-4-2 GL-3.72m	1.29		1.00		1.00		1.15		1.02			1.12	
R-4		1.22		1.00		1.00		1.02		1.22			-	
R-5		1.22		0.98		1.13		1.22						

R2-4測線 孔内水位一覧表

孔内水位	令和3年度 調査時水位		
	低水位 LWL (GL-m)	高水位 HWL (GL-m)	変動量 (m)
BP.R2-4-1	4.50	0.90	3.60
BP.R2-4-2	3.72	1.54	2.18
降水条件	総降水量 1,105mm		
	最大降水量 連続降水量	最大日降水量 157mm (R3.8.9) 連続降水量 289mm (R3.7.7~7.12) 468mm (R3.8.8~8.18)	

※降水量：「土砂災害警戒リアルタイム雨量 神原観測所」のデータによる



山寄地区の地質構成 (R2-4ブロック)

地質時代	地質名	土質・岩級	記号	N値	地質状況
第四紀	表土及び崖堆積物	礫混じり粘土	dt	3.4	木片及び泥岩質の礫を混入する崖堆積物である。φ10mm程度の礫を混入し、指圧で容易に凹む。層厚は最大3m程度である。
	第三紀	強風化泥岩	礫混じり粘土	Km3	3~25
風化火山凝灰岩		硬質粘土	Ka2	32.50	火山礫は硬質な安山岩質礫を多量に混入し、基質部は一律に脆弱化する。
風化泥岩		固結粘土~軟岩	Km2	32.50以上	強風化泥岩内に層状に分布する泥岩の風化土であり、固結粘土及び軟岩状を呈し、不均質に凝灰岩を挟在する。
泥岩		軟岩	Km1	50以上	棒状~柱状コアとして採取されるがやや亀裂質であり、凝灰岩を挟在することが多い。軟質部は見られない。

当初
令和4年度 地すべり対策事業 八幡地区外
地下水排除等工事 山寄R2-4
R2-47'ロック

図面の名称		図面番号
R2-4測線 解析断面図		8/8
縮尺: 1/100(A1), 1/200(A3)		
測量	令和 年 月 日終了	
設計		
製図		
図複写		